
受動喫煙に関する都民の意識調査

報告書

令和7年3月

目次

I	調査の概要	4
1.	調査の目的	6
2.	調査の方法	6
3.	インターネット調査の実施期間	6
4.	調査対象	6
5.	調査結果を見る上での注意事項	7
II	回答者の属性	8
1.	性別	9
2.	年代	9
3.	居住地	10
4.	婚姻状況	11
5.	子供の有無	11
6.	職業	12
III	質問事項と集計結果	13
Q1	たばこ（加熱式たばこを除く）の喫煙状況	15
Q2	加熱式たばこの喫煙状況	17
【参考1】	「紙たばこ」「加熱式たばこ」喫煙状況	19
Q2-2	喫煙のきっかけ	21
Q3	禁煙意向	23
Q3-1	禁煙の理由	25
Q3-1	禁煙の理由（『禁煙意向あり』の喫煙者）	27
Q3-1	禁煙の理由（禁煙した非喫煙者）	29
Q3-2	禁煙の方法	31
Q3-2	禁煙の方法（『禁煙意向あり』の喫煙者）	33
Q3-2	禁煙の方法（禁煙した非喫煙者）	35
Q4	COPDの認知度	37
Q4-1	COPD原因の認知度	39
Q4-2	COPD死者数の認知度	41
Q4-3	COPD認知広報媒体	43
Q5	受動喫煙が健康に影響することの認知度	45
Q6	受動喫煙の経験状況	47

【参考2-1】 受動喫煙の経験状況（喫煙者）	49
【参考2-2】 受動喫煙の経験状況（非喫煙者）	51
Q6-1 受動喫煙の経験地域	53
Q6-2 受動喫煙の経験場所（屋内）	55
Q6-3 受動喫煙の経験場所（屋外）	57
Q6-4 受動喫煙の場面	59
【参考3】 受動喫煙の経験場所（屋内・屋外）	62
Q7 他人のたばこの煙の感じ方	64
Q8 加熱式たばこの受動喫煙リスク	66
Q9 第一種施設屋内禁煙の認知度	68
Q10 学校等敷地内禁煙の認知度	70
Q11 飲食店における原則屋内禁煙の認知度	72
Q12 2人以上利用施設における原則屋内禁煙の認知度	74
Q12-2 屋外等における受動喫煙の配慮義務の認知度	76
Q12-3 加熱式たばこの喫煙禁止の認知度	78
Q13 飲食店を含む2人以上利用施設における喫煙室・禁煙標識表示義務化の認知度	80
Q13-2 屋内全面禁煙の飲食店における禁煙標識掲示義務の認知度	82
Q14 飲食店頭表示（「喫煙室の有無」「禁煙」等）の認知度	84
Q15 飲食店頭表示（「喫煙室の有無」「禁煙」等）の参考度合	86
Q16 法律・条例違反が指導・過料等の対象となることの認知度	88
Q17 受動喫煙対策の認知度	90
Q18 都の受動喫煙防止条例周知広報の認知度	92
Q19 都の受動喫煙防止条例に対する評価	94
Q20 受動喫煙防止条例での規制前後と比較した受動喫煙の機会の変化	96
Q21 都の受動喫煙防止条例に対する意見・要望	98
<参考（調査票）>	101

I 調査の概要

1. 調査の目的

受動喫煙対策を推進し、誰もが快適に過ごせる街を実現するため、改正健康増進法及び東京都受動喫煙防止条例が、令和2年4月1日に全面施行された。そこで、改正健康増進法及び東京都受動喫煙防止条例の施行後の都民の受動喫煙対策の認知度や実態を把握し、今後の取組に活かすため、調査を行った。

2. 調査の方法

インターネット調査

3. インターネット調査の実施期間

令和6年11月1日（金）～令和6年11月5日（火）

4. 調査対象

東京都内に住所を有する満20歳～79歳の男女計3,000名を、令和2年国勢調査による東京都の「(1) 性・年代別の人口構成」「(2) 地域別の人口構成」に沿って抽出した結果、回答者の構成は以下となった。

(1) 性・年代別の人口構成

性別	年代	人口からの構成比	調査での構成比
男性	20代	8.1%	8.1%
	30代	9.1%	9.1%
	40代	10.6%	10.6%
	50代	9.3%	9.3%
	60代	6.5%	6.5%
	70代	6.2%	6.2%
女性	20代	8.2%	8.2%
	30代	8.9%	8.9%
	40代	10.3%	10.3%
	50代	8.9%	8.9%
	60代	6.5%	6.5%
	70代	7.3%	7.4%
回答しない		-	0.1%
合計		100.0%	100.0%

(2) 地域別の人口構成

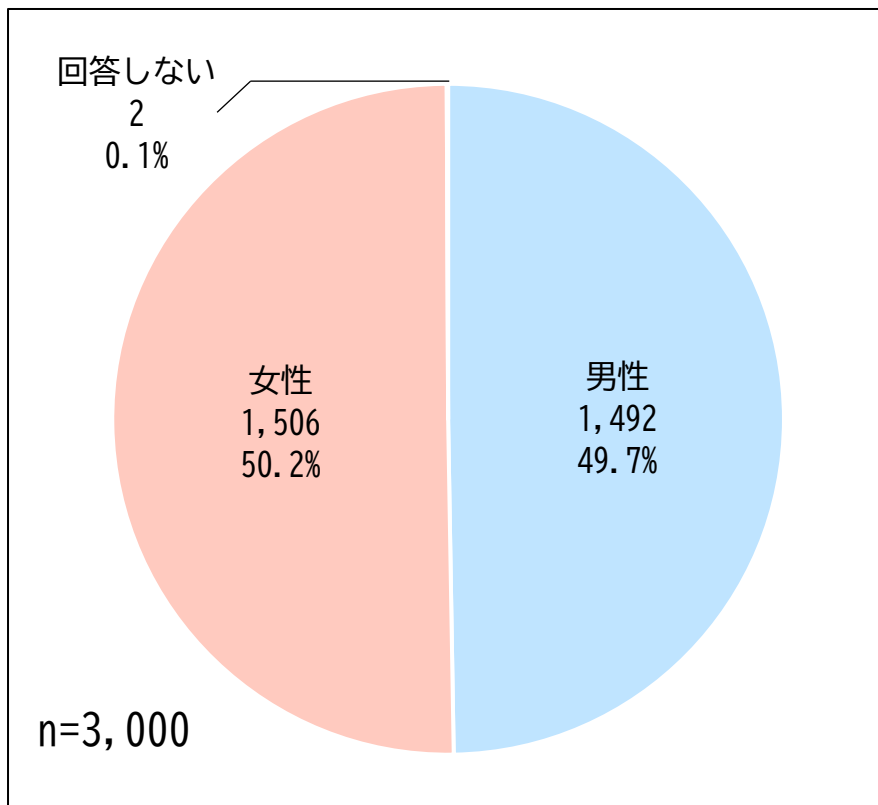
地域	人口からの構成比	調査での構成比
区中央部（千代田区、中央区、港区、文京区、台東区）	6.7%	6.8%
区南部（品川区、大田区）	8.3%	8.4%
区西南部（目黒区、世田谷区、渋谷区）	10.5%	10.4%
区西部（新宿区、中野区、杉並区）	9.2%	9.1%
区西北部（豊島区、北区、板橋区、練馬区）	14.2%	14.2%
区東北部（荒川区、足立区、葛飾区）	9.7%	9.7%
区東部（墨田区、江東区、江戸川区）	10.6%	10.7%
西多摩（青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町）	2.7%	2.7%
南多摩（八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市）	10.3%	10.2%
北多摩西部（立川市、昭島市、国分寺市、国立市、東大和市、武蔵村山市）	4.7%	4.7%
北多摩南部（武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、小金井市、狛江市）	7.6%	7.6%
北多摩北部（小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市）	5.3%	5.3%
島しょ（大島町、利島村、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村、小笠原村）	0.2%	0.2%

5. 調査結果を見る上での注意事項

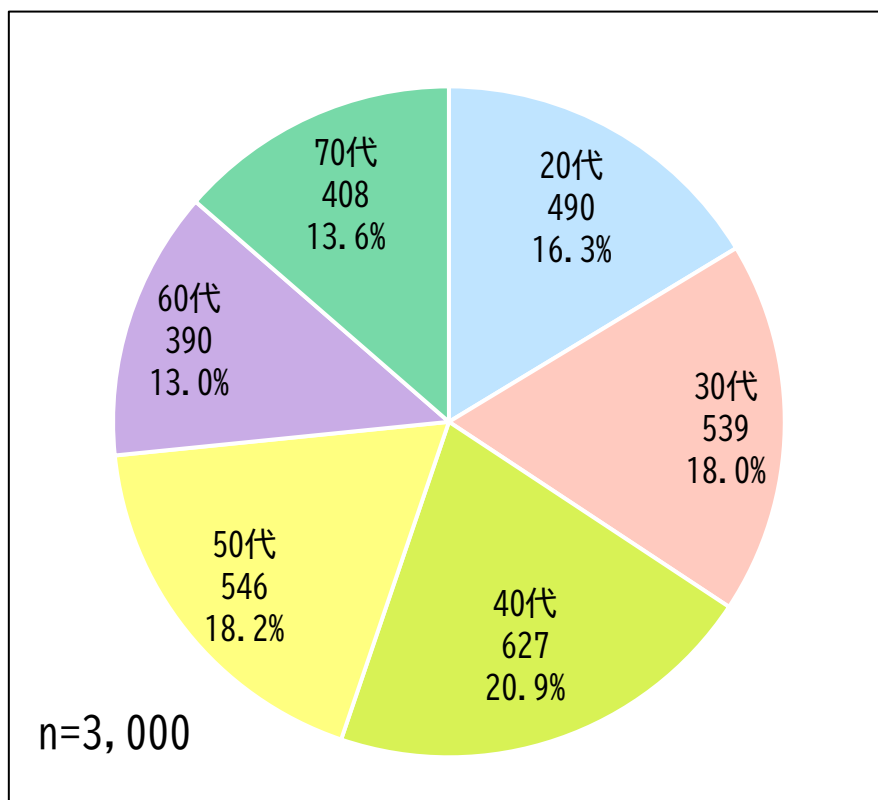
- ・パーセンテージ表記は、小数点以下第2位を端数処理（四捨五入）しているため、各項目の合計が100.0%とならない場合がある。
- ・複数回答の質問の場合は、その回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- ・回答者が30名未満の場合は、その属性を持つ回答者群の実態が集計結果に反映されていない可能性が高いことから、原則言及していない。
- ・同趣旨の回答選択肢を集約して表記する場合は『 』で示した。
- ・本文中、数表及び図表に記載する「n」は、比率計算上の基数（標本数）である。
- ・調査票の選択肢の文章が長い場合、要約して短く表現している場合がある。
- ・喫煙者・非喫煙者については、以下のとおり定義する。
 喫煙者：たばこ（加熱式たばこを除く）・加熱式たばこのいずれか又は両方について、「毎日吸っている」または「ときどき吸う日がある」とした回答した者。
 非喫煙者：たばこ（加熱式たばこを除く）・加熱式たばこのどちらについても、「以前は吸っていたが1か月以上吸っていない」または「吸わない」と回答した者。

Ⅱ 回答者の属性

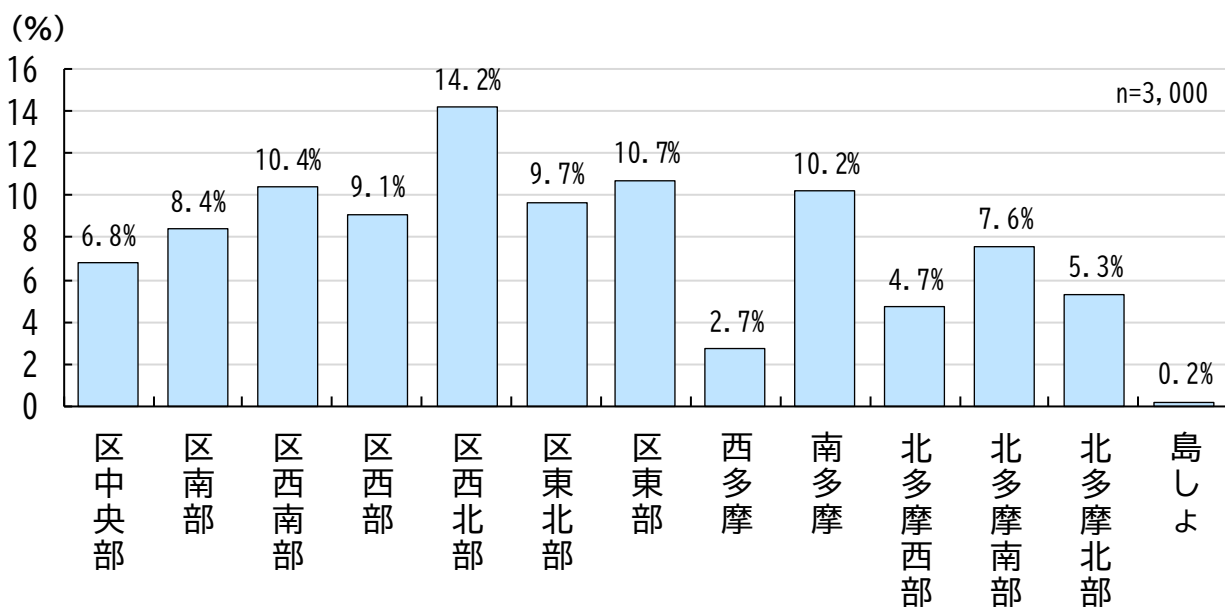
1. 性別



2. 年代

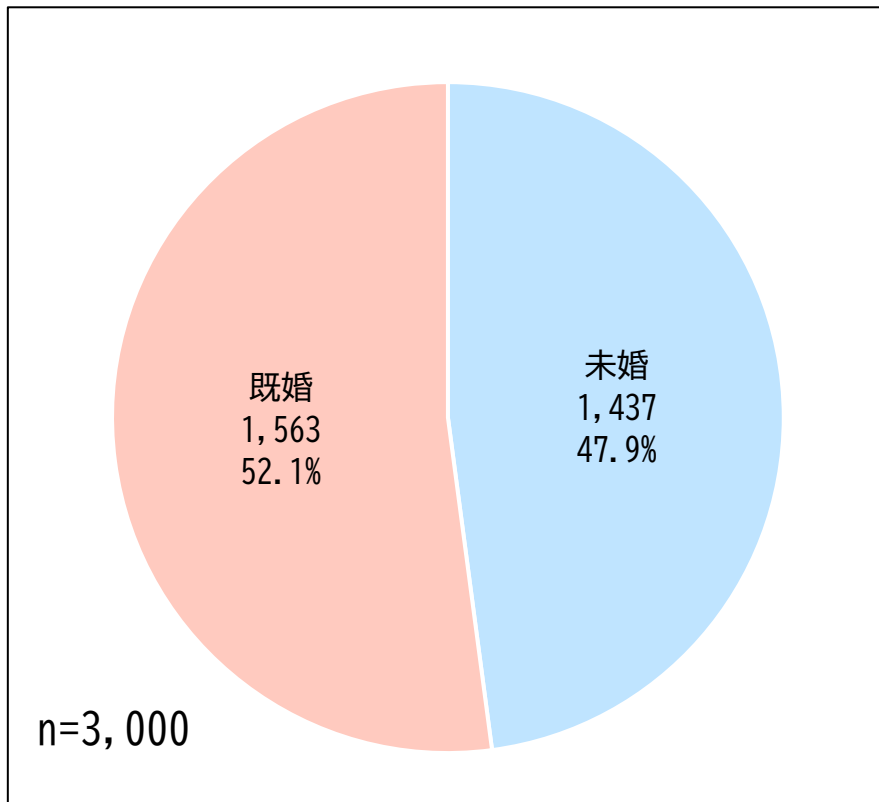


3. 居住地

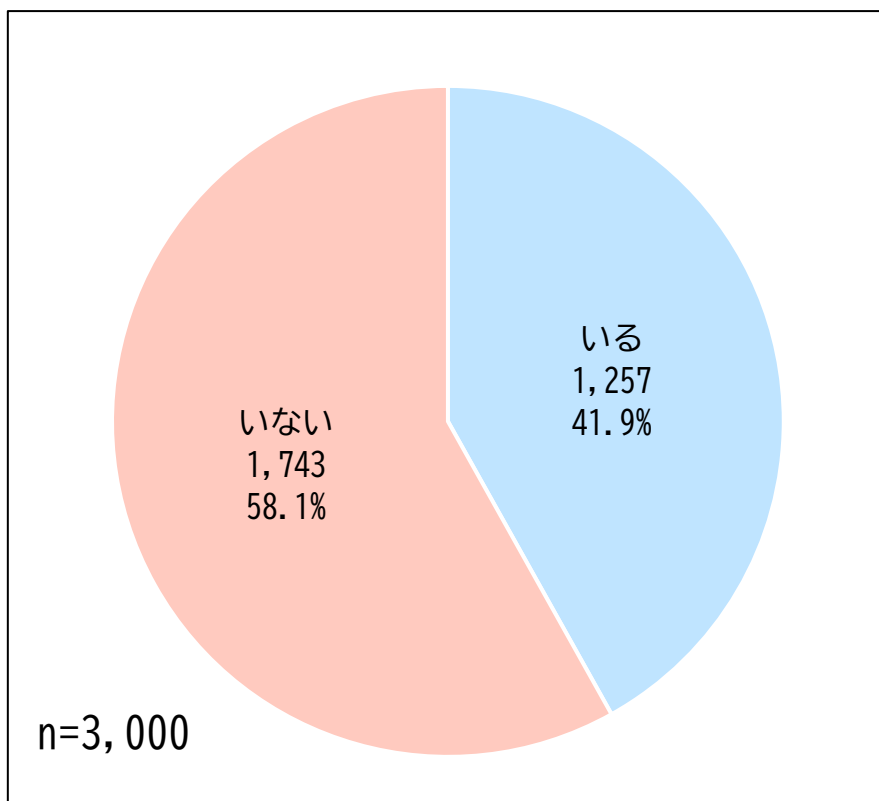


項目	件数	%
区中央部（千代田区、中央区、港区、文京区、台東区）	203	6.8%
区南部（品川区、大田区）	252	8.4%
区西南部（目黒区、世田谷区、渋谷区）	312	10.4%
区西部（新宿区、中野区、杉並区）	273	9.1%
区西北部（豊島区、北区、板橋区、練馬区）	426	14.2%
区東北部（荒川区、足立区、葛飾区）	291	9.7%
区東部（墨田区、江東区、江戸川区）	321	10.7%
西多摩（青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町）	81	2.7%
南多摩（八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市）	306	10.2%
北多摩西部（立川市、昭島市、国分寺市、国立市、東大和市、武蔵村山市）	142	4.7%
北多摩南部（武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、小金井市、狛江市）	229	7.6%
北多摩北部（小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市）	158	5.3%
島しょ（大島町、利島村、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村、小笠原村）	6	0.2%

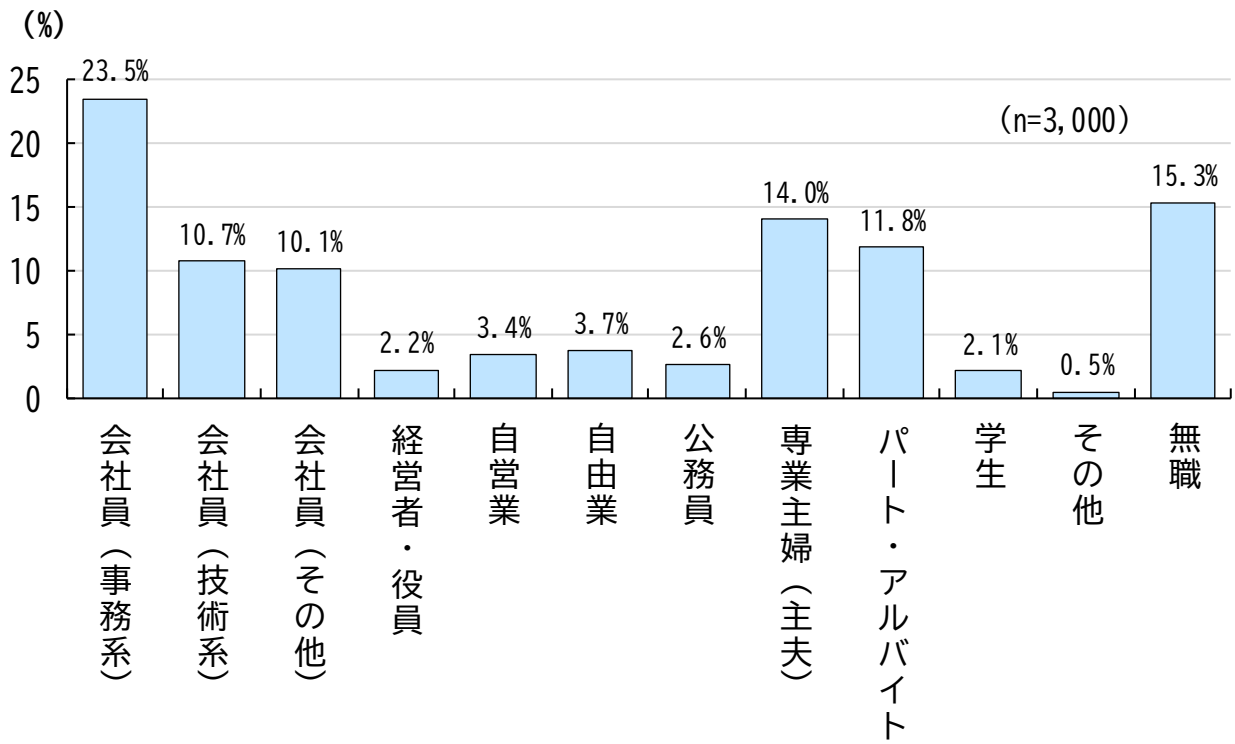
4. 婚姻状況



5. 子供の有無



6. 職業



Ⅲ 質問事項と集計結果

Q1 たばこ（加熱式たばこを除く）の喫煙状況

Q1 あなたは、「たばこ（加熱式たばこ※を除く。紙巻きたばこ、葉巻、水たばこ等）」を吸いますか。

※「加熱式たばこ」とは、たばこ葉やたばこ葉を用いた加工品を燃焼させず、専用機器を用いて電気で加熱することで蒸気を発生させるもの。加熱の方法や温度などは製品ごとに異なります。例：アイコス、グロー、プルーム等（電子タバコは含みません）

※Q1・Q2・参考1において、『喫煙（者）』・『非喫煙（者）』とは、以下のとおりとする。
・『喫煙（者）』：「毎日吸っている」「ときどき吸う日がある」と回答（した者）
・『非喫煙（者）』：「以前は吸っていたが1か月以上吸っていない」「吸わない」と回答（した者）

【全体】

○「たばこ（加熱式たばこを除く）」（以下では、紙たばことする）の『喫煙者』は、20.4%（「毎日吸っている」17.9%と「ときどき吸う日がある」2.5%の合計。以下、同じ。）となっている。「吸わない」が66.3%と高く、「以前は吸っていたが1か月以上吸っていない」13.4%と合わせると、紙たばこの『非喫煙者』は、79.6%となった。

【性別】

○紙たばこの『喫煙者』は、男性25.3%に対して女性15.5%と、1.5倍以上の差がある。

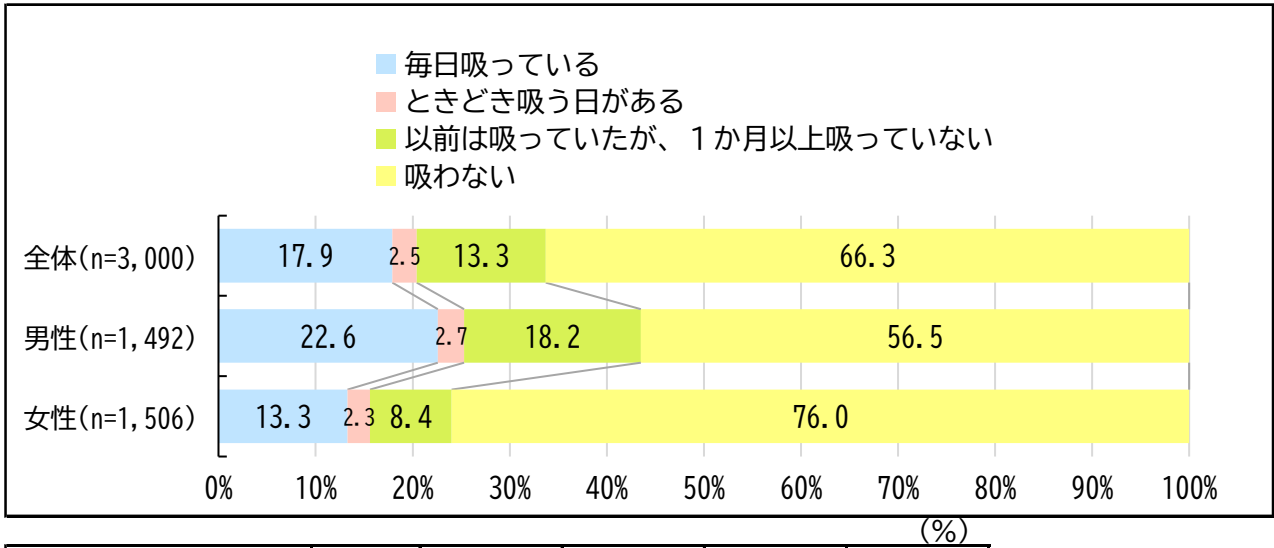
【男性年代別】

○紙たばこの『喫煙者』は、40代で31.8%と最も高く、次いで、30代が27.6%、50代が25.2%、60代が22.1%、20代が21.8%となっており、70代は18.8%と最も低くなっている。

【女性年代別】

○紙たばこの『喫煙者』は、30代では21.7%で最も高く、次いで、20代が16.3%、50代が16.1%、60代が14.4%、40代が14.2%となっており、70代は9.5%と最も低くなっている。

Q1 紙たばこ（加熱式たばこを除く）の喫煙状況のグラフと集計表



	調査数 (n)	毎日吸っている	ときどき吸う日がある	以前は吸っていたが、1か月以上吸っていない	吸わない
全体	3,000	17.9	2.5	13.3	66.3
男性	1,492	22.6	2.7	18.2	56.5
女性	1,506	13.3	2.3	8.4	76.0
回答なし	2	0.0	0.0	0.0	100.0
男性/20代	243	18.5	3.3	4.9	73.3
男性/30代	272	23.5	4.0	7.7	64.7
男性/40代	318	29.9	1.9	13.5	54.7
男性/50代	278	22.3	2.9	19.8	55.0
男性/60代	195	20.0	2.1	35.9	42.1
男性/70代	186	17.2	1.6	38.2	43.0
女性/20代	246	9.8	6.5	2.8	80.9
女性/30代	267	17.6	4.1	5.2	73.0
女性/40代	309	12.6	1.6	10.7	75.1
女性/50代	267	15.7	0.4	7.9	76.0
女性/60代	195	14.4	0.0	11.8	73.8
女性/70代	222	9.0	0.5	13.1	77.5
回答しない/全年代	2	0.0	0.0	0.0	100.0
喫煙者	644	83.4	11.5	2.8	2.3
非喫煙者	2,356	0.0	0.0	16.2	83.8
喫煙者×受動喫煙あり	398	82.2	12.6	3.0	2.3
喫煙者×受動喫煙なし	246	85.4	9.8	2.4	2.4
非喫煙者×受動喫煙あり	813	0.0	0.0	21.8	78.2
非喫煙者×受動喫煙なし	1,543	0.0	0.0	13.2	86.8

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q2 加熱式たばこの喫煙状況

Q2 あなたは、「加熱式たばこ※」を吸いますか。

※「加熱式たばこ」とは、たばこ葉やたばこ葉を用いた加工品を燃焼させず、専用機器を用いて電気で加熱することで蒸気を発生させるもの。加熱の方法や温度などは製品ごとに異なります。例：アイコス、グロー、プルーム等（電子タバコは含みません）

【全体】

○加熱式たばこの『喫煙者』は14.2%で、加熱式たばこの『非喫煙者』が85.8%とおよそ9割を占めた。

【性別】

○加熱式たばこの『喫煙者』は、男性18.0%に対して女性10.5%と、1.5倍以上の差がある。

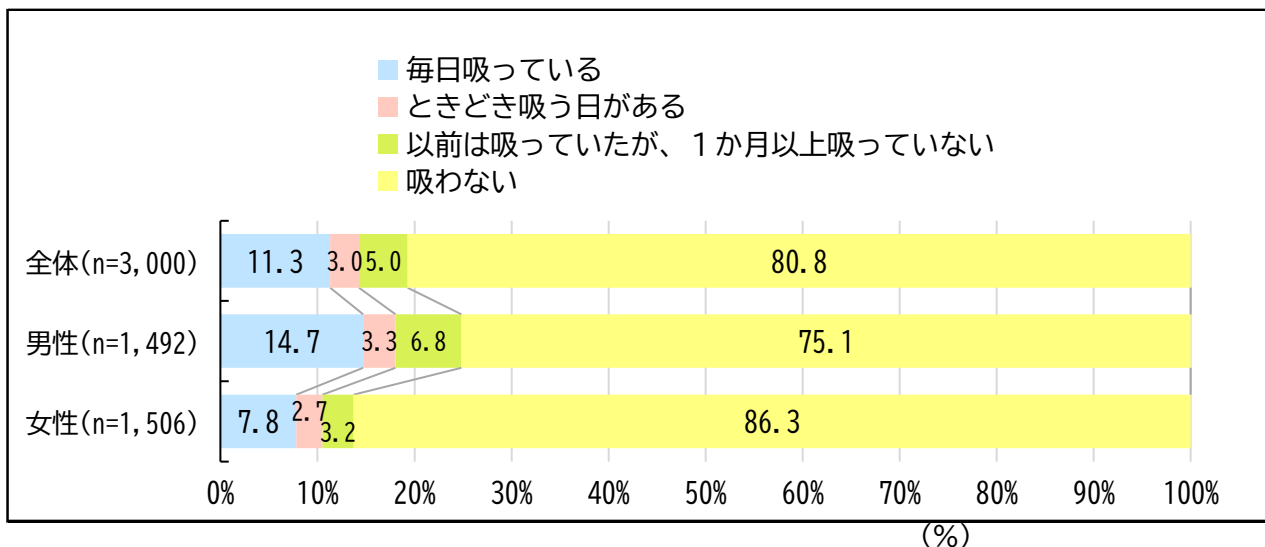
【男性年代別】

○加熱式たばこの『喫煙者』は、40代で25.5%と最も高く、次いで、30代で22.4%、20代は20.5%、50代は15.5%、60代は9.3%、70代は8.6%と最も低くなっている。

【女性年代別】

○加熱式たばこの『喫煙者』は、30代で21.0%と最も高く、次いで、20代で12.2%、40代は10.4%、50代は8.6%、60代は5.6%、70代は2.8%と最も低くなっている。

Q2 加熱式たばこの喫煙状況のグラフと集計表



	調査数 (n)	毎日吸っている (%)	ときどき吸う日がある (%)	以前は吸っていたが、1か月以上吸っていない (%)	吸わない (%)
全体	3,000	11.3	3.0	5.0	80.8
男性	1,492	14.7	3.3	6.8	75.1
女性	1,506	7.8	2.7	3.2	86.3
回答なし	2	0.0	0.0	0.0	100.0
男性/20代	243	15.2	5.3	5.8	73.7
男性/30代	272	16.9	5.5	4.0	73.5
男性/40代	318	23.0	2.5	4.7	69.8
男性/50代	278	12.6	2.9	6.8	77.7
男性/60代	195	7.2	2.1	14.9	75.9
男性/70代	186	8.1	0.5	7.5	83.9
女性/20代	246	6.9	5.3	2.8	85.0
女性/30代	267	16.9	4.1	2.2	76.8
女性/40代	309	7.8	2.6	3.9	85.8
女性/50代	267	7.5	1.1	3.7	87.6
女性/60代	195	4.6	1.0	3.1	91.3
女性/70代	222	1.4	1.4	3.2	94.1
回答しない/全年代	2	0.0	0.0	0.0	100.0
喫煙者	644	52.5	13.8	4.7	29.0
非喫煙者	2,356	0.0	0.0	5.1	94.9
喫煙者×受動喫煙あり	398	58.5	14.3	3.5	23.6
喫煙者×受動喫煙なし	246	42.7	13.0	6.5	37.8
非喫煙者×受動喫煙あり	813	0.0	0.0	7.3	92.7
非喫煙者×受動喫煙なし	1,543	0.0	0.0	4.0	96.0

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

【参考1】「紙たばこ」「加熱式たばこ」喫煙状況

【参考】Q1・Q2での回答（「紙たばこ」「加熱式たばこ」の喫煙状況）を「どちらも喫煙」「紙たばこのみ喫煙」「加熱式たばこのみ喫煙」「どちらも非喫煙」に4分類し、喫煙たばこ別の喫煙状況を見た。

【全体】

○喫煙者は21.5%（「いずれも『喫煙』」または「紙たばこのみ『喫煙』」、「加熱式たばこのみ『喫煙』」と回答した者の合計。以下、同じ。）、非喫煙者（「いずれも『非喫煙』」と回答した者）はおおよそ8割の78.5%となっている。

【性別】

○喫煙者は、男性26.7%に対して女性は16.3%と10ポイント以上の差がある。

【男性年代別】

○喫煙者は30代から50代が高くなっており、40代では最も高く34.3%となっている。

○喫煙者の内訳をみると、20代～50代は「いずれも『喫煙』」が最も高く、次点である「紙たばこのみ『喫煙』」との差は、若い世代ほど大きくなっている。60代・70代は「紙たばこのみ『喫煙』」が最も高くなっている。全世代において、「加熱式たばこのみ『喫煙』」が最も少ない。

【女性年代別】

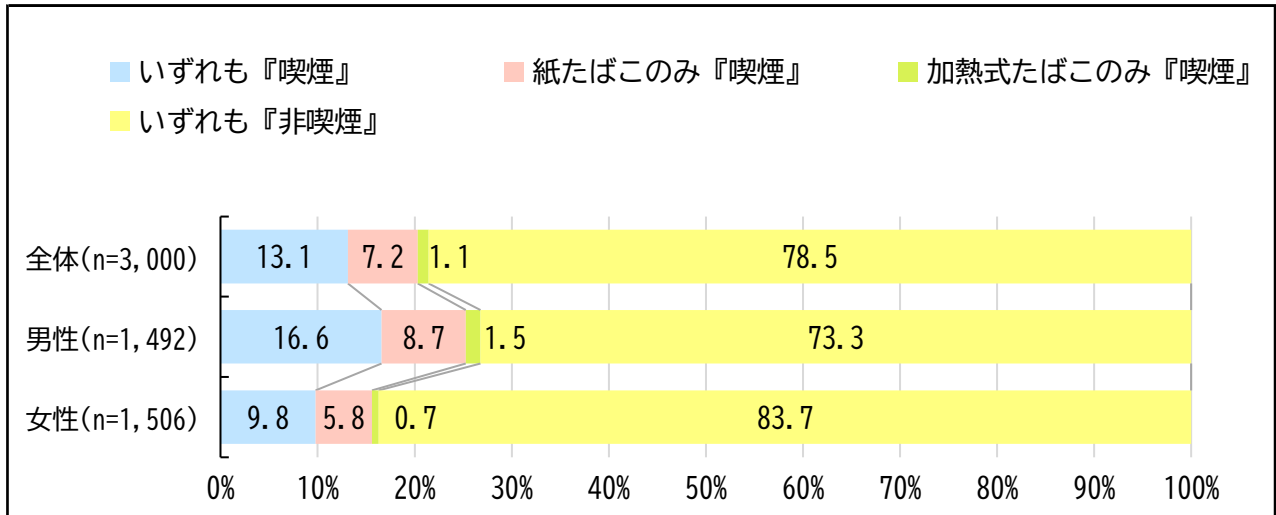
○喫煙者は、30代が最も高く23.6%で、そこから年代が上がると低下し、70代は9.5%まで低下した。

○喫煙者の内訳をみると、20代～50代は「いずれも『喫煙』」が最も高く、次点である「紙たばこのみ『喫煙』」との差は、30代が最も大きく、次いで20代、40代、50代と続く。60代・70代は「紙たばこのみ『喫煙』」が最も高くなっている。全世代において、「加熱式たばこのみ『喫煙』」が最も少ない。

【喫煙者】

○喫煙者において「いずれも『喫煙』」が最も高く61.2%、次いで「紙たばこのみ『喫煙』」は33.7%、「加熱式たばこのみ『喫煙』」が5.1%となっている。

【参考】 「紙たばこ」「加熱式たばこ」喫煙状況のグラフと集計表



(%)

	調査数 (n)	いずれも『喫煙』	紙たばこのみ『喫煙』	加熱式たばこのみ『喫煙』	いずれも『非喫煙』
全体	3,000	13.1	7.2	1.1	78.5
男性	1,492	16.6	8.7	1.5	73.3
女性	1,506	9.8	5.8	0.7	83.7
回答なし	2	0.0	0.0	0.0	100.0
男性/20代	243	20.2	1.6	0.4	77.8
男性/30代	272	21.3	6.3	1.1	71.3
男性/40代	318	23.0	8.8	2.5	65.7
男性/50代	278	13.3	11.9	2.2	72.7
男性/60代	195	8.7	13.3	0.5	77.4
男性/70代	186	7.0	11.8	1.6	79.6
女性/20代	246	11.8	4.5	0.4	83.3
女性/30代	267	19.1	2.6	1.9	76.4
女性/40代	309	8.7	5.5	1.6	84.1
女性/50代	267	8.6	7.5	0.0	83.9
女性/60代	195	5.6	8.7	0.0	85.6
女性/70代	222	2.7	6.8	0.0	90.5
回答しない/全年代	2	0.0	0.0	0.0	100.0
喫煙者	644	61.2	33.7	5.1	0.0
非喫煙者	2,356	0.0	0.0	0.0	100.0
喫煙者×受動喫煙あり	398	67.6	27.1	5.3	0.0
喫煙者×受動喫煙なし	246	50.8	44.3	4.9	0.0
非喫煙者×受動喫煙あり	813	0.0	0.0	0.0	100.0
非喫煙者×受動喫煙なし	1,543	0.0	0.0	0.0	100.0

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q2-2 喫煙のきっかけ

Q1、Q2のいずれか、または両方で、「毎日吸っている」、「ときどき吸う日がある」または「以前は吸っていたが、1か月以上吸っていない」と回答した方にお尋ねします。

Q2-2 あなたが、たばこ（加熱式たばこ※を含む）を吸いはじめたきっかけは何でしたか。あてはまるものを全てお選びください。

【全体】

○喫煙のきっかけとしては、1位「家族がたばこを吸っていて、たばこが身近にあったから」が24.1%と最も高く、次いで2位「友人や知人にすすめられたから」は20.3%となっている。

【性別】

○男女いずれも理由の上位は同様だが、1位「家族がたばこを吸っていて、たばこが身近にあったから」男性21.9%/女性28.1%、2位は「友人や知人にすすめられたから」男性21.6%/女性18.1%で、男性は1位と2位がほぼ同率であったのに対し、女性は1位が2位よりも10ポイント高くなった。

○男性の方が女性よりも5ポイント以上高くなった項目は、「たばこを吸っている人を見て、真似をしたいと思ったから」男性14.0%/女性7.8%、「喫煙所でコミュニケーションをもちたいと思ったから」男性8.3%/女性3.2%、「テレビドラマや映画で俳優が喫煙するシーンを見て格好良いと思ったから」男性8.0%/女性3%であった。

○女性の方が男性よりも高くなった項目は、「家族がたばこを吸っていて、たばこが身近にあったから」男性21.9%/女性28.0%のみであった。

【男性年代別】

○他の年代と比べて高くなっている項目は、20代「友人や知人にすすめられたから」(34.3%)、「インターネットの情報を見て、たばこに興味や関心を持ったから」(20.9%)、「コンビニの陳列販売や自動販売機に並ぶたばこを見て興味や関心を持ったから」(20.9%)、「漫画等の登場人物が喫煙するシーンを見て格好良いと思ったから」(16.4%)、30代「喫煙所でコミュニケーションをもちたいと思ったから」(22.4%)などとなっている。

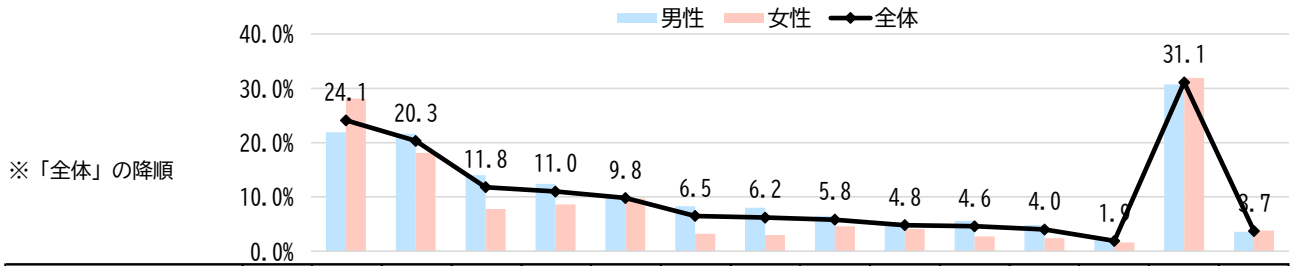
【女性年代別】

○他の年代と比べて高くなっている項目は、20代「家族がたばこを吸っていて、たばこが身近にあったから」(35.4%)、30代「たばこの広告を見て、たばこに興味や関心を持っていたから」(28.9%)などとなっている。

【受動喫煙経験の有無別】

○喫煙者の喫煙のきっかけのうち、「家族がたばこを吸っていて、たばこが身近にあったから」は、「受動喫煙の経験あり」が37.7%と、受動喫煙経験なしの16.3%と比較して、2倍以上となっている。

Q2-2 喫煙のきっかけのグラフと集計表



	調査数 (n)	家族がたばこを吸っていて、たばこが身近にあったから	友人や知人にすすめられたから	たばこを吸っている人を見て、真似をしたかったから	20歳になった権利行使から	たばこの広告を見て、たばこに興味を持ったから	喫煙所でコミュニケーションをとっていたから	テレビドラマや映画で俳優が喫煙するシーンを見て格好良いと思ったから	流行っていたから	インターネットの情報を調べて、たばこに興味を持ったから	コンビニの陳列販売機や自動販売機に並ぶのを見て興味を持ったから	漫画等登場人物が喫煙するシーンを見て格好良いと思ったから	ダイト効果があると思ったから	覚えていない・分からない	その他
全体	1,032	24.1	20.3	11.8	11.0	9.8	6.5	6.2	5.8	4.8	4.6	4.0	1.9	31.1	3.7
男性	662	21.9	21.6	14.0	12.4	9.8	8.3	8.0	6.5	5.3	5.6	4.8	2.1	30.7	3.6
女性	370	28.1	18.1	7.8	8.6	9.7	3.2	3.0	4.6	4.1	2.7	2.4	1.6	31.9	3.8
回答なし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性/20代	67	26.9	34.3	16.4	17.9	16.4	16.4	11.9	9.0	20.9	20.9	16.4	7.5	16.4	0.0
男性/30代	98	26.5	23.5	15.3	15.3	16.3	22.4	14.3	6.1	11.2	14.3	7.1	3.1	25.5	0.0
男性/40代	147	25.2	25.9	11.6	13.6	12.9	6.8	10.2	2.0	3.4	2.7	4.8	1.4	24.5	1.4
男性/50代	129	19.4	16.3	15.5	8.5	10.1	4.7	4.7	8.5	1.6	3.1	3.9	3.1	31.8	4.7
男性/60代	113	16.8	20.4	12.4	8.0	4.4	5.3	8.0	8.8	0.9	0.9	1.8	0.0	40.7	4.4
男性/70代	108	18.5	13.9	14.8	13.9	0.9	0.0	0.9	6.5	1.9	0.0	0.0	0.0	40.7	10.2
女性/20代	48	35.4	27.1	8.3	4.2	8.3	8.3	8.3	4.2	6.3	4.2	8.3	2.1	22.9	0.0
女性/30代	76	31.6	19.7	7.9	7.9	28.9	3.9	6.6	0.0	3.9	3.9	3.9	1.3	19.7	1.3
女性/40代	80	31.3	17.5	8.8	7.5	7.5	5.0	1.3	3.8	6.3	3.8	1.3	1.3	32.5	6.3
女性/50代	64	23.4	17.2	7.8	7.8	3.1	0.0	1.6	6.3	1.6	0.0	0.0	3.1	40.6	3.1
女性/60代	51	23.5	13.7	7.8	15.7	2.0	0.0	0.0	11.8	5.9	3.9	2.0	0.0	33.3	5.9
女性/70代	51	21.6	13.7	5.9	9.8	2.0	2.0	0.0	3.9	0.0	0.0	0.0	2.0	45.1	5.9
回答しない/全年代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
喫煙者	644	29.5	23.4	10.4	11.6	13.8	9.0	7.5	5.6	6.7	6.5	4.8	2.3	24.2	1.6
非喫煙者	388	15.2	15.2	14.2	10.1	3.1	2.3	4.1	6.2	1.8	1.3	2.6	1.3	42.5	7.2
喫煙者×受動喫煙あり	398	37.7	26.4	13.3	13.6	19.6	12.1	10.1	5.3	8.5	9.8	6.3	3.0	14.3	1.8
喫煙者×受動喫煙なし	246	16.3	18.7	5.7	8.5	4.5	4.1	3.3	6.1	3.7	1.2	2.4	1.2	40.2	1.2
非喫煙者×受動喫煙あり	181	16.0	14.9	16.6	9.9	4.4	4.4	4.4	8.3	2.8	1.7	3.3	0.6	39.8	6.1
非喫煙者×受動喫煙なし	207	14.5	15.5	12.1	10.1	1.9	0.5	3.9	4.3	1.0	1.0	1.9	1.9	44.9	8.2

【表の凡例】
 比較の対象となる項目：n=30以上
 全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q3 禁煙意向

Q1、Q2のいずれか、または両方で、「毎日吸っている」または「ときどき吸う日がある」と回答した方にお尋ねします。

Q3 あなたは、今後、禁煙するつもりはありますか。

【全体】

○喫煙者に占める『禁煙意向あり』は55.7%（「禁煙する予定がある（時期も決まっている）」10.7%、「いつか禁煙するつもりがある（時期は決まっていない）」45.0%の合計。以下、同じ。）となっている。

【性別】

○喫煙者に占める『禁煙意向あり』は、女性は61.6%と、男性の52.1%よりおよそ10ポイント高くなっている。

【男性年代別】

○喫煙者に占める『禁煙意向あり』は、20代で6割を超え、30代、60代では5割を超えているが、その他の世代は5割を下回り、70代は42.1%と最も低い。『禁煙意向あり』の内訳をみると、20代の「禁煙する予定がある」が27.8%と他の年代と比べて高くなっている。

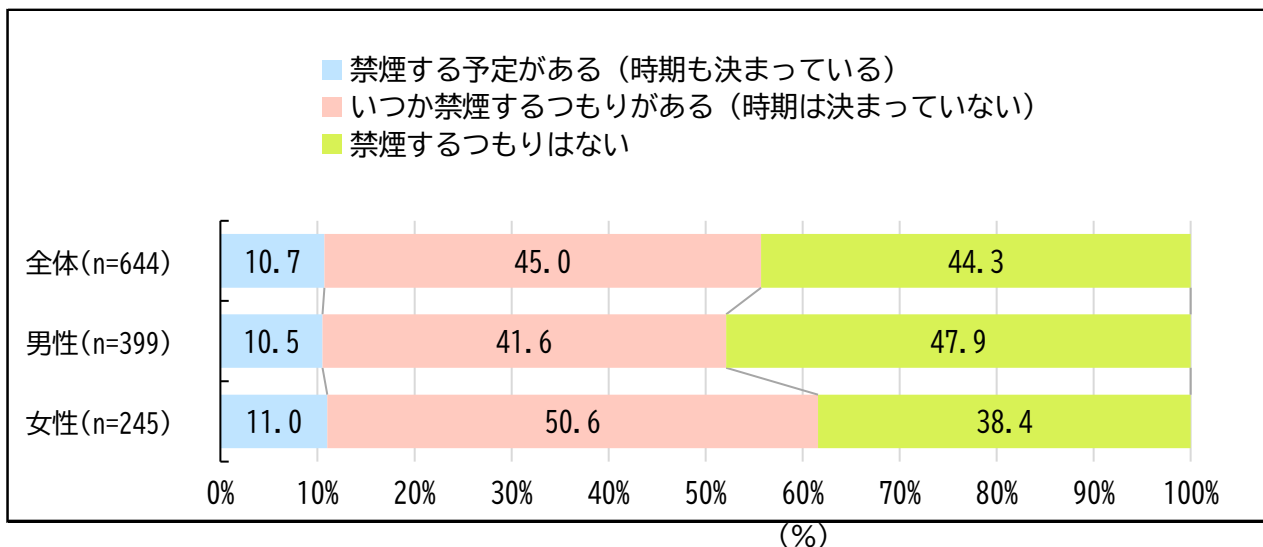
【女性年代別】

○喫煙者に占める『禁煙意向あり』は、20～30代ではおよそ8割近くとなっているが、50代は39.6%と最も低い。『禁煙意向あり』の内訳をみると、20代の「禁煙する予定がある」が24.4%と他の年代と比べて高くなっている。
なお、60代、70代は回答者30名未満のため言及が難しい。

【受動喫煙の経験の有無別】

○「禁煙するつもりはない」が、受動喫煙の経験なしが55.7%で、受動喫煙の経験ありの37.2%と比較して、15ポイント以上高くなっている。

Q3 禁煙意向のグラフと集計表



	調査数 (n)	禁煙する予定がある (時期も決まっている)	いつか禁煙するつもりがある (時期は決まっていない)	禁煙するつもりはない
全体	644	10.7	45.0	44.3
男性	399	10.5	41.6	47.9
女性	245	11.0	50.6	38.4
回答なし	0	0.0	0.0	0.0
男性/20代	54	27.8	38.9	33.3
男性/30代	78	15.4	41.0	43.6
男性/40代	109	8.3	39.4	52.3
男性/50代	76	3.9	43.4	52.6
男性/60代	44	6.8	47.7	45.5
男性/70代	38	0.0	42.1	57.9
女性/20代	41	24.4	53.7	22.0
女性/30代	63	15.9	63.5	20.6
女性/40代	49	8.2	49.0	42.9
女性/50代	43	7.0	32.6	60.5
女性/60代	28	0.0	50.0	50.0
女性/70代	21	0.0	47.6	52.4
回答しない/全年代	0	0.0	0.0	0.0
喫煙者	644	10.7	45.0	44.3
非喫煙者	0	0.0	0.0	0.0
喫煙者×受動喫煙あり	398	15.1	47.7	37.2
喫煙者×受動喫煙なし	246	3.7	40.7	55.7
非喫煙者×受動喫煙あり	0	0.0	0.0	0.0
非喫煙者×受動喫煙なし	0	0.0	0.0	0.0

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q3-1 禁煙の理由

Q3で「禁煙する予定がある(時期も決まっている)」または「いつか禁煙するつもりがある(時期は決まっていない)」もしくはQ1・Q2で以前は吸っていたが1か月以上たばこ(加熱式たばこを含む)を吸っていないと回答した方にお尋ねします。

Q3-1 禁煙しようと思う(禁煙した)理由は何ですか。あてはまるものを全てお選びください。

【全体】

- 禁煙の理由について、1位「自分の健康のため」(64.5%)が高くなっている。
- これ以外の理由は、2位「たばこ代が高いため」(36.5%)、3位「家族・パートナーの健康のため」(21.2%)と続いている。

【性別】

- 男女ともに1位「自分の健康のため」が男性66.9%/女性60.5%、2位「たばこ代が高いため」男性37.2%/女性35.5%、3位「家族・パートナーの健康のため」男性22.7%/女性18.5%となっており、ほぼ男女による大きな差はみられなかったが、女性については、同率3位で「においが気になるため」男性11.9%/女性18.8%となっている

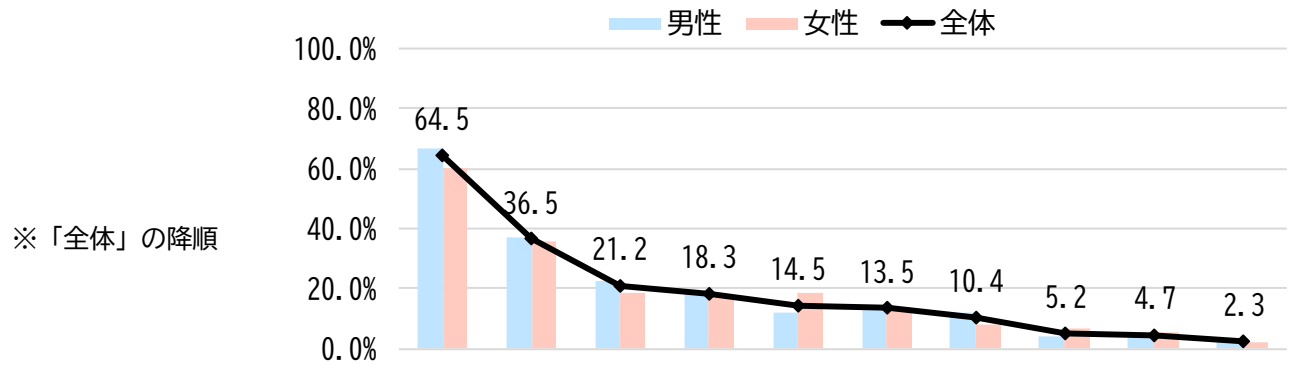
【男性年代別】

- 他の年代と比べて高くなっている項目は、20代は「家族・パートナーの健康のため」(36.7%)、「法律の改正・条例の制定により、屋内が原則禁煙となったため」(26.5%)、「家族・パートナーにやめるように言われたため」(20.4%)、40代は「たばこ代が高いため」(48.9%)、70代は「自分の健康のため」(80.2%)となっている。

【女性年代別】

- 他の年代と比べて高くなっている項目は、40代は「においが気になるため」(27.1%)、60代、70代は「自分の健康のため」(60代81.1%、70代82.5%)、70代は「たばこ代が高いため」(47.5%)となっている。

Q3-1 禁煙の理由のグラフと集計表



	調査数 (n)	自分の 健康の ため	たばこ 代が高 いため	家族・ パート ナーの 健康の ため	喫煙で きる場 所が減 ったた め	におい が気にな るため	法律の 改正・ 条例の 制定により、 屋内が 原則禁 煙とな ったため	家族・ パート ナーに やめる ように 言われた ため	妊娠し た・子 どもが 産まれ る(産 まれた) ため	職場で 禁煙を 求めら れたため	その他
全体	747	64.5	36.5	21.2	18.3	14.5	13.5	10.4	5.2	4.7	2.3
男性	471	66.9	37.2	22.7	18.7	11.9	14.0	11.9	4.2	4.5	2.5
女性	276	60.5	35.5	18.5	17.8	18.8	12.7	8.0	6.9	5.1	1.8
回答なし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性/20代	49	57.1	26.5	36.7	20.4	6.1	26.5	20.4	12.2	16.3	0.0
男性/30代	64	48.4	34.4	18.8	17.2	7.8	23.4	4.7	9.4	7.8	3.1
男性/40代	90	66.7	48.9	24.4	25.6	12.2	15.6	16.7	5.6	1.1	0.0
男性/50代	89	69.7	41.6	16.9	19.1	23.6	7.9	12.4	0.0	2.2	3.4
男性/60代	93	69.9	34.4	20.4	12.9	9.7	9.7	10.8	1.1	2.2	4.3
男性/70代	86	80.2	31.4	24.4	17.4	8.1	9.3	8.1	2.3	3.5	3.5
女性/20代	39	46.2	28.2	17.9	10.3	17.9	15.4	10.3	10.3	7.7	2.6
女性/30代	63	54.0	25.4	20.6	22.2	15.9	17.5	14.3	12.7	6.3	0.0
女性/40代	59	45.8	37.3	18.6	16.9	27.1	15.3	6.8	5.1	5.1	1.7
女性/50代	38	65.8	39.5	23.7	26.3	18.4	13.2	5.3	2.6	2.6	0.0
女性/60代	37	81.1	40.5	21.6	24.3	10.8	8.1	5.4	2.7	8.1	5.4
女性/70代	40	82.5	47.5	7.5	5.0	20.0	2.5	2.5	5.0	0.0	2.5
回答しない/全年代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
喫煙者	359	61.0	40.1	23.4	24.8	8.6	21.4	12.8	5.8	7.5	0.3
非喫煙者	388	67.8	33.2	19.1	12.4	19.8	6.2	8.2	4.6	2.1	4.1
喫煙者×受動喫煙あり	250	62.4	38.0	26.8	24.8	8.0	25.6	16.0	7.2	10.4	0.4
喫煙者×受動喫煙なし	109	57.8	45.0	15.6	24.8	10.1	11.9	5.5	2.8	0.9	0.0
非喫煙者×受動喫煙あり	181	74.0	37.6	17.7	16.0	21.0	8.8	9.4	2.8	2.8	5.5
非喫煙者×受動喫煙なし	207	62.3	29.5	20.3	9.2	18.8	3.9	7.2	6.3	1.4	2.9

【表の凡例】
 比較の対象となる項目：n=30以上
 全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q3-1 禁煙の理由（『禁煙意向あり』の喫煙者）

Q3で「禁煙する予定がある(時期も決まっている)」または「いつか禁煙するつもりがある(時期は決まっていない)」もしくはQ1・Q2で以前は吸っていたが1か月以上たばこ(加熱式たばこを含む)を吸っていないと回答した方にお尋ねします。

Q3-1 禁煙しようと思う(禁煙した)理由は何ですか。あてはまるものを全てお選びください。

【全体】

- 禁煙の理由について、1位「自分の健康のため」(61.0%)が高くなっている。
- これ以外の理由は、2位「たばこ代が高いため」(40.1%)、3位「喫煙できる場所が減ったため」(24.8%)、「家族・パートナーの健康のため」(23.4%)、「法律の改正・条例の制定により、屋内が原則禁煙となったため」(21.4%)と続いている。

【性別】

- 男女ともに1位「自分の健康のため」が男性63.5%/女性57.6%、2位「たばこ代が高いため」男性42.8%/女性36.4%、3位「喫煙できる場所が減ったため」男性26.9%/女性21.9%となっており、ほぼ男女による大きな差はみられなかった。

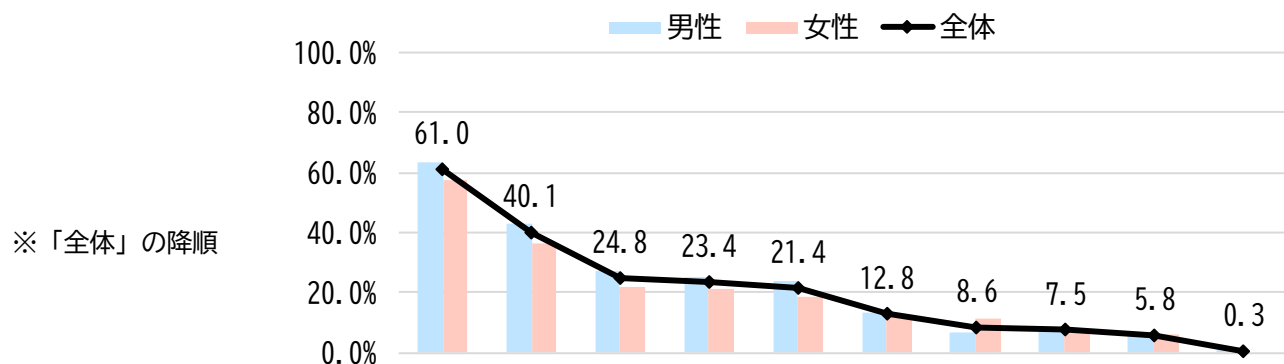
【男性年代別】

- 他の年代と比べて高くなっている項目は、20代は「家族・パートナーの健康のため」(41.7%)、「職場で禁煙を求められたため」(19.4%)、30代は「法律の改正・条例の制定により、屋内が原則禁煙となったため」(34.1%)、50代は「自分の健康のため」(75.0%)、「たばこ代が高いため」(55.6%)となっている。

【女性年代別】

- 他の年代と比べて高くなっている項目は、20代は「妊娠した・子どもが産まれる(産まれた)ため」(12.5%)、30代は「家族・パートナーにやめるように言われたため」(18.0%)となっている。

Q3-1 禁煙の理由（禁煙意向のある喫煙者）のグラフと集計表



	調査数 (n)	自分の健康のため	たばこ代が高いため	喫煙できる場所が減ったため	家族・パートナーの健康のため	法律の改正・条例の制定により、屋内が原則禁煙となったため	家族・パートナーにやめるように言われたため	においが気になるため	職場で禁煙を求められたため	妊娠した・子どもが産まれる(産まれた)ため	その他
全体	359	61.0	40.1	24.8	23.4	21.4	12.8	8.6	7.5	5.8	0.3
男性	208	63.5	42.8	26.9	25.0	23.6	13.5	6.7	7.7	5.8	0.5
女性	151	57.6	36.4	21.9	21.2	18.5	11.9	11.3	7.3	6.0	0.0
回答なし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性/20代	36	52.8	22.2	22.2	41.7	27.8	22.2	2.8	19.4	13.9	0.0
男性/30代	44	50.0	31.8	20.5	20.5	34.1	6.8	4.5	11.4	11.4	2.3
男性/40代	52	69.2	48.1	30.8	28.8	23.1	17.3	3.8	0.0	3.8	0.0
男性/50代	36	75.0	55.6	33.3	22.2	11.1	16.7	16.7	5.6	0.0	0.0
男性/60代	24	70.8	54.2	25.0	16.7	20.8	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0
男性/70代	16	68.8	56.3	31.3	6.3	18.8	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0
女性/20代	32	43.8	28.1	9.4	21.9	18.8	9.4	12.5	9.4	12.5	0.0
女性/30代	50	60.0	24.0	24.0	22.0	20.0	18.0	8.0	8.0	10.0	0.0
女性/40代	28	46.4	42.9	28.6	28.6	25.0	10.7	17.9	7.1	0.0	0.0
女性/50代	17	76.5	41.2	23.5	17.6	17.6	5.9	5.9	5.9	0.0	0.0
女性/60代	14	78.6	57.1	28.6	14.3	7.1	7.1	7.1	7.1	0.0	0.0
女性/70代	10	60.0	70.0	20.0	10.0	10.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0
回答しない/全年代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
喫煙者	359	61.0	40.1	24.8	23.4	21.4	12.8	8.6	7.5	5.8	0.3
非喫煙者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
喫煙者×受動喫煙あり	250	62.4	38.0	24.8	26.8	25.6	16.0	8.0	10.4	7.2	0.4
喫煙者×受動喫煙なし	109	57.8	45.0	24.8	15.6	11.9	5.5	10.1	0.9	2.8	0.0
非喫煙者×受動喫煙あり	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非喫煙者×受動喫煙なし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■

全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q3-1 禁煙の理由（禁煙した非喫煙者）

Q3で「禁煙する予定がある(時期も決まっている)」または「いつか禁煙するつもりがある(時期は決まっていない)」もしくはQ1・Q2で以前は吸っていたが1か月以上たばこ(加熱式たばこを含む)を吸っていないと回答した方にお尋ねします。

Q3-1 禁煙しようと思う(禁煙した)理由は何ですか。あてはまるものを全てお選びください。

【全体】

- 禁煙の理由について、1位「自分の健康のため」(67.8%)が高くなっている。
- これ以外の理由は、2位「たばこ代が高いため」(33.2%)、3位「においが気になるため」(19.8%)と続いている。

【性別】

- 男女ともに1位「自分の健康のため」が男性69.6%/女性64.0%、2位「たばこ代が高いため」男性32.7%/女性34.4%となっています。3位は男性で「家族・パートナーの健康のため」男性20.9%/女性15.2%となっており、女性で「においが気になるため」男性16.0%/女性28.0%となっている。

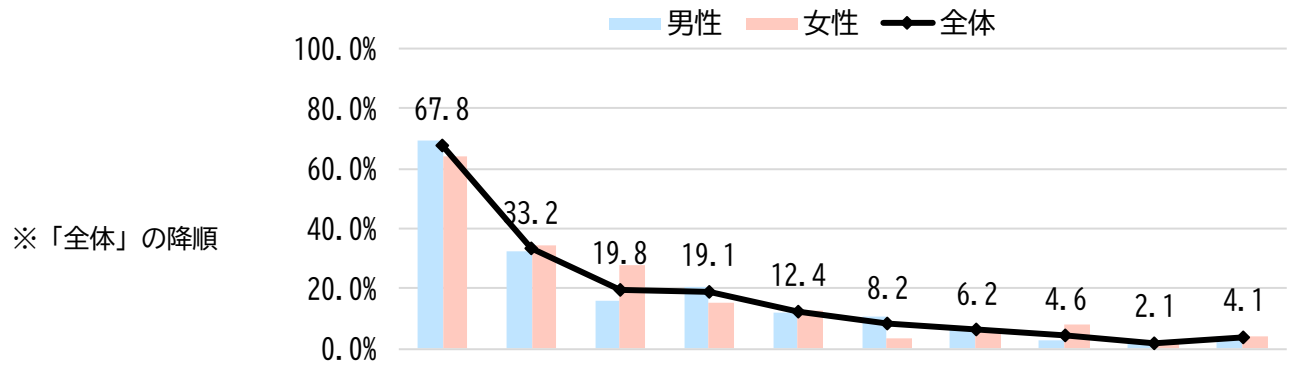
【男性年代別】

- 他の年代と比べて高くなっている項目は、40代は「たばこ代が高いため」(50.0%)、70代は「自分の健康のため」(82.9%)となっている。

【女性年代別】

- 他の年代と比べて高くなっている項目は、40代は「においが気になるため」(35.5%)、70代は「自分の健康のため」(90.0%)となっている。

Q3-1 禁煙の理由（禁煙した非喫煙者）のグラフと集計表



	調査数 (n)	自分の 健康の ため	たばこ 代が高 いため	におい が気にな るため	家族・ パート ナーの 健康の ため	喫煙で きる場 所が減 ったため	家族・ パート ナーに やめる ように 言われ たため	法律の 改正・ 条例の 制定に よる、 屋内が 原則禁 煙とな ったため	妊娠し た・子 どもが 産まれ る（産 まれた） ため	職場で 禁煙を 求めら れたため	その他
全体	388	67.8	33.2	19.8	19.1	12.4	8.2	6.2	4.6	2.1	4.1
男性	263	69.6	32.7	16.0	20.9	12.2	10.6	6.5	3.0	1.9	4.2
女性	125	64.0	34.4	28.0	15.2	12.8	3.2	5.6	8.0	2.4	4.0
回答なし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性／20代	13	69.2	38.5	15.4	23.1	15.4	15.4	23.1	7.7	7.7	0.0
男性／30代	20	45.0	40.0	15.0	15.0	10.0	0.0	0.0	5.0	0.0	5.0
男性／40代	38	63.2	50.0	23.7	18.4	18.4	15.8	5.3	7.9	2.6	0.0
男性／50代	53	66.0	32.1	28.3	13.2	9.4	9.4	5.7	0.0	0.0	5.7
男性／60代	69	69.6	27.5	10.1	21.7	8.7	11.6	5.8	1.4	0.0	5.8
男性／70代	70	82.9	25.7	8.6	28.6	14.3	10.0	7.1	2.9	4.3	4.3
女性／20代	7	57.1	28.6	42.9	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3
女性／30代	13	30.8	30.8	46.2	15.4	15.4	0.0	7.7	23.1	0.0	0.0
女性／40代	31	45.2	32.3	35.5	9.7	6.5	3.2	6.5	9.7	3.2	3.2
女性／50代	21	57.1	38.1	28.6	28.6	28.6	4.8	9.5	4.8	0.0	0.0
女性／60代	23	82.6	30.4	13.0	26.1	21.7	4.3	8.7	4.3	8.7	8.7
女性／70代	30	90.0	40.0	20.0	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	3.3
回答しない／全年代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
喫煙者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非喫煙者	388	67.8	33.2	19.8	19.1	12.4	8.2	6.2	4.6	2.1	4.1
喫煙者×受動喫煙あり	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
喫煙者×受動喫煙なし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非喫煙者×受動喫煙あり	181	74.0	37.6	21.0	17.7	16.0	9.4	8.8	2.8	2.8	5.5
非喫煙者×受動喫煙なし	207	62.3	29.5	18.8	20.3	9.2	7.2	3.9	6.3	1.4	2.9

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q3-2 禁煙の方法

Q3-2 禁煙しようとする（禁煙した）場合には、どのような方法で行います（行いました）か。あてはまるものを全てお選びください。

※「上記を活用せず、自分の意志のみで行う」は他の選択肢での禁煙方法を活用しないことを指します。

【全体】

- 禁煙意向を持つ（禁煙した）者の禁煙方法としては、1位「上記を活用せず、自分の意志のみで行う」が60.1%と他が2割台以下となっていることと比べて突出して高くなっている。
- これ以外の理由は、2位「飲食物で紛らわせる」が20.6%、3位「薬局で買える禁煙補助剤」が17.5%と続く。

【性別】

- 「上記を活用せず、自分の意志のみで行う」は男性が63.9%で女性の53.6%と比べて10ポイント以上高くなっている。

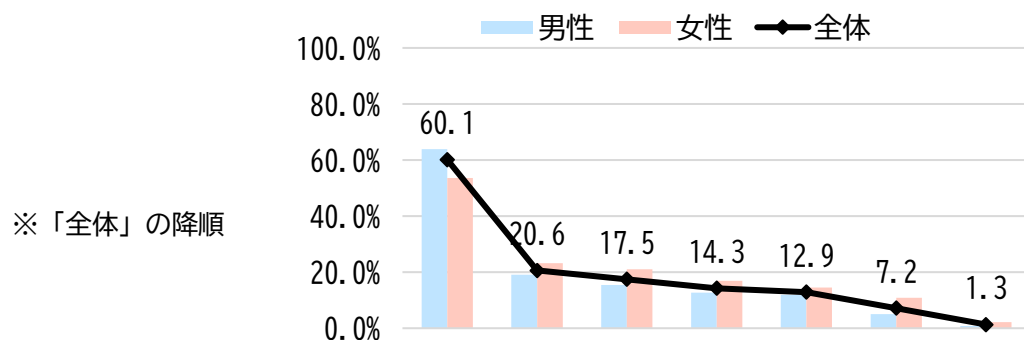
【男性年代別】

- 他の年代と比べて高くなっている項目は、20代・30代で「飲食物で紛らわせる（飴、ガム、缶コーヒー等）」、「薬局で買える禁煙補助剤（ニコチンガム・パッチ等）」、「禁煙グッズ（離煙パイプ、電子タバコ等）」、20代で「禁煙アプリ」と、若年層で複数の方法が高くなっているのに対し、50代～70代で「上記を活用せず、自分の意志のみで行う」となっている。

【女性年代別】

- 他の年代と比べて高くなっている項目は、20代・30代で「飲食物で紛らわせる（飴、ガム、缶コーヒー等）」、「薬局で買える禁煙補助剤（ニコチンガム・パッチ等）」、30代で「禁煙グッズ（離煙パイプ、電子タバコ等）」、「禁煙外来の受診」、「禁煙アプリ」と、若年層で複数の方法が高くなっているのに対し、60代・70代で「上記を活用せず、自分の意志のみで行う」となっている。

Q3-2 禁煙の方法のグラフと集計表



	調査数 (n)	上記を 活用せ ず、自 分の意 志のみ で行う	飲食物 で紛ら わせる (飴、 ガム、 缶コー ヒー等)	薬局で 買える 禁煙補 助剤 (ニコ チンガ ム・パ ッチ等)	禁煙 グッズ (離煙 パイ プ、電 子タバ コ等)	禁煙外 来の受 診	禁煙ア プリ	その他
全体	747	60.1	20.6	17.5	14.3	12.9	7.2	1.3
男性	471	63.9	19.1	15.5	12.7	11.9	5.1	0.8
女性	276	53.6	23.2	21.0	17.0	14.5	10.9	2.2
回答なし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性/20代	49	32.7	42.9	34.7	38.8	20.4	20.4	0.0
男性/30代	64	35.9	39.1	35.9	25.0	15.6	7.8	0.0
男性/40代	90	53.3	25.6	17.8	12.2	20.0	5.6	0.0
男性/50代	89	73.0	10.1	10.1	10.1	11.2	3.4	2.2
男性/60代	93	84.9	7.5	5.4	1.1	5.4	0.0	0.0
男性/70代	86	81.4	5.8	3.5	4.7	3.5	1.2	2.3
女性/20代	39	28.2	30.8	28.2	23.1	17.9	10.3	0.0
女性/30代	63	25.4	47.6	44.4	38.1	34.9	34.9	1.6
女性/40代	59	62.7	16.9	13.6	13.6	8.5	3.4	3.4
女性/50代	38	68.4	7.9	18.4	0.0	2.6	5.3	2.6
女性/60代	37	75.7	8.1	8.1	10.8	10.8	0.0	2.7
女性/70代	40	75.0	15.0	2.5	5.0	2.5	0.0	2.5
回答しない/全年代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
喫煙者	359	37.9	34.8	31.8	24.8	22.3	13.1	0.6
非喫煙者	388	80.7	7.5	4.4	4.6	4.1	1.8	2.1
喫煙者×受動喫煙あり	250	30.4	42.0	38.0	31.2	25.2	18.4	0.4
喫煙者×受動喫煙なし	109	55.0	18.3	17.4	10.1	15.6	0.9	0.9
非喫煙者×受動喫煙あり	181	79.6	7.7	5.0	6.1	5.5	2.8	2.8
非喫煙者×受動喫煙なし	207	81.6	7.2	3.9	3.4	2.9	1.0	1.4

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q3-2 禁煙の方法（『禁煙意向あり』の喫煙者）

Q3-2 禁煙しようとする（禁煙した）場合には、どのような方法で行います（行いました）か。あてはまるものを全てお選びください。

※「上記を活用せず、自分の意志のみで行う」は他の選択肢での禁煙方法を活用しないことを指します。

【全体】

○禁煙意向を持つ喫煙者の禁煙方法としては、1位「上記を活用せず、自分の意志のみで行う」が37.9%、2位「飲食物で紛らわせる」が34.8%、3位「薬局で買える禁煙補助剤」が31.8%と続く。

【性別】

○男性は1位が「上記を活用せず、自分の意志のみで行う」男性41.8%/女性32.5%で女性よりもおよそ10ポイント高くなっている。また、女性は1位が「飲食物で紛らわせる」男性32.2%/女性38.4%となっている。

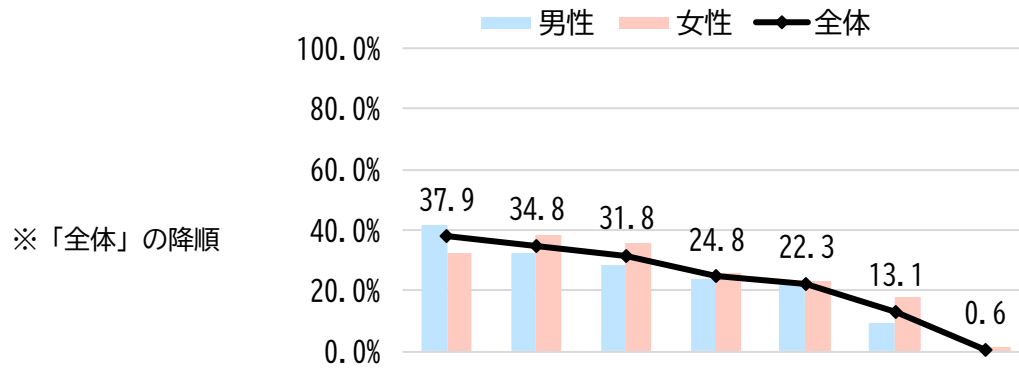
【男性年代別】

○他の年代と比べて高くなっている項目は、20代・30代で「飲食物で紛らわせる（飴、ガム、缶コーヒー等）」、「禁煙グッズ（離煙パイプ、電子タバコ等）」、20代で「薬局で買える禁煙補助剤（ニコチンガム・パッチ等）」と、若年層で複数の方法が高くなっているのに対し、40代で「上記を活用せず、自分の意志のみで行う」となっている。

【女性年代別】

○他の年代と比べて高くなっている項目は、30代で「飲食物で紛らわせる（飴、ガム、缶コーヒー等）」、「薬局で買える禁煙補助剤（ニコチンガム・パッチ等）」、30代で「禁煙グッズ（離煙パイプ、電子タバコ等）」、「禁煙外来の受診」、「禁煙アプリ」となっている。

Q3-2 禁煙の方法（『禁煙意向あり』の喫煙者）のグラフと集計表



	調査数 (n)	上記を 活用せ ず、自 分の意 志のみ で行う	飲食物 で紛ら わせる (飴、 ガム、 缶コー ヒー 等)	薬局で 買える 禁煙補 助剤 (ニコ チンガ ム・ パッチ 等)	禁煙 グッズ (離煙 パイ プ、電 子タバ コ等)	禁煙外 来の受 診	禁煙ア プリ	その他
全体	359	37.9	34.8	31.8	24.8	22.3	13.1	0.6
男性	208	41.8	32.2	28.8	24.0	21.6	9.6	0.0
女性	151	32.5	38.4	35.8	25.8	23.2	17.9	1.3
回答なし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性/20代	36	19.4	52.8	41.7	44.4	27.8	22.2	0.0
男性/30代	44	20.5	50.0	47.7	36.4	20.5	9.1	0.0
男性/40代	52	32.7	34.6	26.9	21.2	32.7	9.6	0.0
男性/50代	36	61.1	16.7	19.4	16.7	16.7	8.3	0.0
男性/60代	24	79.2	4.2	8.3	0.0	12.5	0.0	0.0
男性/70代	16	81.3	6.3	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0
女性/20代	32	18.8	37.5	34.4	21.9	21.9	12.5	0.0
女性/30代	50	12.0	60.0	54.0	48.0	44.0	40.0	2.0
女性/40代	28	39.3	32.1	28.6	25.0	14.3	7.1	0.0
女性/50代	17	52.9	11.8	29.4	0.0	0.0	5.9	5.9
女性/60代	14	71.4	14.3	14.3	7.1	14.3	0.0	0.0
女性/70代	10	70.0	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
回答しない/全年代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
喫煙者	359	37.9	34.8	31.8	24.8	22.3	13.1	0.6
非喫煙者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
喫煙者×受動喫煙あり	250	30.4	42.0	38.0	31.2	25.2	18.4	0.4
喫煙者×受動喫煙なし	109	55.0	18.3	17.4	10.1	15.6	0.9	0.9
非喫煙者×受動喫煙あり	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非喫煙者×受動喫煙なし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

- 全体+10ポイント以上 ■
- 全体+5ポイント以上 ■
- 全体-5ポイント以下 ■
- 全体-10ポイント以下 ■

Q3-2 禁煙の方法（禁煙した非喫煙者）

Q3-2 禁煙しようとする（禁煙した）場合には、どのような方法で行います（行いました）か。あてはまるものを全てお選びください。

※「上記を活用せず、自分の意志のみで行う」は他の選択肢での禁煙方法を活用しないことを指します。

【全体】

○禁煙意向を持つ（禁煙した）者の禁煙方法としては、1位「上記を活用せず、自分の意志のみで行う」が81.4%と他が1割台以下となっていることと比べて突出して高くなっている。

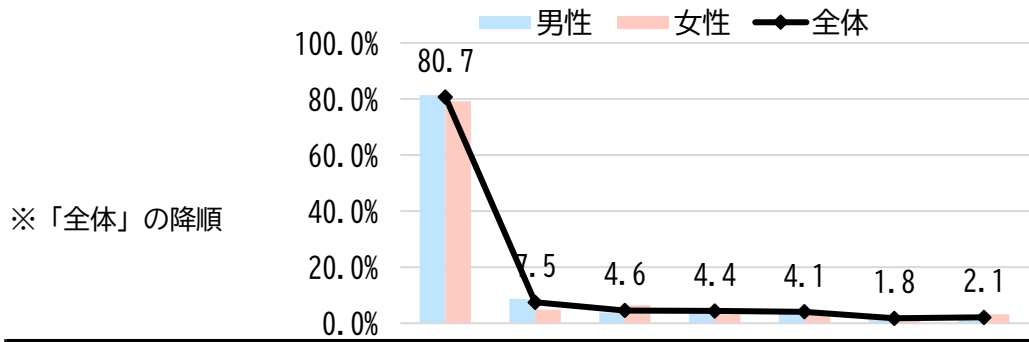
【性別】

○男女ともに1位は「上記を活用せず、自分の意志のみで行う」男性81.4%/女性79.2%となっている。

【男性年代別】

○他の年代と比べて高くなっている項目は、40代で「飲食物で紛らわせる（飴、ガム、缶コーヒー等）」、60代で「上記を活用せず、自分の意志のみで行う」がわずかに高くなっている。

Q3-2 禁煙の方法（禁煙した非喫煙者）のグラフと集計表



	調査数 (n)	上記を 活用せ ず、自 分の意 志のみ で行う	飲食物 で紛ら わせる (飴、 ガム、 缶コー ヒー等)	禁煙 グッズ (離煙 パイ プ、電 子タバ コ等)	薬局で 買える 禁煙補 助剤 (ニコ チンガ ム・パ ッチ等)	禁煙外 来の受 診	禁煙ア プリ	その他
全体	388	80.7	7.5	4.6	4.4	4.1	1.8	2.1
男性	263	81.4	8.7	3.8	4.9	4.2	1.5	1.5
女性	125	79.2	4.8	6.4	3.2	4.0	2.4	3.2
回答なし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性/20代	13	69.2	15.4	23.1	15.4	0.0	15.4	0.0
男性/30代	20	70.0	15.0	0.0	10.0	5.0	5.0	0.0
男性/40代	38	81.6	13.2	0.0	5.3	2.6	0.0	0.0
男性/50代	53	81.1	5.7	5.7	3.8	7.5	0.0	3.8
男性/60代	69	87.0	8.7	1.4	4.3	2.9	0.0	0.0
男性/70代	70	81.4	5.7	4.3	2.9	4.3	1.4	2.9
女性/20代	7	71.4	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0
女性/30代	13	76.9	0.0	0.0	7.7	0.0	15.4	0.0
女性/40代	31	83.9	3.2	3.2	0.0	3.2	0.0	6.5
女性/50代	21	81.0	4.8	0.0	9.5	4.8	4.8	0.0
女性/60代	23	78.3	4.3	13.0	4.3	8.7	0.0	4.3
女性/70代	30	76.7	10.0	6.7	0.0	3.3	0.0	3.3
回答しない/全年代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
喫煙者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非喫煙者	388	80.7	7.5	4.6	4.4	4.1	1.8	2.1
喫煙者×受動喫煙あり	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
喫煙者×受動喫煙なし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非喫煙者×受動喫煙あり	181	79.6	7.7	6.1	5.0	5.5	2.8	2.8
非喫煙者×受動喫煙なし	207	81.6	7.2	3.4	3.9	2.9	1.0	1.4

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■

全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q4 COPDの認知度

Q4 あなたは、COPD（シーオーピーディー）【慢性閉塞性肺疾患（まんせいへいそくせいはいしっかん）】※という病気を知っていますか。

※「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」とは、有害物質を長い間吸引したことで肺が壊れる進行性の病気です。「肺気腫」や「慢性気管支炎」と言われていた疾患も、COPDに含まれます。COPDの原因の約90%は、たばこの煙です。重症化すると、少し動くだけでも息切れしてしまい、酸素吸入が必要になるなど、生活に大きく影響してしまいます。思い当たる点があれば、医療機関を受診しましょう。

【全体】

○「COPD」を『認知している』は35.8%（「知っている」16.2%、「内容までは知らなかったが、聞いたことがある」19.6%の合計。以下同じ）と5割をやや下回る程度となった。

【性別】

○『認知している』は男性が34.8%、女性が36.7%で性別による大きな差はみられなかった。

【男性年代別】

○『認知している』は、70代で38.7%と最も高く、次いで、40代で38.4%、60代は33.9%、30代は32.7%、50代は32.7%、20代は32.5%と最も低くなっている。

【女性年代別】

○『認知している』は、70代で45.9%と最も高く、次いで、60代で42.6%、30代は40.4%、50代は33.3%、40代は32.0%、20代は29.2%と最も低くなっている。

【喫煙者・非喫煙者別】

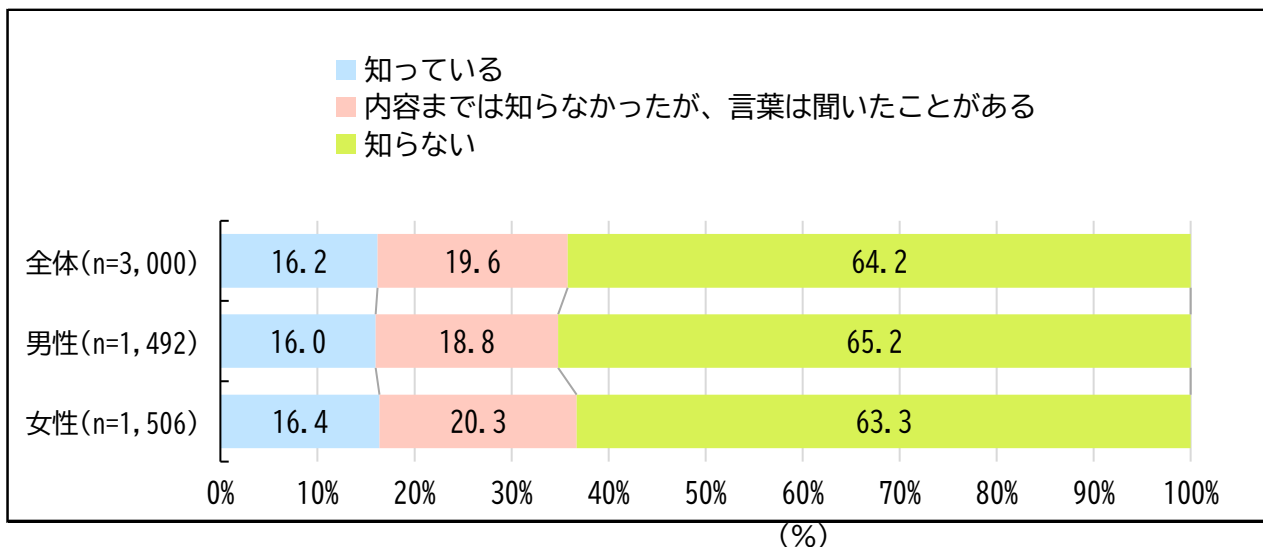
○『認知している』は、喫煙者が58.7%で、非喫煙者の29.5%と比較して、およそ2倍の差となっている。

【受動喫煙の経験の有無別】

○『認知している』は、喫煙者でみると、「受動喫煙経験あり」が73.6%で、「受動喫煙経験なし」の34.5%と比較して、2倍以上の差となっている。

○「知らない」は、喫煙者でみると、「受動喫煙経験あり」が44.5%で、「受動喫煙経験なし」の13.4%と比較して、3倍以上の差となっている。

Q4 COPDの認知度のグラフと集計表



(%)

	調査数 (n)	知っている	内容までは知らなかったが、言葉は聞いたことがある	知らない
全体	3,000	16.2	19.6	64.2
男性	1,492	16.0	18.8	65.2
女性	1,506	16.4	20.3	63.3
回答なし	2	0.0	50.0	50.0
男性/20代	243	16.9	15.6	67.5
男性/30代	272	17.6	15.1	67.3
男性/40代	318	15.1	23.3	61.6
男性/50代	278	15.8	16.9	67.3
男性/60代	195	14.4	19.5	66.2
男性/70代	186	16.1	22.6	61.3
女性/20代	246	15.4	13.8	70.7
女性/30代	267	21.7	18.7	59.6
女性/40代	309	12.9	19.1	68.0
女性/50代	267	12.7	20.6	66.7
女性/60代	195	19.0	23.6	57.4
女性/70代	222	18.0	27.9	54.1
回答しない/全年代	2	0.0	50.0	50.0
喫煙者	644	32.6	26.1	41.3
非喫煙者	2,356	11.7	17.8	70.5
喫煙者×受動喫煙あり	398	44.5	29.1	26.4
喫煙者×受動喫煙なし	246	13.4	21.1	65.4
非喫煙者×受動喫煙あり	813	17.6	25.7	56.7
非喫煙者×受動喫煙なし	1,543	8.6	13.6	77.8

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q4-1 COPD原因の認知度

Q4-1 あなたは、長期の喫煙習慣により、COPD（慢性閉塞性肺疾患）になるリスクが高くなることを知っていますか。

【全体】

○長期の喫煙習慣でCOPDになるリスクが高くなること「知っている」(30.8%)が3割を超えており、「知らない」(69.2%)が7割弱となっている。

【性別】

○「知っている」は男性が30.1%、女性が31.5%で性別による大きな差はみられなかった。

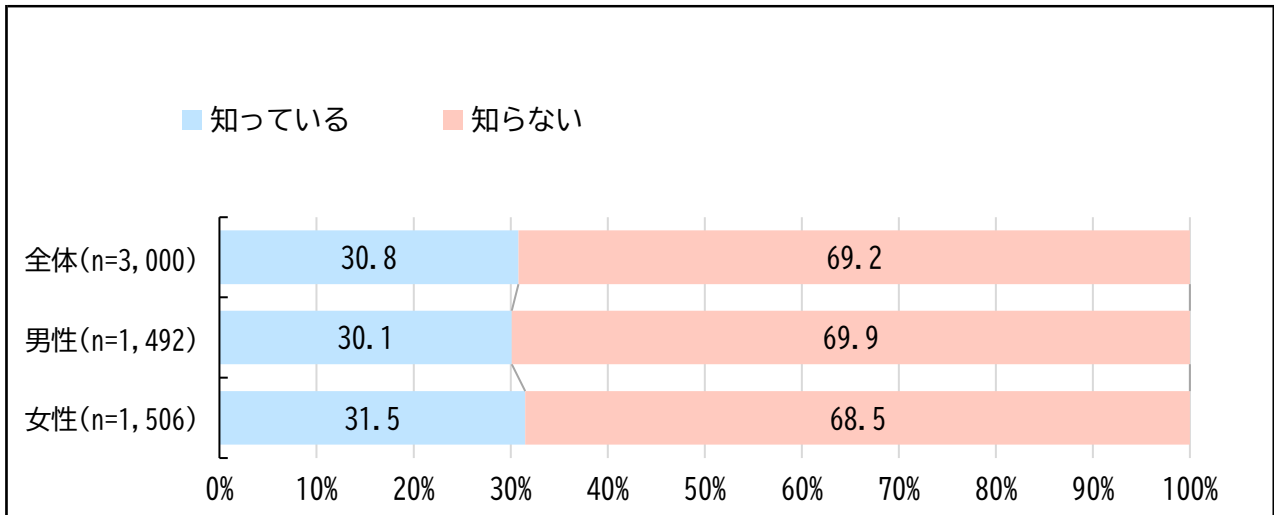
【男性年代別】

○「知っている」は、40代は34.3%と最も高く、次いで、70代で33.9%、60代で29.7%、50代で28.1%、20代で27.6%、30代は27.2%と最も低くなっている。

【女性年代別】

○「知っている」は、70代で41.4%と最も高く、次いで、60代で37.4%、30代で33.7%、50代で29.6%、40代で26.5%、20代は23.6%と最も低くなっている。

Q4-1 COPD原因の認知度のグラフと集計表



	調査数 (n)	知っている (%)	知らない (%)
全体	3,000	30.8	69.2
男性	1,492	30.1	69.9
女性	1,506	31.5	68.5
回答なし	2	50.0	50.0
男性/20代	243	27.6	72.4
男性/30代	272	27.2	72.8
男性/40代	318	34.3	65.7
男性/50代	278	28.1	71.9
男性/60代	195	29.7	70.3
男性/70代	186	33.9	66.1
女性/20代	246	23.6	76.4
女性/30代	267	33.7	66.3
女性/40代	309	26.5	73.5
女性/50代	267	29.6	70.4
女性/60代	195	37.4	62.6
女性/70代	222	41.4	58.6
回答しない/全年代	2	50.0	50.0
喫煙者	644	51.6	48.4
非喫煙者	2,356	25.1	74.9
喫煙者×受動喫煙あり	398	68.6	31.4
喫煙者×受動喫煙なし	246	24.0	76.0
非喫煙者×受動喫煙あり	813	38.1	61.9
非喫煙者×受動喫煙なし	1,543	18.3	81.7

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q4-2 COPD死者数の認知度

Q4-2 あなたは、日本で、毎年1万人を超える方がCOPD（慢性閉塞性肺疾患）で亡くなっていること※を知っていますか。

※男性に高い傾向があり、令和3年には日本の男性の死因順位の第9位でした。（令和3年人口動態統計概況）なお、世界でも、1990年には死因の第6位となっているCOPDが、2019年には第3位になっています。（WHO）

【全体】

○「COPD」が原因で毎年1万人超が亡くなっていることを「知っている」は13.7%と2割未満であり、一方、「知らなかった」は86.3%と知らない人が8割以上となった。

【性別】

○「知っている」は男性が15.3%、女性では12.2%で性別による大きな差はみられなかった。

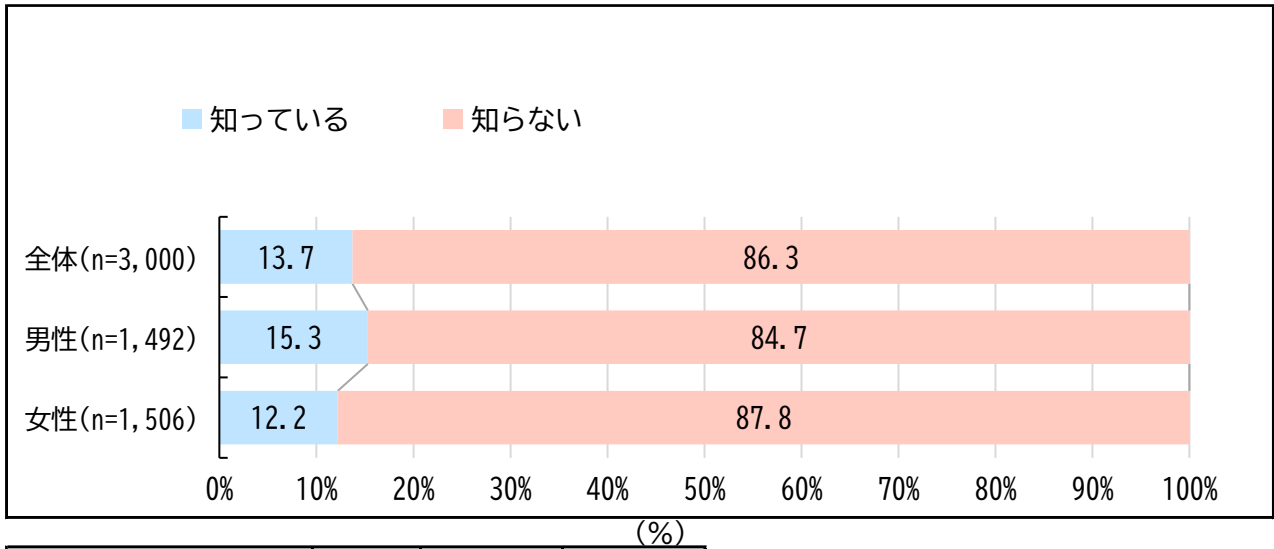
【男性年代別】

○「知っている」は、20代で23.9%と最も高く、次いで、30代で16.9%、40代は15.7%、50代は12.2%、60代は10.8%、70代は10.2%と最も低くなっている。

【女性年代別】

○「知っている」は、30代で20.6%と最も高く、次いで、20代で13.0%、40代は11.0%、70代は9.5%、50代は9.0%、60代は8.7%と最も低くなっている。

Q4-2 COPD死者数認知度のグラフと集計表



	調査数 (n)	知っている (%)	知らない (%)
全体	3,000	13.7	86.3
男性	1,492	15.3	84.7
女性	1,506	12.2	87.8
回答なし	2	50.0	50.0
男性/20代	243	23.9	76.1
男性/30代	272	16.9	83.1
男性/40代	318	15.7	84.3
男性/50代	278	12.2	87.8
男性/60代	195	10.8	89.2
男性/70代	186	10.2	89.8
女性/20代	246	13.0	87.0
女性/30代	267	20.6	79.4
女性/40代	309	11.0	89.0
女性/50代	267	9.0	91.0
女性/60代	195	8.7	91.3
女性/70代	222	9.5	90.5
回答しない/全年代	2	50.0	50.0
喫煙者	644	34.0	66.0
非喫煙者	2,356	8.2	91.8
喫煙者×受動喫煙あり	398	46.7	53.3
喫煙者×受動喫煙なし	246	13.4	86.6
非喫煙者×受動喫煙あり	813	14.3	85.7
非喫煙者×受動喫煙なし	1,543	5.0	95.0

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q4-3 COPD認知広報媒体

Q4で「知っている」「内容までは知らなかったが、言葉は聞いたことがある」と回答した方にお尋ねします。

Q4-3 COPD（慢性閉塞性肺疾患）について、あなたが見たり、聞いたりしたことがあるものについて教えてください。

【全体】

○COPD（慢性閉塞性肺疾患）について、見たり、聞いたりしたことがあるものは、「テレビ」（61.3%）が最も高く、次いで「新聞、雑誌」（21.6%）となった。

【性別】

○男女ともに「テレビ」が最も高く男性58.6%/女性64.0%で性別による大きな差はみられなかった。

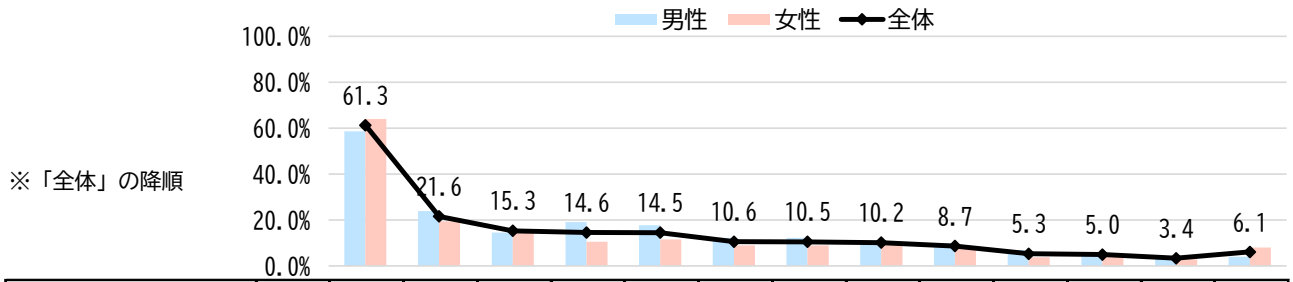
【男性年代別】

○他の年代と比べて高くなっている項目は、20代・30代は「ホームページ」、「インターネット広告」、「SNS（X等）」が、20代は「ポスター」、「競馬場の屋外ビジョン」、70代は「新聞、雑誌」となっている。

【女性年代別】

○他の年代と比べて高くなっている項目は、20代は「SNS（X等）」、30代は「ホームページ」、「SNS（X等）」60代は「テレビ」、70代は「新聞、雑誌」となっている。

Q4-3 COPD認知広報媒体のグラフと集計表



	調査数 (n)	テレビ	新聞・雑誌	家族・友人・知人などから聞いた(口コミ)	ホームページ	インターネット広告	SNS(X等)	チャリン・パンフレット	東京都や区市町村の広報紙	ポスター	ラジオ	競馬場の屋外ビジョン	動画(東京都作成の動画等)	その他
全体	1,073	61.3	21.6	15.3	14.6	14.5	10.6	10.5	10.2	8.7	5.3	5.0	3.4	6.1
男性	519	58.6	23.9	14.6	19.1	17.7	12.3	12.3	10.4	10.0	6.9	5.8	3.9	4.0
女性	553	64.0	19.5	15.7	10.5	11.6	9.0	8.9	9.9	7.4	3.8	4.3	2.9	8.0
回答なし	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性/20代	79	59.5	19.0	21.5	31.6	32.9	24.1	16.5	19.0	21.5	10.1	19.0	11.4	0.0
男性/30代	89	53.9	22.5	10.1	30.3	27.0	23.6	16.9	13.5	10.1	13.5	10.1	5.6	2.2
男性/40代	122	59.8	18.0	10.7	19.7	14.8	12.3	9.8	6.6	7.4	3.3	4.1	2.5	7.4
男性/50代	91	57.1	25.3	17.6	13.2	13.2	6.6	8.8	6.6	5.5	7.7	1.1	1.1	3.3
男性/60代	66	57.6	25.8	13.6	9.1	12.1	1.5	12.1	10.6	10.6	4.5	0.0	1.5	3.0
男性/70代	72	63.9	37.5	16.7	6.9	5.6	2.8	11.1	8.3	6.9	2.8	0.0	1.4	6.9
女性/20代	72	50.0	13.9	5.6	16.7	8.3	22.2	8.3	5.6	8.3	5.6	8.3	2.8	11.1
女性/30代	108	63.9	13.0	10.2	28.7	21.3	21.3	15.7	13.0	13.9	9.3	14.8	8.3	8.3
女性/40代	99	57.6	10.1	12.1	6.1	9.1	5.1	8.1	7.1	6.1	0.0	1.0	3.0	14.1
女性/50代	89	67.4	16.9	24.7	3.4	11.2	4.5	7.9	3.4	4.5	0.0	1.1	0.0	2.2
女性/60代	83	73.5	22.9	16.9	4.8	6.0	1.2	3.6	8.4	3.6	4.8	0.0	1.2	9.6
女性/70代	102	69.6	39.2	23.5	2.0	10.8	1.0	7.8	19.6	6.9	2.9	0.0	1.0	2.9
回答しない/全年代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
喫煙者	378	58.2	21.2	13.5	23.8	23.5	19.3	15.6	13.8	13.2	9.3	12.7	6.1	1.9
非喫煙者	695	63.0	21.9	16.3	9.6	9.6	5.9	7.8	8.2	6.2	3.2	0.9	1.9	8.3
喫煙者×受動喫煙あり	293	61.1	23.5	14.7	26.6	25.3	21.5	18.8	14.7	14.7	11.3	16.0	7.2	1.4
喫煙者×受動喫煙なし	85	48.2	12.9	9.4	14.1	17.6	11.8	4.7	10.6	8.2	2.4	1.2	2.4	3.5
非喫煙者×受動喫煙あり	352	65.1	24.4	16.2	10.8	9.9	6.0	9.7	8.5	6.5	2.6	0.6	1.7	10.2
非喫煙者×受動喫煙なし	343	60.9	19.2	16.3	8.5	9.3	5.8	5.8	7.9	5.8	3.8	1.2	2.0	6.4

【表の凡例】
 比較の対象となる項目：n=30以上
 全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q5 受動喫煙が健康に影響することの認知度

Q5 あなたは、室内又はこれに準ずる環境における受動喫煙※が健康に影響することを知っていますか。

※「受動喫煙」とは、他人のたばこの煙を吸わされることをいいます。たばこの煙は、喫煙者が吸い込む主流煙と、火がついている部分から立ちのぼる副流煙、喫煙者が吐き出す呼出煙に分けられ、副流煙と呼出煙を吸い込むことを受動喫煙といいます。中でも、副流煙にはニコチンや一酸化炭素などの有害物質や発がん性物質が主流煙の何倍も含まれています。

【全体】

○受動喫煙が健康に影響することを「知っている」は61.5%と6割を超えた。

【性別】

○「知っている」は男性が59.6%、女性が63.4%で性別による大きな差はみられなかった。

【男性年代別】

○「知っている」は、70代で78.0%と最も高く、次いで、60代で67.2%、40代は62.3%、50代は57.9%、20代は49.8%、30代は48.9%と最も低くなっている。

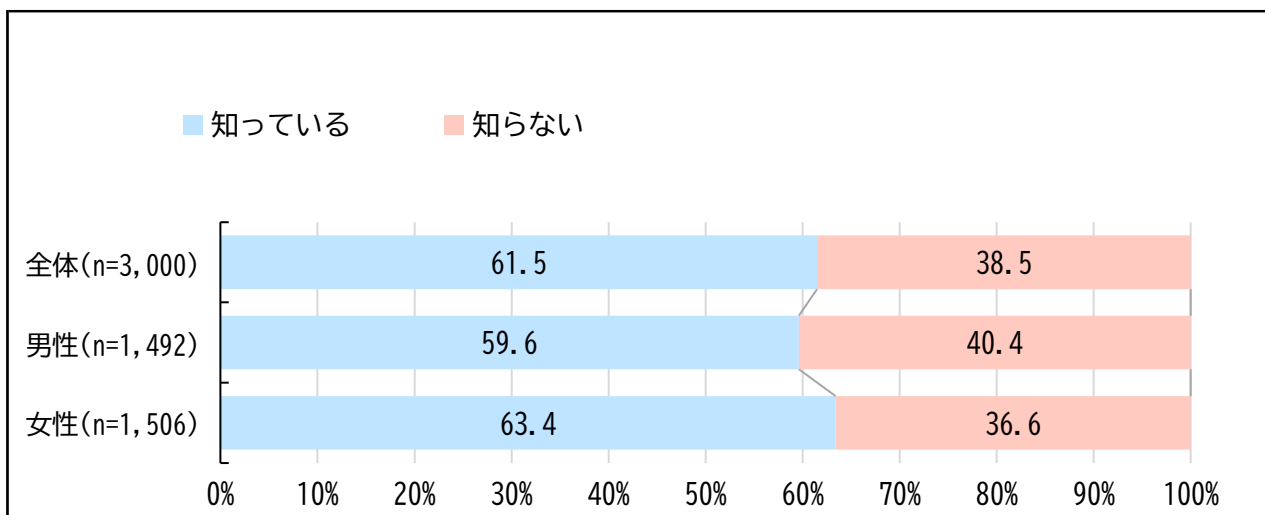
【女性年代別】

○「知っている」は、70代で81.5%と最も高く、次いで、60代で72.3%、50代は62.9%、30代は61.8%、40代は58.6%、20代は48.4%と最も低くなっている。

【喫煙者・非喫煙者の別】

○「知っている」は、喫煙者で72.4%と、非喫煙者の58.5%と比較して、10ポイント以上の差となっている。

Q5 受動喫煙が健康に影響することの認知度のグラフと集計表



	調査数 (n)	知っている (%)	
		知っている	知らない
全体	3,000	61.5	38.5
男性	1,492	59.6	40.4
女性	1,506	63.4	36.6
回答なし	2	0.0	100.0
男性/20代	243	49.8	50.2
男性/30代	272	48.9	51.1
男性/40代	318	62.3	37.7
男性/50代	278	57.9	42.1
男性/60代	195	67.2	32.8
男性/70代	186	78.0	22.0
女性/20代	246	48.4	51.6
女性/30代	267	61.8	38.2
女性/40代	309	58.6	41.4
女性/50代	267	62.9	37.1
女性/60代	195	72.3	27.7
女性/70代	222	81.5	18.5
回答しない/全年代	2	0.0	100.0
喫煙者	644	72.4	27.6
非喫煙者	2,356	58.5	41.5
喫煙者×受動喫煙あり	398	87.2	12.8
喫煙者×受動喫煙なし	246	48.4	51.6
非喫煙者×受動喫煙あり	813	83.0	17.0
非喫煙者×受動喫煙なし	1,543	45.6	54.4

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q6 受動喫煙の経験状況

Q6 あなたは、おおよそ1年の間に受動喫煙を経験しましたか。

※「受動喫煙」とは、他人のたばこの煙を吸わされることをいいます。たばこの煙は、喫煙者が吸い込む主流煙と、火がついている部分から立ちのぼる副流煙、喫煙者が吐き出す呼出煙に分けられ、副流煙と呼出煙を吸い込むことを受動喫煙といいます。中でも、副流煙にはニコチンや一酸化炭素などの有害物質や発がん性物質が主流煙の何倍も含まれています。

【全体】

○おおよそ1年の間で受動喫煙を「経験した」という回答は40.4%と約4割となっている。

【性別】

○「経験した」は男性が42.5%、女性が38.2%で性別による大きな差はみられなかった。

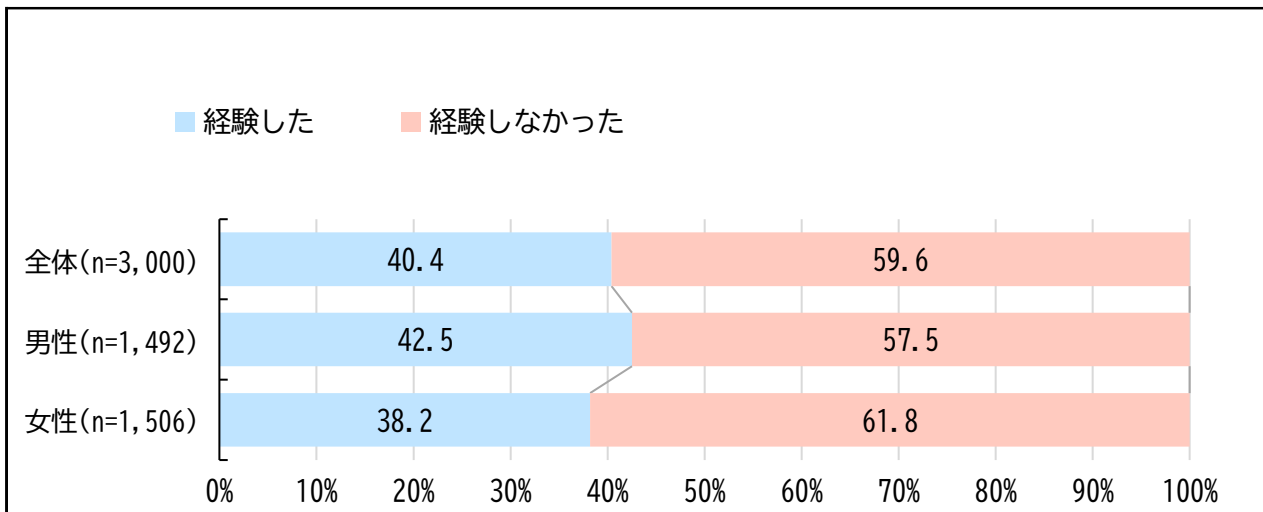
【男性年代別】

○「経験した」は、40代で43.7%と最も高く、次いで、70代で43.5%、20代は43.2%、50代は42.4%、30代は41.2%、60代は40.5%と最も低くなっている。

【女性年代別】

○「経験した」は、30代で44.2%と最も高く、次いで、40代で43.0%、20代は41.5%、50代は36.7%、60代は33.8%、70代は26.6%と最も低くなっている。

Q6 受動喫煙の経験状況のグラフと集計表



	調査数 (n)	経験状況 (%)	
		経験した	経験しなかった
全体	3,000	40.4	59.6
男性	1,492	42.5	57.5
女性	1,506	38.2	61.8
回答なし	2	50.0	50.0
男性/20代	243	43.2	56.8
男性/30代	272	41.2	58.8
男性/40代	318	43.7	56.3
男性/50代	278	42.4	57.6
男性/60代	195	40.5	59.5
男性/70代	186	43.5	56.5
女性/20代	246	41.5	58.5
女性/30代	267	44.2	55.8
女性/40代	309	43.0	57.0
女性/50代	267	36.7	63.3
女性/60代	195	33.8	66.2
女性/70代	222	26.6	73.4
回答しない/全年代	2	50.0	50.0
喫煙者	644	61.8	38.2
非喫煙者	2,356	34.5	65.5
喫煙者×受動喫煙あり	398	100.0	0.0
喫煙者×受動喫煙なし	246	0.0	100.0
非喫煙者×受動喫煙あり	813	100.0	0.0
非喫煙者×受動喫煙なし	1,543	0.0	100.0

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

【参考2-1】 受動喫煙の経験状況（喫煙者）

Q6の受動喫煙の経験状況を「喫煙者」と「非喫煙者」で分けて集計した。

『喫煙者』

【喫煙者の全体】

○おおよそ1年の間で受動喫煙を「経験した」という回答は61.8%と6割を超えた。

【性別】

○「経験した」は男性が60.9%、女性が63.3%で性別による大きな差はみられなかった。

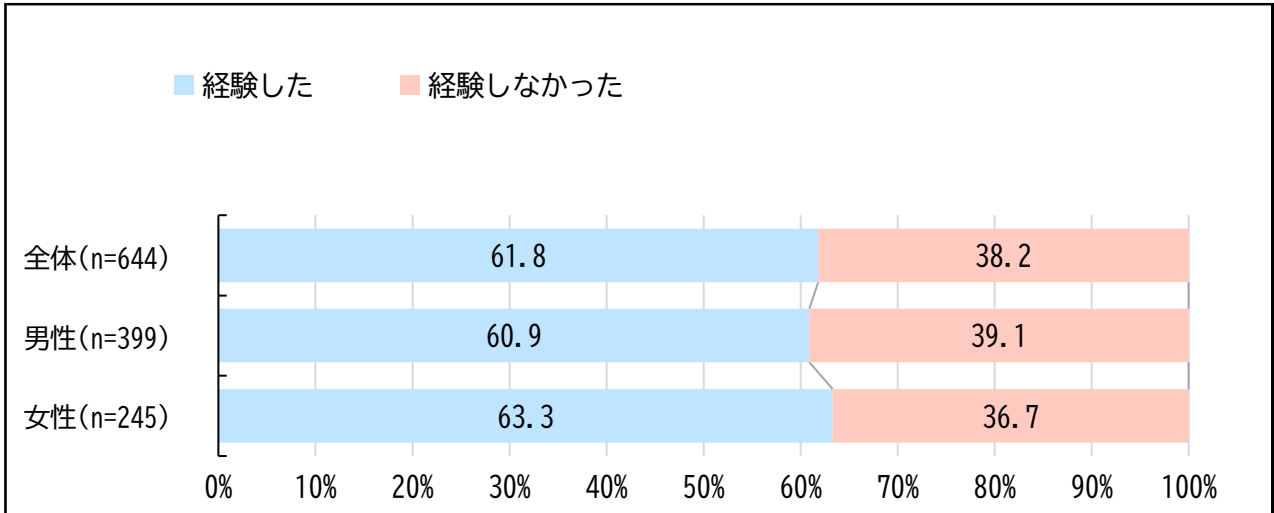
【男性年代別】

○「経験した」は20代が最も高く74.1%で、そこから60代まで概ね年代が上がるにつれ低下傾向にあり、60代は最も低く40.9%となった。

【女性年代別】

○「経験した」は30代が最も高く73.0%となっている。

【参考2-1】 受動喫煙の経験状況（喫煙者）のグラフと集計表



	調査数 (n)	経験した	経験しなかった
全体	644	61.8	38.2
男性	399	60.9	39.1
女性	245	63.3	36.7
回答なし	0	0.0	0.0
男性／20代	54	74.1	25.9
男性／30代	78	66.7	33.3
男性／40代	109	62.4	37.6
男性／50代	76	55.3	44.7
男性／60代	44	40.9	59.1
男性／70代	38	60.5	39.5
女性／20代	41	70.7	29.3
女性／30代	63	73.0	27.0
女性／40代	49	63.3	36.7
女性／50代	43	62.8	37.2
女性／60代	28	42.9	57.1
女性／70代	21	47.6	52.4
回答しない／全年代	0	0.0	0.0
喫煙者	644	61.8	38.2
非喫煙者	0	0.0	0.0
喫煙者×受動喫煙あり	398	100.0	0.0
喫煙者×受動喫煙なし	246	0.0	100.0
非喫煙者×受動喫煙あり	0	0.0	0.0
非喫煙者×受動喫煙なし	0	0.0	0.0

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

【参考2-2】 受動喫煙の経験状況（非喫煙者）

Q6の受動喫煙の経験状況を「喫煙者」と「非喫煙者」で分けて集計した。

『非喫煙者』

【喫煙者の全体】

○おおよそ1年の間で受動喫煙を「経験した」という回答は34.5%と4割を下回った。

【性別】

○「経験した」は男性が35.8%、女性が33.4%で性別による大きな差はみられなかった。

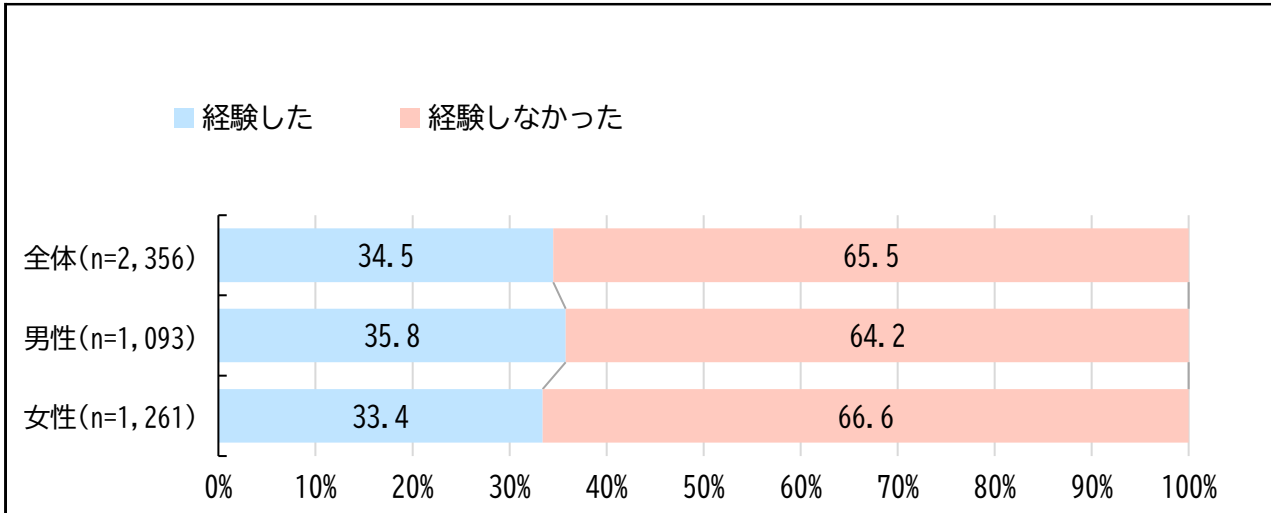
【男性年代別】

○「経験した」は60代が最も高く40.4%となっている。

【女性年代別】

○「経験した」は40代が最も高く39.2%となっている。

【参考2-2】 受動喫煙の経験状況（非喫煙者）のグラフと集計表



	調査数 (n)	経験した	経験しなかった
全体	2,356	34.5	65.5
男性	1,093	35.8	64.2
女性	1,261	33.4	66.6
回答なし	2	50.0	50.0
男性/20代	189	34.4	65.6
男性/30代	194	30.9	69.1
男性/40代	209	34.0	66.0
男性/50代	202	37.6	62.4
男性/60代	151	40.4	59.6
男性/70代	148	39.2	60.8
女性/20代	205	35.6	64.4
女性/30代	204	35.3	64.7
女性/40代	260	39.2	60.8
女性/50代	224	31.7	68.3
女性/60代	167	32.3	67.7
女性/70代	201	24.4	75.6
回答しない/全年代	2	50.0	50.0
喫煙者	0	0.0	0.0
非喫煙者	2,356	34.5	65.5
喫煙者×受動喫煙あり	0	0.0	0.0
喫煙者×受動喫煙なし	0	0.0	0.0
非喫煙者×受動喫煙あり	813	100.0	0.0
非喫煙者×受動喫煙なし	1,543	0.0	100.0

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q6-1 受動喫煙の経験地域

Q6で「経験した」と回答した方にお尋ねします。

Q6-1 受動喫煙を経験した場所は主に都内でしたか。

【全体】

○受動喫煙の経験地域は「都内」が93.1%とほとんどを占めている。

【性別】

○「都内」は男性93.7%、女性92.5%で性別による大きな差はみられなかった。

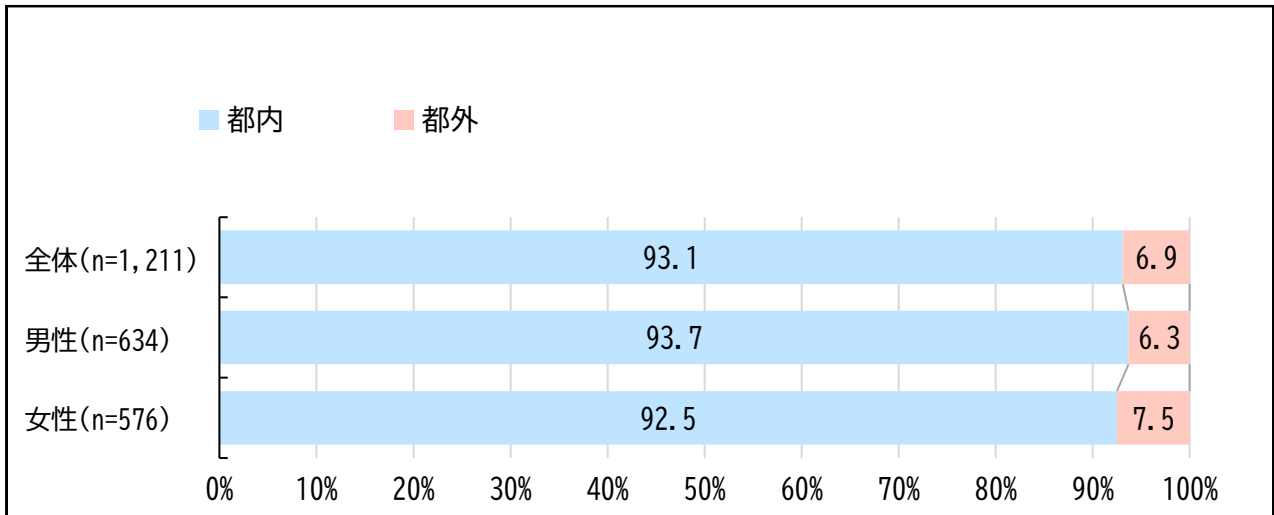
【男性年代別】

○「都内」は、60代で94.9%と最も高く、次いで、30代で94.6%、20代は94.3%、40代は94.2%、50代は94.1%、70代は88.9%と最も低くなっている。

【女性年代別】

○「都内」は、30代で97.5%と最も高く、次いで、50代で91.8%、70代は91.5%、20代は91.2%、40代は91.0%、60代は90.9%と最も低くなっている。

Q6-1 受動喫煙の経験地域のグラフと集計表



	調査数 (n)	都内 (%)	都外 (%)
全体	1,211	93.1	6.9
男性	634	93.7	6.3
女性	576	92.5	7.5
回答なし	1	100.0	0.0
男性/20代	105	94.3	5.7
男性/30代	112	94.6	5.4
男性/40代	139	94.2	5.8
男性/50代	118	94.1	5.9
男性/60代	79	94.9	5.1
男性/70代	81	88.9	11.1
女性/20代	102	91.2	8.8
女性/30代	118	97.5	2.5
女性/40代	133	91.0	9.0
女性/50代	98	91.8	8.2
女性/60代	66	90.9	9.1
女性/70代	59	91.5	8.5
回答しない/全年代	1	100.0	0.0
喫煙者	398	93.5	6.5
非喫煙者	813	93.0	7.0
喫煙者×受動喫煙あり	398	93.5	6.5
喫煙者×受動喫煙なし	0	0.0	0.0
非喫煙者×受動喫煙あり	813	93.0	7.0
非喫煙者×受動喫煙なし	0	0.0	0.0

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

- 全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
- 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q6-2 受動喫煙の経験場所（屋内）

Q6で「経験した」と回答した方にお尋ねします。

Q6-2 どこで受動喫煙を経験しましたか。屋内※で受動喫煙を経験した場所であてはまるものをお選びください。

※「屋内」とは、屋根があり、かつ、側壁が概ね半分以上覆われているものの内部を指します。これに該当しない場所が「屋外」です。

【全体】

- 屋内における受動喫煙の経験場所としては「夜利用した飲食店（レストラン・喫茶店・居酒屋等）の屋内の場所」（33.7%）が最も高く、次いで「日中に利用した飲食店（レストラン・喫茶店・居酒屋等）の屋内の場所」（28.2%）となっている。
- これ以外の場所では「娯楽施設（パチンコ店・ゲームセンター等）の屋内の場所」（12.7%）「商業施設（百貨店・デパート・ショッピングモール・スーパー・小売店等）の屋内の場所」（11.7%）、「駅・空港等の屋内の場所」（11.1%）が高くなっている。
- 「屋内では経験なし」（28.9%）は約3割となっている。

【性別】

- 経験場所としては、男女ともに「夜利用した飲食店（レストラン・喫茶店・居酒屋等）の屋内の場所」（男性37.5%・女性29.5%）が最も高く、次いで「日中に利用した飲食店（レストラン・喫茶店・居酒屋等）の屋内の場所」（男性28.2%・女性28.1%）となっている。
- 女性では「屋内では経験なし」（33.9%）が最も高くなっている。

【男性年代別】

- 他の年代と比べて高くなっている項目は、20代で「娯楽施設（パチンコ店・ゲームセンター等）の屋内の場所」、30代・50代で「夜利用した飲食店（レストラン・喫茶店・居酒屋等）の屋内の場所」となっている。

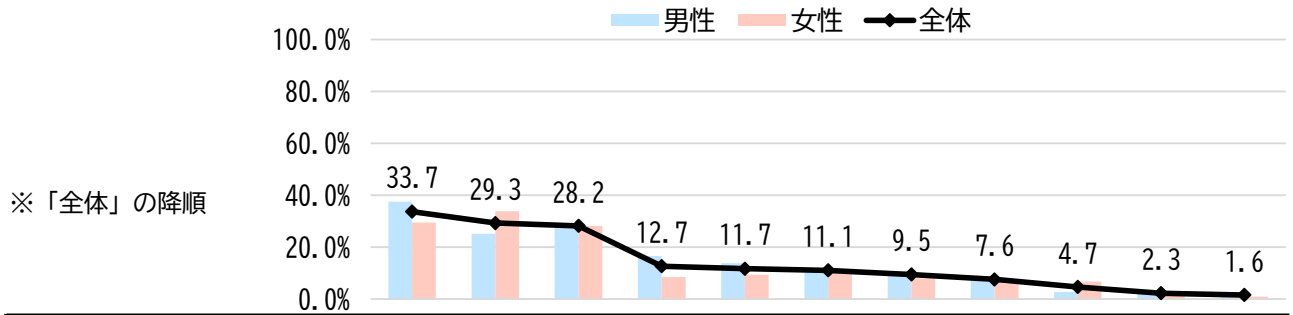
【女性年代別】

- 他の年代と比べて高くなっている項目は、30代で「日中に利用した飲食店（レストラン・喫茶店・居酒屋等）の屋内の場所」、50代で「屋内では経験なし」となっている。60代で「その他の屋内の場所」も高いが、その具体的な場所の半数以上が「自宅」となっている。

【喫煙者・非喫煙者の別】

- 非喫煙者では、「屋内では経験なし」（34.7%）が最も高く、次いで「夜利用した飲食店（レストラン・喫茶店・居酒屋等）の屋内の場所」（30.5%）、「日中に利用した飲食店（レストラン・喫茶店・居酒屋等）の屋内の場所」（25.0%）となっている。

Q6-2 受動喫煙の経験場所（屋内）のグラフと集計表



	調査数 (n)	夜利用した飲食店(レストラン・喫茶店・居酒屋等)の屋内の場所	屋内では経験なし	日中に利用した飲食店(レストラン・喫茶店・居酒屋等)の屋内の場所	娯楽施設(パチンコ店・ゲームセンター等)の屋内の場所	商業施設(百貨店・デパート・ショッピングモール・スーパー・小売店等)の屋内の場所	駅・空港等の屋内の場所	職場の屋内の場所	宿泊施設(ホテル・旅館等)の屋内の場所	その他の屋内の場所	官公庁・病院等の屋内の場所	保育所・幼稚園・学校等の屋内の場所
全体	1,211	33.7	29.3	28.2	12.7	11.7	11.1	9.5	7.6	4.7	2.3	1.6
男性	634	37.5	25.2	28.2	16.6	13.9	11.4	10.7	8.0	2.8	3.2	2.2
女性	576	29.5	33.9	28.1	8.5	9.4	10.8	8.0	7.1	6.8	1.4	0.9
回答なし	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性/20代	105	41.0	21.0	35.2	23.8	17.1	13.3	4.8	15.2	2.9	8.6	3.8
男性/30代	112	47.3	17.9	26.8	22.3	21.4	13.4	10.7	11.6	2.7	6.3	3.6
男性/40代	139	35.3	26.6	30.2	15.8	15.1	10.8	13.7	7.2	1.4	0.7	2.2
男性/50代	118	44.1	23.7	24.6	12.7	11.9	11.9	13.6	6.8	5.1	2.5	2.5
男性/60代	79	30.4	32.9	22.8	8.9	6.3	7.6	12.7	0.0	1.3	0.0	0.0
男性/70代	81	21.0	33.3	28.4	13.6	7.4	9.9	7.4	4.9	3.7	0.0	0.0
女性/20代	102	31.4	28.4	29.4	4.9	12.7	14.7	4.9	8.8	3.9	0.0	2.0
女性/30代	118	34.7	28.0	41.5	20.3	11.0	15.3	10.2	13.6	3.4	2.5	1.7
女性/40代	133	27.1	37.6	22.6	6.8	7.5	9.8	8.3	1.5	6.0	0.8	0.8
女性/50代	98	26.5	40.8	23.5	5.1	4.1	5.1	4.1	8.2	7.1	1.0	0.0
女性/60代	66	30.3	31.8	19.7	4.5	9.1	9.1	10.6	3.0	16.7	1.5	0.0
女性/70代	59	25.4	37.3	28.8	5.1	13.6	8.5	11.9	6.8	8.5	3.4	0.0
回答しない/全年代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
喫煙者	398	40.2	18.3	34.7	22.9	20.4	15.8	12.1	15.3	3.0	5.5	4.0
非喫煙者	813	30.5	34.7	25.0	7.7	7.5	8.7	8.2	3.8	5.5	0.7	0.4
喫煙者×受動喫煙あり	398	40.2	18.3	34.7	22.9	20.4	15.8	12.1	15.3	3.0	5.5	4.0
喫煙者×受動喫煙なし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非喫煙者×受動喫煙あり	813	30.5	34.7	25.0	7.7	7.5	8.7	8.2	3.8	5.5	0.7	0.4
非喫煙者×受動喫煙なし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【表の凡例】
 比較の対象となる項目：n=30以上
 全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q6-3 受動喫煙の経験場所（屋外）

Q6で「経験した」と回答した方にお尋ねします。

Q6-3 どこで受動喫煙を経験しましたか。屋外※で受動喫煙を経験した場所であ
てはまるものをお選びください。

※「屋内」とは、屋根があり、かつ、側壁が概ね半分以上覆われているものの内部を指します。
これに該当しない場所が「屋外」です。

【全体】

- 屋外における受動喫煙の経験場所としては1位「路上」が44.8%と4割以上となった。
- これ以外の場所では、「日中に利用した飲食店（レストラン・喫茶店・居酒屋等）の敷地内屋外」が21.6%、「夜利用した飲食店（レストラン・喫茶店・居酒屋等）の敷地内屋外」が21.1%と2割を超えている。
- 「屋外では経験なし」は11.6%となった。

【性別】

- 男女とも「路上」が最も高くなっているが、男性41.2%、女性49.0%と、女性がやや高くなっている。
- また、男女ともに「日中に利用した飲食店（レストラン・喫茶店・居酒屋等）の敷地内屋外」、「夜利用した飲食店（レストラン・喫茶店・居酒屋等）の敷地内屋外」が続いている。

【男性年代別】

- 他の年代と比べて高くなっている項目は、20代で「日中に利用した飲食店（レストラン・喫茶店・居酒屋等）の敷地内屋外」、「夜利用した飲食店（レストラン・喫茶店・居酒屋等）の敷地内屋外」、30代で「娯楽施設（パチンコ店・ゲームセンター等）の敷地内屋外」となっている。

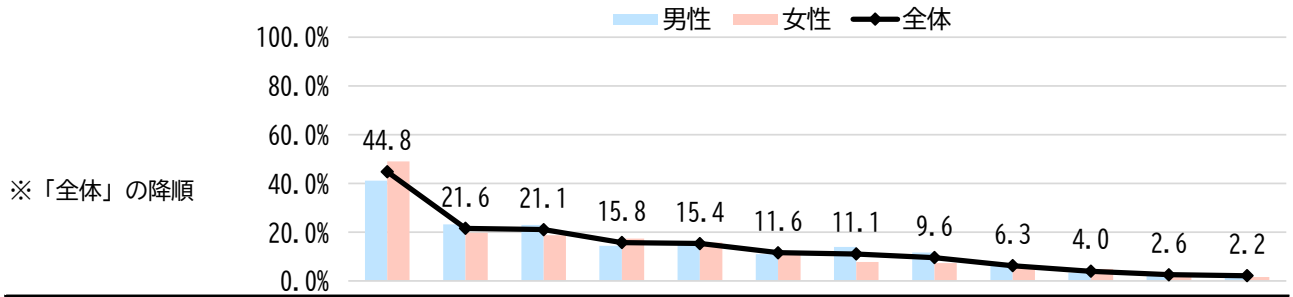
【女性年代別】

- 他の年代と比べて高くなっている項目は、40代・50代で「路上」となっている。また、60代では「屋外では経験なし」が他の年代と比べて高くなっている。

【喫煙者・非喫煙者の別】

- 非喫煙者では、「路上」（54.5%）が最も高く5割を超え、次いで「駅・空港等の敷地内屋外」（16.4%）、「日中に利用した飲食店（レストラン・喫茶店・居酒屋等）の敷地内屋外」（16.2%）、「夜利用した飲食店（レストラン・喫茶店・居酒屋等）の敷地内屋外」（16.1%）、となっている。
- 一方、喫煙者では、1位「夜利用した飲食店（レストラン・喫茶店・居酒屋等）の敷地内屋外」（32.4%）、2位「日中に利用した飲食店（レストラン・喫茶店・居酒屋等）の敷地内屋外」（31.2%）がそれぞれ3割を超え、次いで「路上」（25.1%）となっている。

Q6-3 受動喫煙の経験場所（屋外）のグラフと集計表



	調査数 (n)	路上	日中に利用した飲食店 (レストラン・喫茶店・居酒屋等) の敷地内屋外	夜間利用した飲食店 (レストラン・喫茶店・居酒屋等) の敷地内屋外	駅・空港等の敷地内	商業施設 (百貨店・デパート・ショッピングモール・スーパー・小売店等) の敷地内屋外	屋外では経験なし	娯楽施設 (パチンコ店・ゲームセンター等) の敷地内屋外	職場の敷地内	宿泊施設 (ホテル・旅館等) の敷地内屋外	その他の屋外	官公庁・病院等の敷地内	保育所・幼稚園・学校等の敷地内
全体	1,211	44.8	21.6	21.1	15.8	15.4	11.6	11.1	9.6	6.3	4.0	2.6	2.2
男性	634	41.2	23.2	23.0	14.4	15.1	11.0	14.0	11.7	7.1	3.3	2.7	2.8
女性	576	49.0	19.8	18.8	17.4	15.8	12.3	7.8	7.3	5.4	4.9	2.6	1.6
回答なし	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性/20代	105	38.1	33.3	31.4	17.1	20.0	4.8	17.1	6.7	8.6	1.0	2.9	4.8
男性/30代	112	37.5	25.0	25.9	21.4	19.6	9.8	25.9	13.4	11.6	1.8	3.6	6.3
男性/40代	139	41.7	23.0	25.9	12.2	14.4	10.1	10.8	15.1	7.9	2.9	2.2	2.2
男性/50代	118	41.5	20.3	26.3	10.2	14.4	11.9	13.6	11.9	6.8	6.8	2.5	1.7
男性/60代	79	46.8	17.7	12.7	11.4	8.9	19.0	7.6	13.9	2.5	2.5	1.3	0.0
男性/70代	81	43.2	17.3	8.6	13.6	11.1	13.6	6.2	7.4	2.5	4.9	3.7	1.2
女性/20代	102	42.2	27.5	24.5	20.6	16.7	7.8	9.8	5.9	5.9	2.0	1.0	4.9
女性/30代	118	42.4	27.1	27.1	17.8	22.0	12.7	16.1	8.5	11.0	2.5	4.2	1.7
女性/40代	133	60.2	15.8	15.8	18.8	13.5	6.8	4.5	8.3	2.3	3.8	2.3	0.8
女性/50代	98	58.2	17.3	14.3	13.3	13.3	12.2	3.1	6.1	3.1	7.1	2.0	0.0
女性/60代	66	40.9	9.1	10.6	16.7	15.2	24.2	4.5	6.1	4.5	9.1	4.5	1.5
女性/70代	59	42.4	16.9	15.3	15.3	11.9	18.6	6.8	8.5	5.1	8.5	1.7	0.0
回答しない/全年代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
喫煙者	398	25.1	32.4	31.2	14.6	23.4	8.5	19.3	11.3	12.1	3.8	3.8	4.8
非喫煙者	813	54.5	16.2	16.1	16.4	11.6	13.2	7.0	8.7	3.4	4.2	2.1	1.0
喫煙者×受動喫煙あり	398	25.1	32.4	31.2	14.6	23.4	8.5	19.3	11.3	12.1	3.8	3.8	4.8
喫煙者×受動喫煙なし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非喫煙者×受動喫煙あり	813	54.5	16.2	16.1	16.4	11.6	13.2	7.0	8.7	3.4	4.2	2.1	1.0
非喫煙者×受動喫煙なし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【表の凡例】
 比較の対象となる項目：n=30以上
 全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q6-4 受動喫煙の場面

Q6-2で飲食店(屋内)もしくは職場(屋内)を、またはQ6-3で路上を回答した方にお尋ねします。

Q6-4 飲食店の屋内、職場の屋内または路上で受動喫煙を経験されたとのことですが、その具体的な場面について教えてください。

【飲食店の屋内】

- 喫煙可能な飲食店での受動喫煙の言及については、喫煙可能と分かって入店した以外にも、気づかずに・偶然入店した、他の席の人の喫煙、分煙が不十分、喫煙席・喫煙所付近といった場面がみられた。
- 喫煙可能な飲食店の業態について明示されているものとして、居酒屋・飲み屋等が多くみられた。
- 喫煙者に関連する受動喫煙の言及については、同席者の喫煙、規則違反をする喫煙者、仕事関連の場での喫煙、禁止区画での喫煙といった場面がみられた。

【飲食店の屋内 自由記述分類集計】

(件)

喫煙可能と気づかずに入店	71	喫煙室・喫煙所付近	48
喫煙可能と気づかずに・偶然入店	71	分煙が不十分	30
喫煙可能と分かっていて入店	275	喫煙席・喫煙所付近	18
喫煙可能と分かっていて入店	181	その他	125
他の席の人の喫煙	61	その他	75
同席者の喫煙	29	路上喫煙	39
仕事関連での場	4	覚えていない・わからない	11
喫煙可能な店(分かって入店か不明)	18	特になし	65
喫煙可能な店(分かって入店か不明)	18	特になし	65
禁煙の店	11		
禁煙にもかかわらず喫煙している人がいた	11		

■意見・要望のコメント内容が多く挙げられていた例を以下に示す。

1. 喫煙可能な飲食店

- ・喫煙可能と知り入店して隣席で吸っていた
- ・喫煙できる店とは分かっていたが、他に適当な店もなかったので仕方なく入った
- ・喫煙可能かわからずに店に入った
- ・分煙化されてはいたが、区切りになるはずのドアがきちんと閉まらず、煙が流れてきた

2. 居酒屋・飲み屋等

- ・喫煙可の居酒屋でたくさんの喫煙者がいた
- ・居酒屋でしっかりと換気されていない店舗に入り隣の席に喫煙者がいた
- ・居酒屋、禁煙喫煙の区分が曖昧

3. 喫煙者

- ・居酒屋で同席者が喫煙した
- ・喫煙スペースからはみ出た人たちが喫煙スペースと禁煙スペースを隔てる廊下で吸っていた
- ・取引先の会社の社長が煙草を吸う人で、その人と会う時は煙草が吸える店を指定されるので

【職場の屋内】

- 喫煙所等での受動喫煙の言及については、喫煙所からの漏出、喫煙所内、喫煙所への付き添いといった場面がみられた。
- 喫煙所以外の場所での受動喫煙の言及については、休憩所・社員食堂等、業務関連の場所といった場面がみられた。
- このほかには、業務内での受動喫煙の言及では、喫煙者との打ち合わせ・用事といった場面、社内規則での受動喫煙の言及では、社内で分煙の規則がないといった場面、喫煙者での受動喫煙の言及では、喫煙者の規則違反といった場面がみられた。

【職場の屋内 自由記述分類集計】

(件)

喫煙所等		その他	
66		21	
喫煙所からの漏出	22	覚えていない・わからない	4
喫煙のために利用	18	喫煙者の匂い	4
喫煙可能な場所の利用	17	喫煙者自身	4
喫煙者との打ち合わせ・用事	4	社外	2
喫煙所内作業	4	その他	7
喫煙所への付き添い	1	特になし	10
喫煙所以外の場所			
14			
職場内禁煙だが規則違反	5	特になし	10
職場内喫煙可・分煙規則なし	4		
職場内喫煙可・分煙規則なし（過去）	4		
車中	1		

■意見・要望のコメント内容が多く挙げられていた例を以下に示す。

1. 喫煙所等

- ・喫煙所から漏れる煙とニオイに悩まされた
- ・同行者の付き添いで喫煙所まで行った

2. 喫煙所以外の場所

- ・社内食堂が喫煙可だった
- ・リフレッシュルームで喫煙する人と一緒になった

3. 業務内・社内規則の問題・喫煙者

- ・職場の喫煙所で上司に話しかけなくてはいけないことが起こった
- ・事務所の中は大勢の人が勤務していてタバコ吸いながら仕事している人が多い
- ・分煙で室内禁煙になっていたが、夜勤になると上司がいないからか、吸ってる先輩がいた

【路上】

○路上での受動喫煙の言及については、路上だけでなく、喫煙所等や公共施設・公園等、コンビニ・飲食店とその付近等の商業施設等、駐車場・駐輪場等といった場面がみられた。

○喫煙所等での受動喫煙の言及については、喫煙所等からの漏出や喫煙所等に入りきらず喫煙といった具体的な場面がみられた。

【路上 自由記述分類集計】

(件)

路上	407	商業施設等	15
路上喫煙	377	コンビニとその付近	5
禁止区域	13	商業施設とその付近	4
路地等	4	飲食店とその付近	3
建物からの漏出	4	遊戯施設とその付近	1
私有地と道路の境界付近	2	タバコ屋とその付近	1
住宅地	2	商店街	1
その他	1	駐車場・駐輪場等	4
喫煙所等	67	駐車場・駐輪場等	4
喫煙所等からの漏出	53	喫煙者	2
喫煙所等	8	規則違反（路上以外）	2
喫煙所等に入りきらず喫煙	6	その他	19
公共施設・公園等	22	近親者・友人・知人等	4
駅・バス停付近	12	その他	3
公園	10	どこでも	3
		過去	1
		覚えていない・わからない	8
		特になし	7
		特になし	7

■意見・要望のコメント内容が多く挙げられていた例を以下に示す。

1. 路上

- ・歩いていたらたばこを吸っている人とすれ違った
- ・歩道を歩いていたら前を歩いていた人がたばこを吸っていた
- ・道端でタバコを吸っていた
- ・自宅近くの路上（喫煙禁止の看板有り）で、堂々と吸っている人がいた

2. 喫煙所等

- ・喫煙所で囲われていないところで煙を浴びた
- ・歩道に面してオープンな喫煙スペースがあり、常時数人が煙草を吸っている
- ・喫煙所が一杯で、外にはみ出して吸っていた

3. 公共施設・公園等

- ・バス停の近くで、たばこを吸っている人がいた
- ・駅前ロータリー
- ・公園でベンチに喫煙者がいた為、近場のベンチに座っていたら風の流れて流れてきた
- ・コンビニ店の外

【参考3】 受動喫煙の経験場所（屋内・屋外）

【参考】 Q6-2・Q6-3での受動喫煙経験場所の「屋内」と「屋外」を分けず、ならして集計した。

【全体】

- 「屋内」「屋外」をならした受動喫煙の経験場所としては「路上」が44.8%で4割以上と最も高くなっている。（「路上」は屋外の受動喫煙の経験場所Q6-3でのみ設けた選択肢）
- これ以外の場所では、「夜利用した飲食店」39.4%、「日中に利用した飲食店」33.9%と飲食店が高く、次いで4位「商業施設」21.6%、「駅・空港等」20.8%の順となっている。

【性別】

- 男性では「夜利用した飲食店」43.5%が最も高く、女性では「路上」49.0%が最も高くなっている。
- 男性は次いで「路上」41.2%、日中に利用した飲食店」35.0%、「商業施設」22.1%の順となっている。
- 女性は次いで「夜利用した飲食店」34.7%、「日中に利用した飲食店」32.8%、「駅・空港等」22.4%、「商業施設」21.2%の順となっている。
- 「娯楽施設」は男性が22.2%に対して女性12.2%と10ポイントの差がみられた。

【男性年代別】

- 他の年代と比べて高くなっている項目は、20代・30代・50代で「夜利用した飲食店」5割前後、20代・30代で「娯楽施設」が3割台となっている。

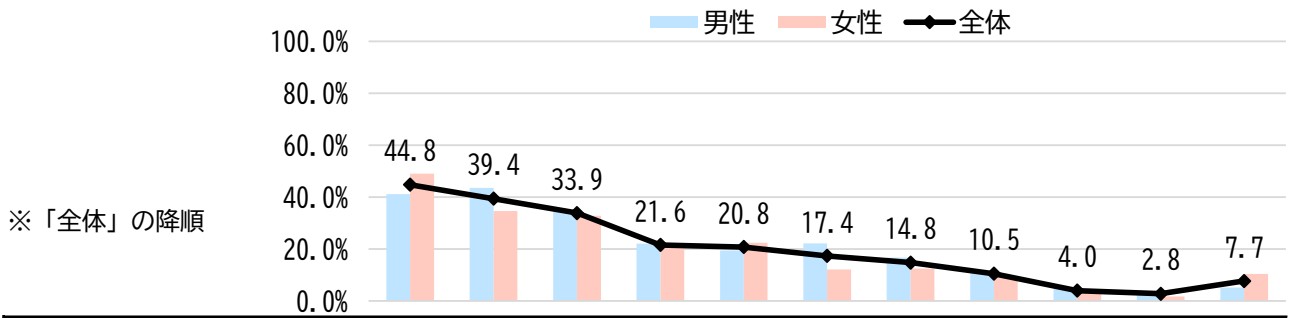
【女性年代別】

- 他の年代と比べて高くなっている項目は、女性40代・50代で「路上」、30代で「日中に利用した飲食店」となっている。

【喫煙者・非喫煙者別】

- 非喫煙者は、1位「路上」（54.5%）、2位「夜利用した飲食店」（35.3%）、3位「日中に利用した飲食店」（30.1%）であるのに対し、喫煙者では、1位「夜利用した飲食店」（47.7%）、2位「日中に利用した飲食店」（41.7%）、3位「路上」（25.1%）と、順位が異なる。「路上」については、非喫煙者が喫煙者よりも25ポイント高い一方で、飲食店については、非喫煙者が喫煙者よりも約10ポイント低くなっている。

【参考3】 受動喫煙の経験場所（屋内・屋外）のグラフと集計表



	調査数 (n)	路上	夜利用 した飲 食店	日中に 利用し た飲食 店	商業施 設	駅・空 港等	娯楽施 設	職場	宿泊施 設	官公 庁・病 院等	保育 所・幼 稚園・ 学校等	その他
全体	1,211	44.8	39.4	33.9	21.6	20.8	17.4	14.8	10.5	4.0	2.8	7.7
男性	634	41.2	43.5	35.0	22.1	19.4	22.2	16.7	11.5	4.7	3.8	5.2
女性	576	49.0	34.7	32.8	21.2	22.4	12.2	12.5	9.4	3.1	1.7	10.4
回答なし	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性/20代	105	38.1	49.5	43.8	26.7	22.9	30.5	9.5	18.1	9.5	6.7	3.8
男性/30代	112	37.5	52.7	33.0	31.3	26.8	35.7	18.8	17.0	8.0	8.0	4.5
男性/40代	139	41.7	42.4	38.1	20.9	18.0	19.4	22.3	11.5	2.9	2.9	3.6
男性/50代	118	41.5	50.8	29.7	21.2	14.4	17.8	17.8	9.3	2.5	2.5	9.3
男性/60代	79	46.8	32.9	29.1	13.9	15.2	11.4	17.7	2.5	1.3	0.0	2.5
男性/70代	81	43.2	24.7	34.6	14.8	18.5	14.8	11.1	7.4	3.7	1.2	7.4
女性/20代	102	42.2	41.2	38.2	22.5	27.5	10.8	10.8	10.8	1.0	4.9	4.9
女性/30代	118	42.4	39.8	44.1	28.0	23.7	23.7	13.6	16.9	5.1	1.7	5.1
女性/40代	133	60.2	32.3	29.3	18.0	24.1	8.3	13.5	3.8	2.3	1.5	9.0
女性/50代	98	58.2	27.6	26.5	16.3	17.3	8.2	9.2	9.2	3.1	0.0	12.2
女性/60代	66	40.9	33.3	21.2	19.7	21.2	9.1	13.6	6.1	4.5	1.5	22.7
女性/70代	59	42.4	32.2	32.2	22.0	16.9	10.2	15.3	8.5	3.4	0.0	16.9
回答しない/全年代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
喫煙者	398	25.1	47.7	41.7	34.4	23.1	30.7	17.6	20.1	7.3	6.3	6.0
非喫煙者	813	54.5	35.3	30.1	15.4	19.7	10.9	13.4	5.8	2.3	1.1	8.5
喫煙者×受動喫煙あり	398	25.1	47.7	41.7	34.4	23.1	30.7	17.6	20.1	7.3	6.3	6.0
喫煙者×受動喫煙なし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非喫煙者×受動喫煙あり	813	54.5	35.3	30.1	15.4	19.7	10.9	13.4	5.8	2.3	1.1	8.5
非喫煙者×受動喫煙なし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■

全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q7 他人のたばこの煙の感じ方

Q7 あなたは他人のたばこの煙をどう感じますか。

【全体】

- 他人のたばこの煙をどう感じるかについては、『不快感を覚える』が57.6%（「不快感を覚える」22.9%、「強い不快感を覚える」25.9%、「体調不良を生じるほど不快感を覚える」8.9%の合計。以下、同じ。）で5割以上を占めている。
- これ以外では、「できれば受けたくない」が27.3%、「特に何とも思わない」が15.0%となっている。

【性別】

- 『不快感を覚える』は、男性50.9%に対して女性64.3%と女性が10ポイント以上高く、内訳をみると、「強い不快感を覚える」で男性19.9%に対して女性31.7%と差がみられた。

【男性年代別】

- 年代で大きな差はみられなかった。

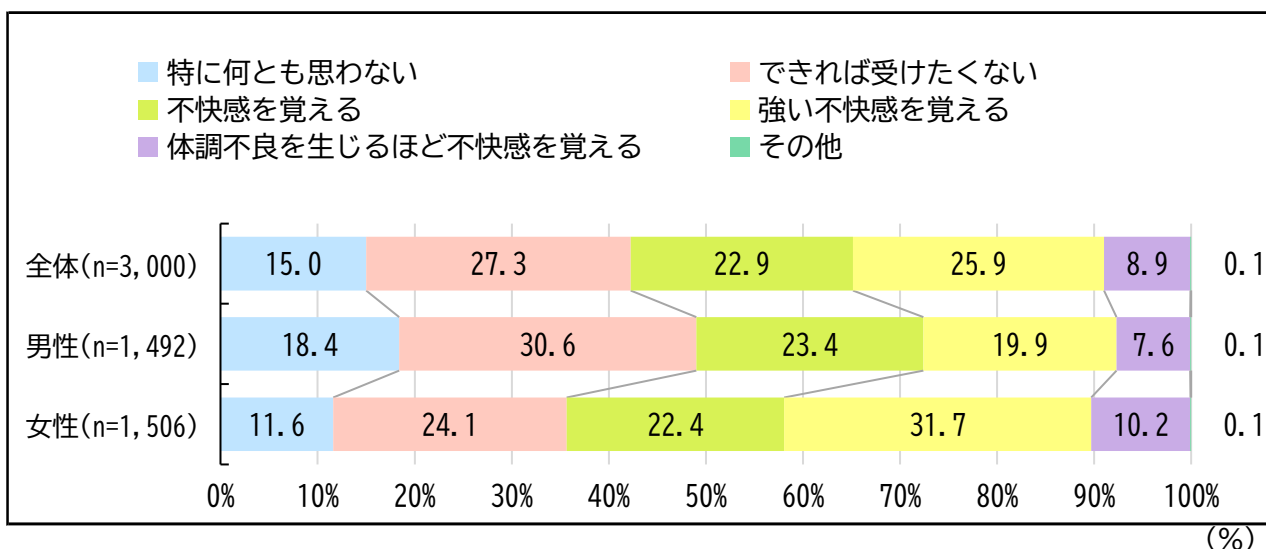
【女性年代別】

- 年代で大きな差はみられなかった。

【喫煙者・非喫煙者別】

- 『不快感を覚える』は、喫煙者では29.2%だが、非喫煙者では65.4%と35ポイント以上の差がみられた。「強い不快感を覚える」は喫煙者では6.4%だが、非喫煙者では31.2%と20ポイント以上の差がみられた。

Q7 他人のたばこの煙の感じ方のグラフと集計表



	調査数 (n)	特に何とも思わない	できれば受けたくない	不快感を覚える	強い不快感を覚える	体調不良を生じるほど不快感を覚える	その他
全体	3,000	15.0	27.3	22.9	25.9	8.9	0.1
男性	1,492	18.4	30.6	23.4	19.9	7.6	0.1
女性	1,506	11.6	24.1	22.4	31.7	10.2	0.1
回答なし	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
男性/20代	243	19.8	27.6	23.9	17.7	11.1	0.0
男性/30代	272	22.4	28.7	21.0	19.1	8.8	0.0
男性/40代	318	16.7	28.9	25.8	19.5	8.8	0.3
男性/50代	278	20.1	34.2	15.5	21.6	8.6	0.0
男性/60代	195	17.4	29.7	27.7	20.0	4.6	0.5
男性/70代	186	12.4	35.5	29.6	22.0	0.5	0.0
女性/20代	246	17.1	21.1	20.3	28.5	13.0	0.0
女性/30代	267	10.1	28.1	19.5	32.6	9.7	0.0
女性/40代	309	12.6	24.3	19.1	33.3	10.7	0.0
女性/50代	267	12.0	23.6	21.0	32.2	11.2	0.0
女性/60代	195	11.3	23.1	26.2	28.7	10.8	0.0
女性/70代	222	5.4	23.9	31.1	34.2	5.0	0.5
回答しない/全年代	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
喫煙者	644	32.8	37.7	19.4	6.4	3.4	0.3
非喫煙者	2,356	10.1	24.4	23.9	31.2	10.4	0.0
喫煙者×受動喫煙あり	398	25.1	41.7	23.6	5.8	3.3	0.5
喫煙者×受動喫煙なし	246	45.1	31.3	12.6	7.3	3.7	0.0
非喫煙者×受動喫煙あり	813	5.5	22.9	22.3	40.1	9.1	0.1
非喫煙者×受動喫煙なし	1,543	12.5	25.3	24.7	26.5	11.0	0.0

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q8 加熱式たばこの受動喫煙リスク

Q8 あなたは、「加熱式たばこ※」の受動喫煙による健康影響のリスクはどの程度あると思いますか。お気持ちに近いものを1つお選びください。

※「加熱式たばこ」とは、たばこ葉やたばこ葉を用いた加工品を燃焼させず、専用機器を用いて電気で加熱することで蒸気を発生させるもの。加熱の方法や温度などは製品ごとに異なります。例：アイコス、グロー、プルーム等（電子タバコは含みません）

【全体】

- 加熱式たばこの受動喫煙リスクについては、『紙巻きたばこと比べて小さい』が44.9%（「紙巻きたばこよりリスクが小さい」30.6%、「紙巻きたばこと比べて、かなり小さい」14.3%の合計。以下、同じ）で約4割となっている。
- 「紙巻きたばこと同レベル」が40.1%、「リスクがほぼ無い」が14.9%となっている。

【性別】

- 『紙巻きたばこと比べて小さい』は男性が44.1%、女性が45.8%で性別による大きな差はみられなかった。

【男性年代別】

- 『紙巻きたばこと比べて小さい』は年代が上がるにつれ上昇傾向にあり20代の37.9%から70代で52.1%まで高くなっている。
- 一方、「リスクがほぼ無い」は、20代～40代は2割台となっている。

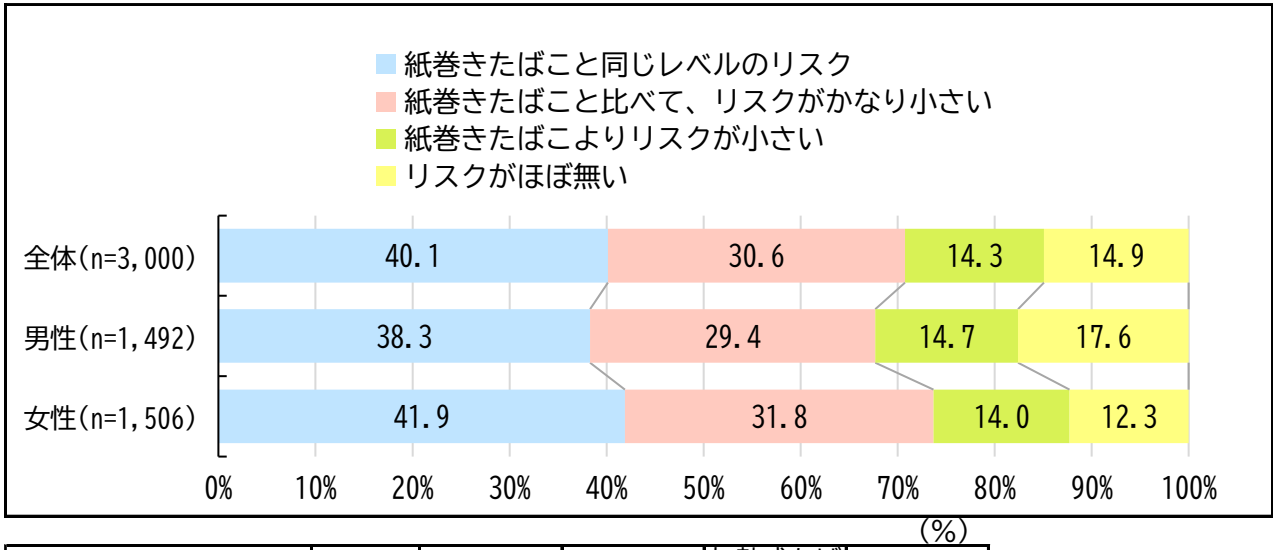
【女性年代別】

- 『紙巻きたばこと比べて小さい』は年代が上がるにつれ上昇傾向にあり、70代は57.2%となっている。
- 一方、他の年代と比べて、「リスクがほぼ無い」は、20代で25.6%と他の年代と比べて10ポイント以上、高くなっている。

【喫煙者・非喫煙者別】

- 喫煙者・非喫煙者における『紙巻きたばこと比べて小さい』は「喫煙者」が56.2%、「非喫煙者」が41.8%とおおよそ15ポイントの差がみられた。
- 一方、「紙巻きたばこと同レベル」は、「非喫煙者」が42.4%、「喫煙者」が32.0%と10ポイント以上の差がみられた。

Q8 加熱式たばこの受動喫煙リスクのグラフと集計表



	調査数 (n)	加熱式たばこは、紙巻きたばこと同レベルで周囲の人に受動喫煙による健康影響のリスクを与える (%)	加熱式たばこは、紙巻きたばこと比べて、周囲の人への受動喫煙による健康影響のリスクが小さい (%)	加熱式たばこは、紙巻きたばこと比べて、周囲の人への受動喫煙による健康影響のリスクがかなり小さい (%)	加熱式たばこは、周囲の人への受動喫煙による健康影響のリスクがほぼ無い (%)
全体	3,000	40.1	30.6	14.3	14.9
男性	1,492	38.3	29.4	14.7	17.6
女性	1,506	41.9	31.8	14.0	12.3
回答なし	2	50.0	50.0	0.0	0.0
男性/20代	243	37.0	27.2	10.7	25.1
男性/30代	272	39.0	29.8	10.7	20.6
男性/40代	318	35.8	30.8	12.9	20.4
男性/50代	278	39.2	29.5	15.1	16.2
男性/60代	195	41.0	30.8	17.9	10.3
男性/70代	186	39.2	27.4	24.7	8.6
女性/20代	246	37.4	28.5	8.5	25.6
女性/30代	267	46.4	32.6	11.6	9.4
女性/40代	309	43.0	29.8	14.2	12.9
女性/50代	267	43.4	34.8	11.6	10.1
女性/60代	195	45.6	28.2	20.0	6.2
女性/70代	222	34.7	36.9	20.3	8.1
回答しない/全年代	2	50.0	50.0	0.0	0.0
喫煙者	644	32.0	38.5	17.7	11.8
非喫煙者	2,356	42.4	28.4	13.4	15.8
喫煙者×受動喫煙あり	398	33.4	42.2	16.6	7.8
喫煙者×受動喫煙なし	246	29.7	32.5	19.5	18.3
非喫煙者×受動喫煙あり	813	49.7	34.2	12.1	4.1
非喫煙者×受動喫煙なし	1,543	38.5	25.4	14.1	22.0

【表の凡例】 比較の対象となる項目：n=30以上
 全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■ 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q9 第一種施設屋内禁煙の認知度

Q9 行政機関や病院などでは、屋内禁煙（喫煙室もない）となっていることを知っていますか。

【全体】

○行政機関や病院などでは屋内禁煙となったことを「知っている」が68.1%と6割以上を占めた。

【性別】

○「知っている」は、男性が67.4%、女性が68.7%で性別による大きな差はみられなかった。

【男性年代別】

○「知っている」は、70代で82.8%と最も高く、次いで、60代で79.5%、50代は69.8%、40代は61.9%、30代は61.8%、20代は56.8%と最も低くなっている。

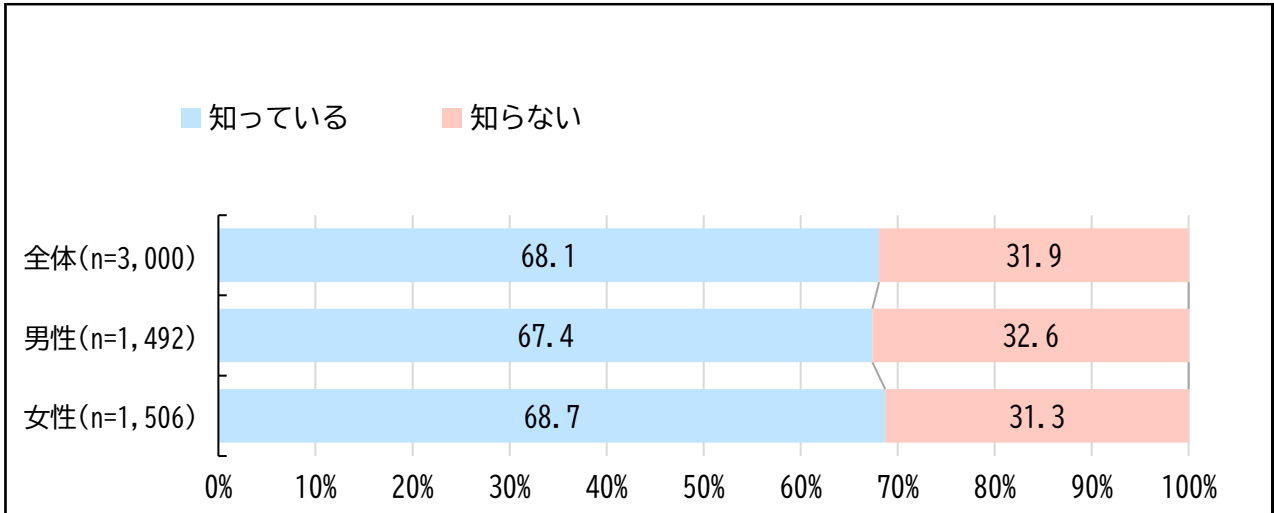
【女性年代別】

○「知っている」は、70代で89.6%と最も高く、次いで、60代で77.4%、50代は70.8%、30代は65.9%、40代は63.4%、20代は50.4%と最も低くなっている。

【喫煙者と非喫煙者別】

○「知っている」は、喫煙者で80.3%と、非喫煙者の64.7%と比べて約15ポイント高くなっている。

Q9 第一種施設屋内禁煙の認知度のグラフと集計表



	調査数 (n)	知っている (%)	
		知っている	知らない
全体	3,000	68.1	31.9
男性	1,492	67.4	32.6
女性	1,506	68.7	31.3
回答なし	2	50.0	50.0
男性/20代	243	56.8	43.2
男性/30代	272	61.8	38.2
男性/40代	318	61.9	38.1
男性/50代	278	69.8	30.2
男性/60代	195	79.5	20.5
男性/70代	186	82.8	17.2
女性/20代	246	50.4	49.6
女性/30代	267	65.9	34.1
女性/40代	309	63.4	36.6
女性/50代	267	70.8	29.2
女性/60代	195	77.4	22.6
女性/70代	222	89.6	10.4
回答しない/全年代	2	50.0	50.0
喫煙者	644	80.3	19.7
非喫煙者	2,356	64.7	35.3
喫煙者×受動喫煙あり	398	90.7	9.3
喫煙者×受動喫煙なし	246	63.4	36.6
非喫煙者×受動喫煙あり	813	80.2	19.8
非喫煙者×受動喫煙なし	1,543	56.6	43.4

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q10 学校等敷地内禁煙の認知度

Q10 保育所・幼稚園・学校などは、敷地内禁煙（屋内に加え、東京都受動喫煙防止条例で、敷地内の屋外も喫煙不可（努力義務））となっていることを知っていますか。

【全体】

○保育所・幼稚園・学校などは敷地内禁煙（敷地内の屋外も喫煙不可（努力義務））となっていることを「知っている」が61.1%となっている。

【性別】

○「知っている」は、男性が61.1%、女性が61.2%で性別による大きな差はみられなかった。

【男性年代別】

○「知っている」は、70代が79.0%と最も高く、40代が52.8%と最も低くなっている。

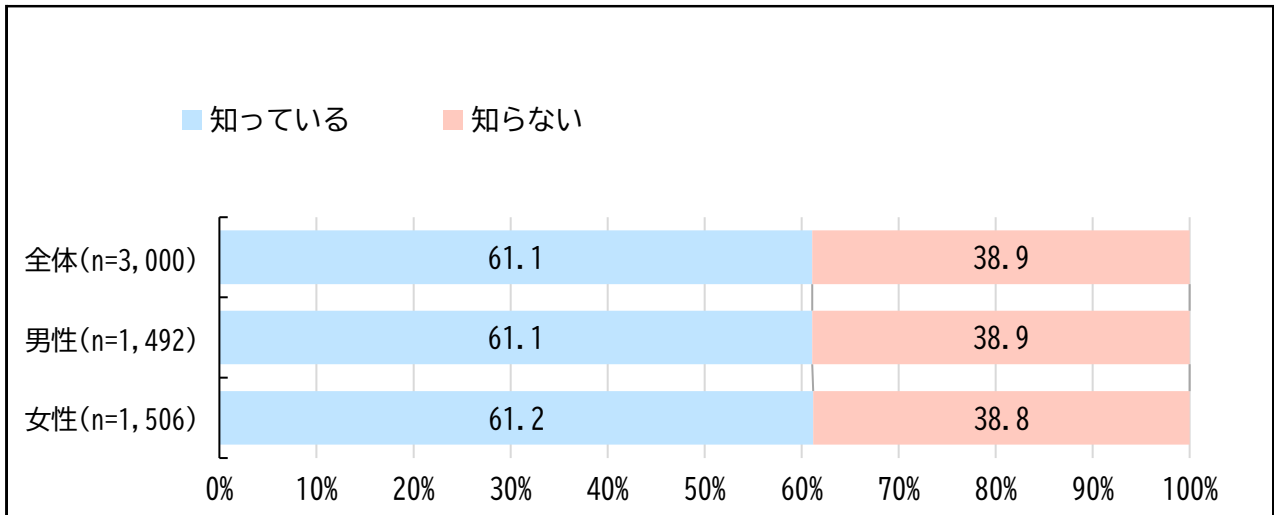
【女性年代別】

○「知っている」は、70代が79.7%と最も高く、20代が51.2%と最も低くなっている。

【喫煙者と非喫煙者別】

○「知っている」は、喫煙者で75.0%と、非喫煙者の57.3%と比べて10ポイント以上高くなっている。

Q10 学校等敷地内禁煙の認知度のグラフと集計表



	調査数 (n)	知っている (%)	知らない (%)
全体	3,000	61.1	38.9
男性	1,492	61.1	38.9
女性	1,506	61.2	38.8
回答なし	2	50.0	50.0
男性/20代	243	55.1	44.9
男性/30代	272	53.7	46.3
男性/40代	318	52.8	47.2
男性/50代	278	63.3	36.7
男性/60代	195	71.8	28.2
男性/70代	186	79.0	21.0
女性/20代	246	51.2	48.8
女性/30代	267	57.7	42.3
女性/40代	309	56.0	44.0
女性/50代	267	59.6	40.4
女性/60代	195	68.2	31.8
女性/70代	222	79.7	20.3
回答しない/全年代	2	50.0	50.0
喫煙者	644	75.0	25.0
非喫煙者	2,356	57.3	42.7
喫煙者×受動喫煙あり	398	85.9	14.1
喫煙者×受動喫煙なし	246	57.3	42.7
非喫煙者×受動喫煙あり	813	72.4	27.6
非喫煙者×受動喫煙なし	1,543	49.4	50.6

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q11 飲食店における原則屋内禁煙の認知度

Q11 飲食店は、原則屋内禁煙（基準を満たした喫煙室※でのみ喫煙可）となっていることを知っていますか。

※ここでいう喫煙室とは、喫煙専用室、指定たばこ専用喫煙室、喫煙可能室（2020年4月1日時点で既に営業している、施設内の客席部分の床面積が100㎡以下、中小企業又は個人経営、従業員がいない、の4つの要件を全て満たした飲食店のみ設置可能）、喫煙目的室（喫煙場所を提供することを主目的とする等の要件を満たした施設のみ設置可能）のことを指します。

【全体】

○飲食店は原則屋内禁煙（基準を満たした喫煙室でのみ喫煙可）となっていることを「知っている」が59.0%となっている。

【性別】

○「知っている」は、男性が59.7%、女性が58.4%で性別による大きな差はみられなかった。

【男性年代別】

○「知っている」は、70代が72.6%と最も高く、20代が52.3%と最も低くなっている。

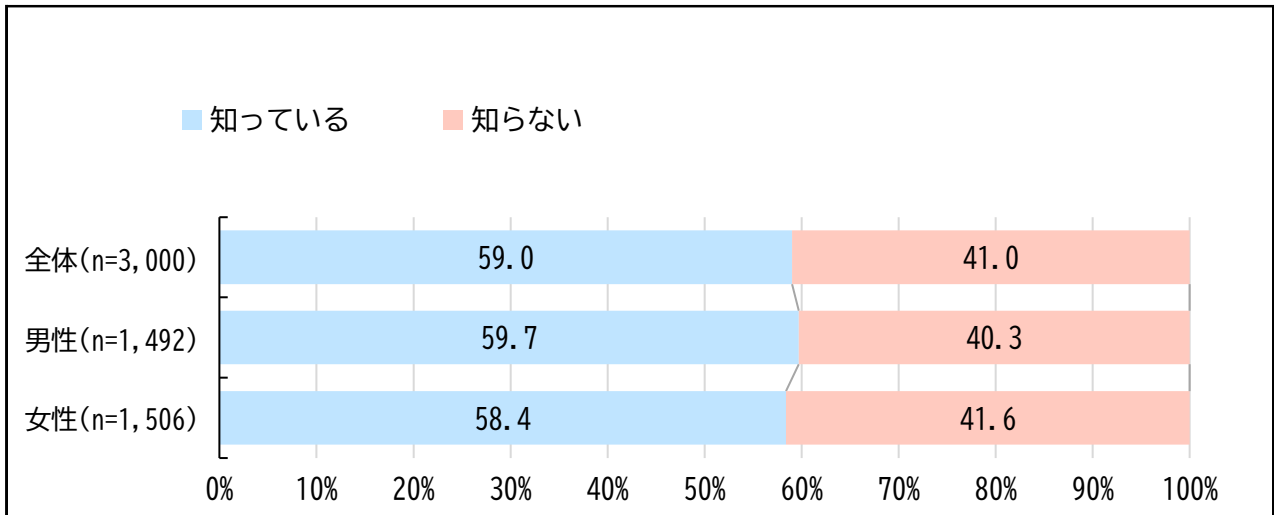
【女性年代別】

○「知っている」は、70代が77.0%と最も高く、20代が48.8%と最も低くなっている。

【喫煙者と非喫煙者別】

○「知っている」は、喫煙者で77.3%と、非喫煙者の54.0%と比べて20ポイント以上高くなっている。

Q11 飲食店における原則屋内禁煙の認知度のグラフと集計表



	調査数 (n)	知っている (%)	知らない (%)
全体	3,000	59.0	41.0
男性	1,492	59.7	40.3
女性	1,506	58.4	41.6
回答なし	2	50.0	50.0
男性/20代	243	52.3	47.7
男性/30代	272	53.7	46.3
男性/40代	318	58.2	41.8
男性/50代	278	61.5	38.5
男性/60代	195	64.6	35.4
男性/70代	186	72.6	27.4
女性/20代	246	48.8	51.2
女性/30代	267	50.2	49.8
女性/40代	309	59.2	40.8
女性/50代	267	55.4	44.6
女性/60代	195	63.1	36.9
女性/70代	222	77.0	23.0
回答しない/全年代	2	50.0	50.0
喫煙者	644	77.3	22.7
非喫煙者	2,356	54.0	46.0
喫煙者×受動喫煙あり	398	86.2	13.8
喫煙者×受動喫煙なし	246	63.0	37.0
非喫煙者×受動喫煙あり	813	65.9	34.1
非喫煙者×受動喫煙なし	1,543	47.7	52.3

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q12 2人以上利用施設における原則屋内禁煙の認知度

Q12 多数の人（2人以上）が利用する施設（事務所、ビル、ホテル、娯楽施設等）は、原則屋内禁煙（基準を満たした喫煙室※でのみ喫煙可）となっていることを知っていますか。

※ここでいう喫煙室とは、喫煙専用室、指定たばこ専用喫煙室を指します。

【全体】

○多数の人（2人以上）が利用する施設（事務所、ビル、ホテル、娯楽施設等）は原則屋内禁煙（基準を満たした喫煙室でのみ喫煙可）となっていることを「知っている」は47.2%と4割台半ばを超えた。

【性別】

○「知っている」は、男性が48.5%で、女性の45.9%で性別による大きな差はみられなかった。

【男性年代別】

○「知っている」は、70代で66.1%と最も高く、次いで、60代で53.8%、50代は51.1%、20代は42.8%、30代は42.6%、40代は42.1%と最も低くなっている。

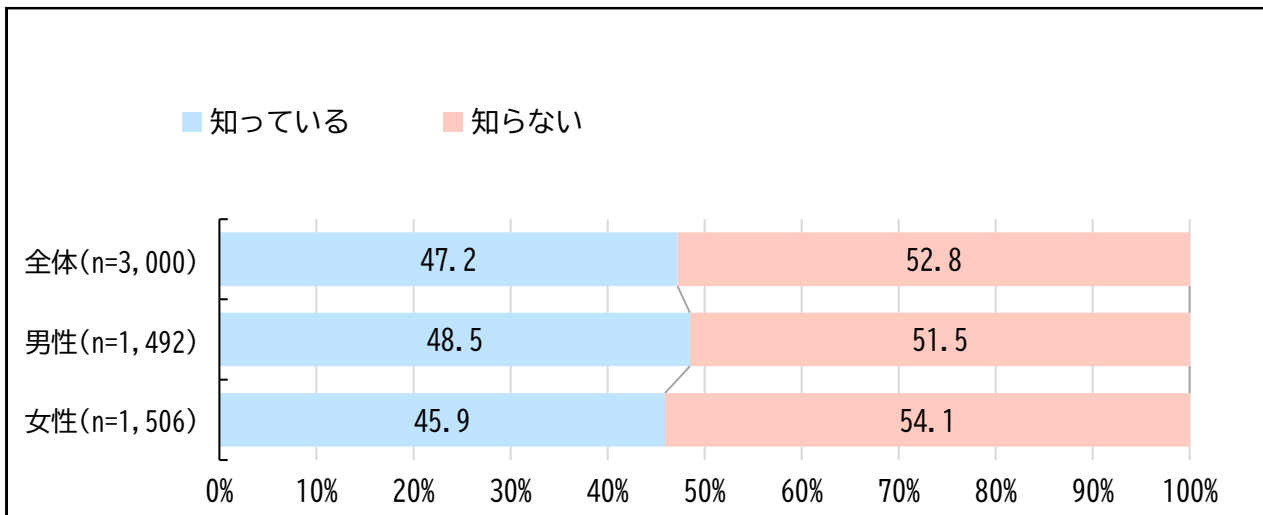
【女性年代別】

○「知っている」は、70代で66.7%と最も高く、次いで、60代で53.8%、50代は46.1%、40代は43.0%、30代は36.7%、20代は34.6%と最も低くなっている。

【喫煙者と非喫煙者別】

○「知っている」は、喫煙者で66.5%と、非喫煙者の41.9%と比べて約25ポイント高くなっている。

Q12 2人以上利用施設における原則屋内禁煙の認知度のグラフと集計表



	調査数 (n)	知っている (%)	知らない (%)
全体	3,000	47.2	52.8
男性	1,492	48.5	51.5
女性	1,506	45.9	54.1
回答なし	2	0.0	100.0
男性/20代	243	42.8	57.2
男性/30代	272	42.6	57.4
男性/40代	318	42.1	57.9
男性/50代	278	51.1	48.9
男性/60代	195	53.8	46.2
男性/70代	186	66.1	33.9
女性/20代	246	34.6	65.4
女性/30代	267	36.7	63.3
女性/40代	309	43.0	57.0
女性/50代	267	46.1	53.9
女性/60代	195	53.8	46.2
女性/70代	222	66.7	33.3
回答しない/全年代	2	0.0	100.0
喫煙者	644	66.5	33.5
非喫煙者	2,356	41.9	58.1
喫煙者×受動喫煙あり	398	75.9	24.1
喫煙者×受動喫煙なし	246	51.2	48.8
非喫煙者×受動喫煙あり	813	53.5	46.5
非喫煙者×受動喫煙なし	1,543	35.8	64.2

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q12-2 屋外等における受動喫煙の配慮義務の認知度

Q12-2 飲食店の屋外等、喫煙を禁止されていない場所において喫煙をする場合でも、受動喫煙を生じさせることがないよう周囲の状況に配慮しなければならないことを知っていますか。

【全体】

○屋外等（喫煙を禁止されていない場所）での喫煙時も、受動喫煙をさせないよう周囲に配慮する必要のあることを「知っている」は49.5%とおよそ5割となっている。

【性別】

○「知っている」は、男性が48.4%、女性の50.5%で性別による大きな差はみられなかった。

【男性年代別】

○「知っている」は、70代が62.4%と最も高く、30代が42.3%と最も低くなっている。

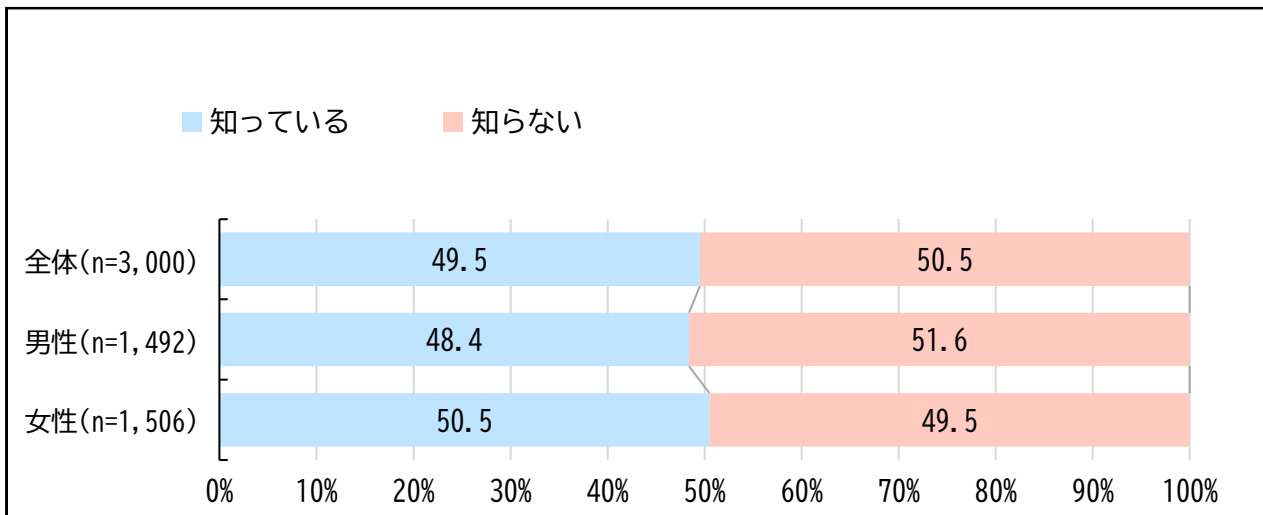
【女性年代別】

○「知っている」は、70代が66.7%と最も高く、20代が40.7%と最も低くなっている。

【喫煙者と非喫煙者別】

○「知っている」は、喫煙者で68.0%で、非喫煙者の44.4%と比べて20ポイント以上高くなっている。

Q12-2 屋外等における受動喫煙の配慮義務の認知度のグラフと集計表



	調査数 (n)	知っている (%)	知らない (%)
全体	3,000	49.5	50.5
男性	1,492	48.4	51.6
女性	1,506	50.5	49.5
回答なし	2	50.0	50.0
男性/20代	243	44.4	55.6
男性/30代	272	42.3	57.7
男性/40代	318	45.3	54.7
男性/50代	278	48.9	51.1
男性/60代	195	52.8	47.2
男性/70代	186	62.4	37.6
女性/20代	246	40.7	59.3
女性/30代	267	47.2	52.8
女性/40代	309	48.9	51.1
女性/50代	267	47.9	52.1
女性/60代	195	55.4	44.6
女性/70代	222	66.7	33.3
回答しない/全年代	2	50.0	50.0
喫煙者	644	68.0	32.0
非喫煙者	2,356	44.4	55.6
喫煙者×受動喫煙あり	398	78.9	21.1
喫煙者×受動喫煙なし	246	50.4	49.6
非喫煙者×受動喫煙あり	813	53.6	46.4
非喫煙者×受動喫煙なし	1,543	39.5	60.5

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q12-3 加熱式たばこの喫煙禁止の認知度

Q12-3 喫煙が禁止されている場所では、紙巻きたばこだけでなく加熱式たばこ※も喫煙できないことを知っていますか。

【全体】

○喫煙禁止場所では加熱式たばこも喫煙できないことについて「知っている」は53.2%と5割を超えている。

【性別】

○「知っている」は、男性が56.4%で、女性の50.1%と比べて5ポイント以上高くなっている。

【男性年代別】

○「知っている」は、70代で62.9%と最も高く、次いで、60代で60.0%、40代は57.9%、50代は57.6%、30代は51.5%、20代は50.6%と最も低くなっている。

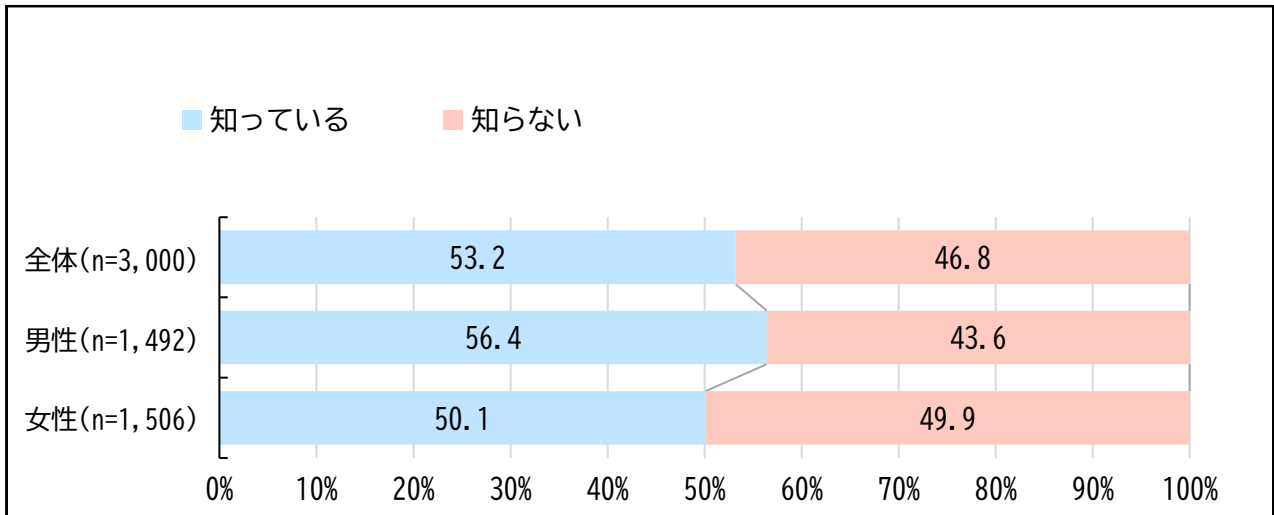
【女性年代別】

○「知っている」は、60代で58.5%と最も高く、次いで、30代で53.9%、70代は50.5%、40代は46.9%、50代は46.8%、20代は46.7%と最も低くなっている。

【喫煙者と非喫煙者別】

○「知っている」は、喫煙者で76.1%と7割を超え、非喫煙者の46.9%と比べて約30ポイント高くなっている。

Q12-3 加熱式たばこの喫煙禁止の認知度のグラフと集計表



	調査数 (n)	知っている (%)	知らない (%)
全体	3,000	53.2	46.8
男性	1,492	56.4	43.6
女性	1,506	50.1	49.9
回答なし	2	0.0	100.0
男性/20代	243	50.6	49.4
男性/30代	272	51.5	48.5
男性/40代	318	57.9	42.1
男性/50代	278	57.6	42.4
男性/60代	195	60.0	40.0
男性/70代	186	62.9	37.1
女性/20代	246	46.7	53.3
女性/30代	267	53.9	46.1
女性/40代	309	46.9	53.1
女性/50代	267	46.8	53.2
女性/60代	195	58.5	41.5
女性/70代	222	50.5	49.5
回答しない/全年代	2	0.0	100.0
喫煙者	644	76.1	23.9
非喫煙者	2,356	46.9	53.1
喫煙者×受動喫煙あり	398	85.2	14.8
喫煙者×受動喫煙なし	246	61.4	38.6
非喫煙者×受動喫煙あり	813	64.6	35.4
非喫煙者×受動喫煙なし	1,543	37.7	62.3

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q13 飲食店を含む2人以上利用施設における喫煙室・禁煙標識表示義務 化の認知度

Q13 飲食店を含む多数の人（2人以上）が利用する施設（事務所、ビル、ホテル、
娯楽施設等）で、喫煙室※を設けた場合、標識の掲示が義務化されていること
を知っていますか。

※ここでいう喫煙室とは、喫煙専用室、指定たばこ専用喫煙室、喫煙可能室（2020年4月1日
時点で既に営業している、施設内の客席部分の床面積が100㎡以下、中小企業又は個人経営、
従業員がいない、の4つの要件を全て満たした飲食店のみ設置可能）、喫煙目的室（喫煙場
所を提供することを主目的とする等の要件を満たした施設のみ設置可能）のことを指しま
す。

【全体】

○飲食店を含む多数の人（2人以上）が利用する施設（事務所、ビル、ホテル、娯楽施設等）
で喫煙室を設けた場合、標識の表示が義務化されていることを「知っている」は37.0%と4
割を下回った。

【性別】

○「知っている」は男性が38.7%で、女性の35.4%で性別による大きな差はみられなかった。

【男性年代別】

○「知っている」は70代が45.7%と最も高く、60代が35.9%と最も低くなっている。

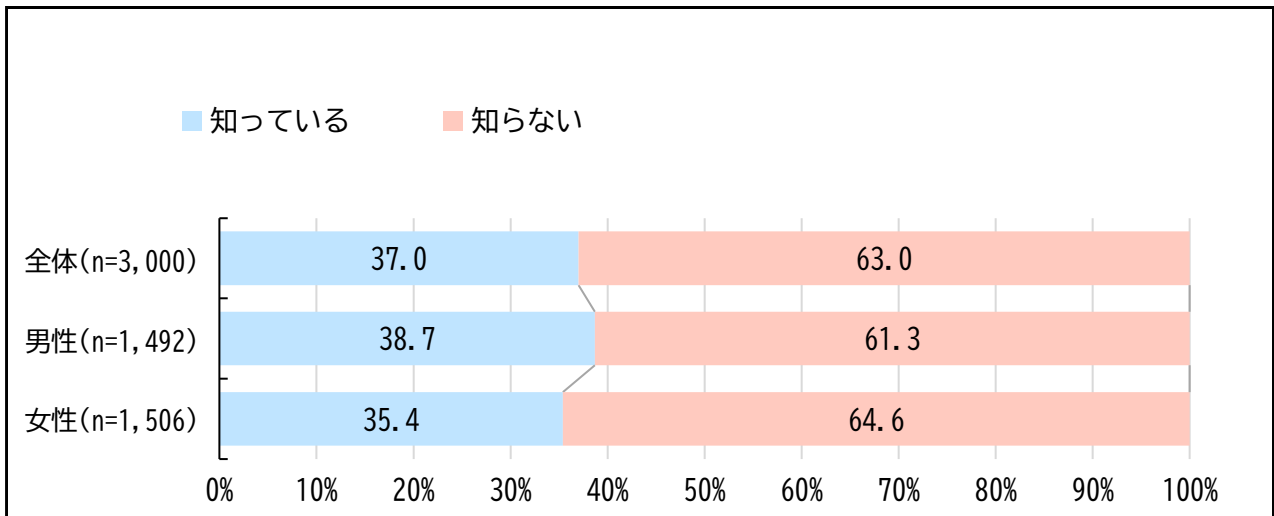
【女性年代別】

○「知っている」は70代が46.4%と最も高く、20代が30.1%と最も低くなっている。

【喫煙者と非喫煙者別】

○「知っている」は、非喫煙者で31.2%と約3割で、喫煙者の58.5%と比べて20ポイント以上
低くなっている。

Q13 飲食店を含む2人以上利用施設における喫煙室・禁煙標識表示義務化の認知度のグラフと集計表



(%)

	調査数 (n)	知っている	知らない
全体	3,000	37.0	63.0
男性	1,492	38.7	61.3
女性	1,506	35.4	64.6
回答なし	2	0.0	100.0
男性/20代	243	39.9	60.1
男性/30代	272	36.0	64.0
男性/40代	318	37.4	62.6
男性/50代	278	39.2	60.8
男性/60代	195	35.9	64.1
男性/70代	186	45.7	54.3
女性/20代	246	30.1	69.9
女性/30代	267	36.0	64.0
女性/40代	309	31.7	68.3
女性/50代	267	33.0	67.0
女性/60代	195	37.9	62.1
女性/70代	222	46.4	53.6
回答しない/全年代	2	0.0	100.0
喫煙者	644	58.5	41.5
非喫煙者	2,356	31.2	68.8
喫煙者×受動喫煙あり	398	67.1	32.9
喫煙者×受動喫煙なし	246	44.7	55.3
非喫煙者×受動喫煙あり	813	39.6	60.4
非喫煙者×受動喫煙なし	1,543	26.7	73.3

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q13-2 屋内全面禁煙の飲食店における禁煙標識掲示義務の認知度

Q13-2 飲食店では、東京都受動喫煙防止条例により、屋内全面禁煙の場合でも、禁煙標識の掲示義務があることを知っていますか。

【全体】

○条例により、屋内全面禁煙の飲食店でも禁煙標識の掲示義務があることを「知っている」は33.3%と4割を下回った。

【性別】

○「知っている」は、男性が35.3%で、女性の31.3%と比べて4ポイント高くなっている。

【男性年代別】

○「知っている」は、70代で37.6%と最も高く、次いで、20代で36.6%、50代は36.3%、40代は35.2%、60代は33.8%、30代は32.7%と最も低くなっている。

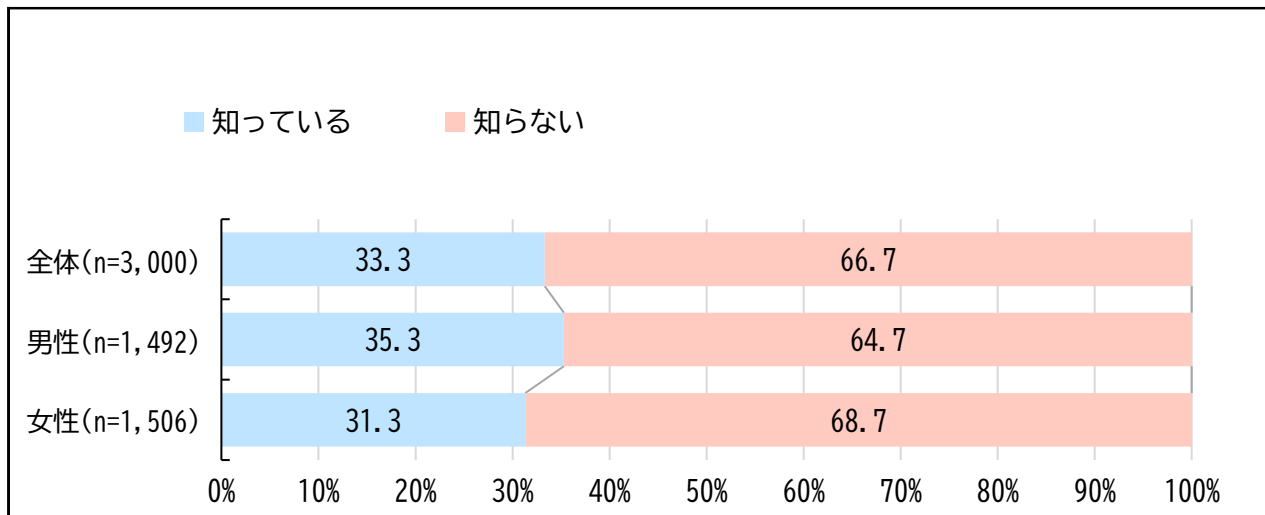
【女性年代別】

○「知っている」は、70代で35.6%と最も高く、次いで、30代で33.3%、40代は31.4%、60代は30.3%、20代は29.7%、50代は28.1%と最も低くなっている。

【喫煙者と非喫煙者別】

○「知っている」は、非喫煙者で27.8%と3割を切り、喫煙者の53.6%と比べて20ポイント以上低くなっている。

Q13-2 屋内全面禁煙の飲食店における禁煙標識掲示義務の認知度のグラフと集計表



	調査数 (n)	知っている (%)	知らない (%)
全体	3,000	33.3	66.7
男性	1,492	35.3	64.7
女性	1,506	31.3	68.7
回答なし	2	50.0	50.0
男性/20代	243	36.6	63.4
男性/30代	272	32.7	67.3
男性/40代	318	35.2	64.8
男性/50代	278	36.3	63.7
男性/60代	195	33.8	66.2
男性/70代	186	37.6	62.4
女性/20代	246	29.7	70.3
女性/30代	267	33.3	66.7
女性/40代	309	31.4	68.6
女性/50代	267	28.1	71.9
女性/60代	195	30.3	69.7
女性/70代	222	35.6	64.4
回答しない/全年代	2	50.0	50.0
喫煙者	644	53.6	46.4
非喫煙者	2,356	27.8	72.2
喫煙者×受動喫煙あり	398	62.8	37.2
喫煙者×受動喫煙なし	246	38.6	61.4
非喫煙者×受動喫煙あり	813	36.8	63.2
非喫煙者×受動喫煙なし	1,543	23.1	76.9

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q14 飲食店頭の表示（「喫煙室の有無」「禁煙」等）の認知度

Q14 あなたは、飲食店の店頭で、喫煙室があるか・禁煙か、などの表示を見たことがありますか。

【全体】

○飲食店頭の表示（「喫煙室の有無」「禁煙」等）を「見たことがある」が60.4%であり6割を超えている。

【性別】

○「見たことがある」は、男性が59.8%、女性が61.1%で性別による大きな差はみられなかった。

【男性年代別】

○「見たことがある」は、60代で66.7%と最も高く、次いで、70代で64.5%、40代は61.6%、50代は60.8%、30代は56.6%、20代は50.6%と最も低くなっている。

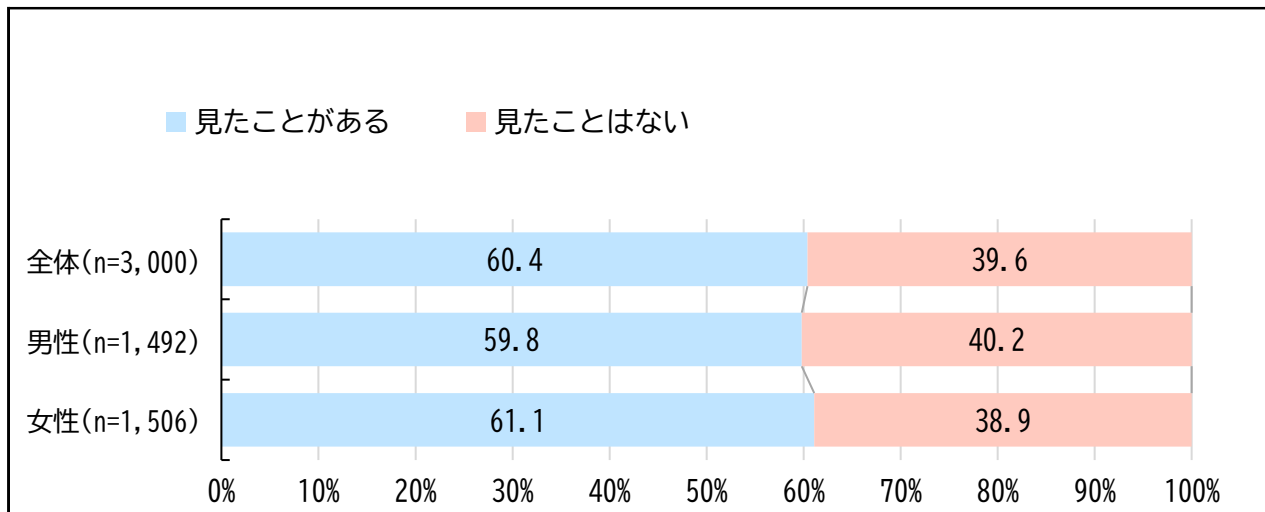
【女性年代別】

○「見たことがある」は、70代で67.6%と最も高く、次いで、60代で64.1%、30代は62.5%、40代は60.2%、50代は59.9%、20代は53.7%と最も低くなっている。

【喫煙者と非喫煙者別】

○「見たことがある」は、非喫煙者で55.7%と、喫煙者の77.5%と比べて20ポイント以上低くなっている。

Q14 飲食店頭の表示（「喫煙室の有無」「禁煙」等）の認知度のグラフと集計表



	調査数 (n)	見たことがある (%)	見たことはない (%)
全体	3,000	60.4	39.6
男性	1,492	59.8	40.2
女性	1,506	61.1	38.9
回答なし	2	0.0	100.0
男性/20代	243	50.6	49.4
男性/30代	272	56.6	43.4
男性/40代	318	61.6	38.4
男性/50代	278	60.8	39.2
男性/60代	195	66.7	33.3
男性/70代	186	64.5	35.5
女性/20代	246	53.7	46.3
女性/30代	267	62.5	37.5
女性/40代	309	60.2	39.8
女性/50代	267	59.9	40.1
女性/60代	195	64.1	35.9
女性/70代	222	67.6	32.4
回答しない/全年代	2	0.0	100.0
喫煙者	644	77.5	22.5
非喫煙者	2,356	55.7	44.3
喫煙者×受動喫煙あり	398	87.9	12.1
喫煙者×受動喫煙なし	246	60.6	39.4
非喫煙者×受動喫煙あり	813	73.4	26.6
非喫煙者×受動喫煙なし	1,543	46.4	53.6

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q15 飲食店頭表示（「喫煙室の有無」「禁煙」等）の参考度合

Q15 飲食店の店頭に掲出されている、喫煙室があるか・禁煙か、などの表示を見て、あなたはその店を選ぶ際の参考にしますか。

【全体】

○飲食店頭表示（「喫煙室の有無」「禁煙」等）を『参考にする』は60.0%（「必ず参考にする」22.7%、「どちらかといえば参考にする」37.3%の合計。以下、同じ。）となっている。

【性別】

○『参考にする』は女性が64.5%で、男性の55.5%と比べておよそ10ポイント高くなっている。

【男性年代別】

○年代で大きな差はみられなかった。

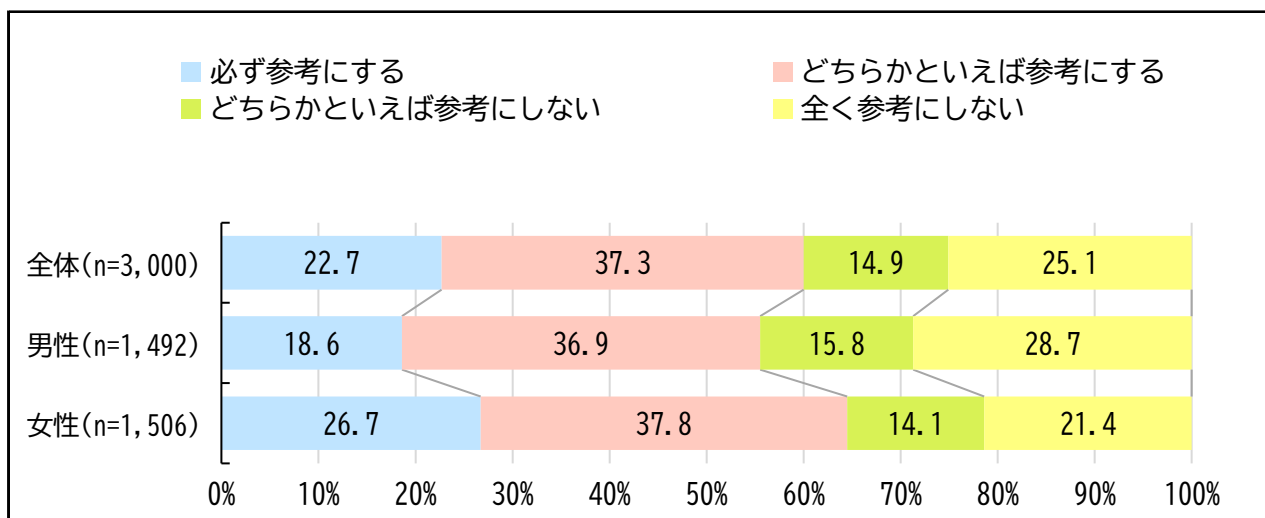
【女性年代別】

○『参考にする』は60代・70代がおよそ75%であり他の年代と比べて高くなっており、20代が46.3%と最も低くなっている。年代が上がるにつれ概ね上昇する傾向がみられる。

【喫煙者と非喫煙者別】

○『参考にする』は、非喫煙者で55.5%で、喫煙者の76.2%と比べて約20ポイント低くなっている。

Q15 飲食店頭表示（「喫煙室の有無」「禁煙」等）の参考度合のグラフと集計表



(%)

	調査数 (n)	必ず参考にする	どちらかといえば参考にする	どちらかといえば参考にしない	全く参考にしない
全体	3,000	22.7	37.3	14.9	25.1
男性	1,492	18.6	36.9	15.8	28.7
女性	1,506	26.7	37.8	14.1	21.4
回答なし	2	0.0	50.0	0.0	50.0
男性/20代	243	14.8	35.8	12.3	37.0
男性/30代	272	14.7	36.0	16.5	32.7
男性/40代	318	19.8	39.6	12.9	27.7
男性/50代	278	20.5	34.2	19.8	25.5
男性/60代	195	20.5	40.0	15.4	24.1
男性/70代	186	22.6	35.5	18.8	23.1
女性/20代	246	18.3	28.0	18.3	35.4
女性/30代	267	22.1	40.4	15.7	21.7
女性/40代	309	24.9	37.2	15.5	22.3
女性/50代	267	29.6	40.1	10.1	20.2
女性/60代	195	32.8	42.6	10.8	13.8
女性/70代	222	35.1	39.2	13.1	12.6
回答しない/全年代	2	0.0	50.0	0.0	50.0
喫煙者	644	29.3	46.9	11.2	12.6
非喫煙者	2,356	20.8	34.7	16.0	28.5
喫煙者×受動喫煙あり	398	32.4	52.8	8.3	6.5
喫煙者×受動喫煙なし	246	24.4	37.4	15.9	22.4
非喫煙者×受動喫煙あり	813	28.5	42.6	14.1	14.8
非喫煙者×受動喫煙なし	1,543	16.8	30.6	16.9	35.7

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q16 法律・条例違反が指導・過料等の対象となることの認知度

Q16 飲食店などが法律や条例に違反した場合、保健所等による指導や過料※等の対象になる場合があることを知っていますか。

※違反者に制裁として科せられるもの。金額は違反内容により異なります。

【全体】

○飲食店などが法律や条例に違反した場合、保健所等による指導や過料等の対象になることを「知っている」は36.0%となっている。

【性別】

○「知っている」は男性が39.2%で、女性の32.9%より5ポイント以上高くなっている。

【男性年代別】

○「知っている」は70代で41.9%と最も高く、次いで、60代で41.0%、20代は39.1%、50代は38.8%、30代は38.2%、40代は37.7%と最も低くなっている。

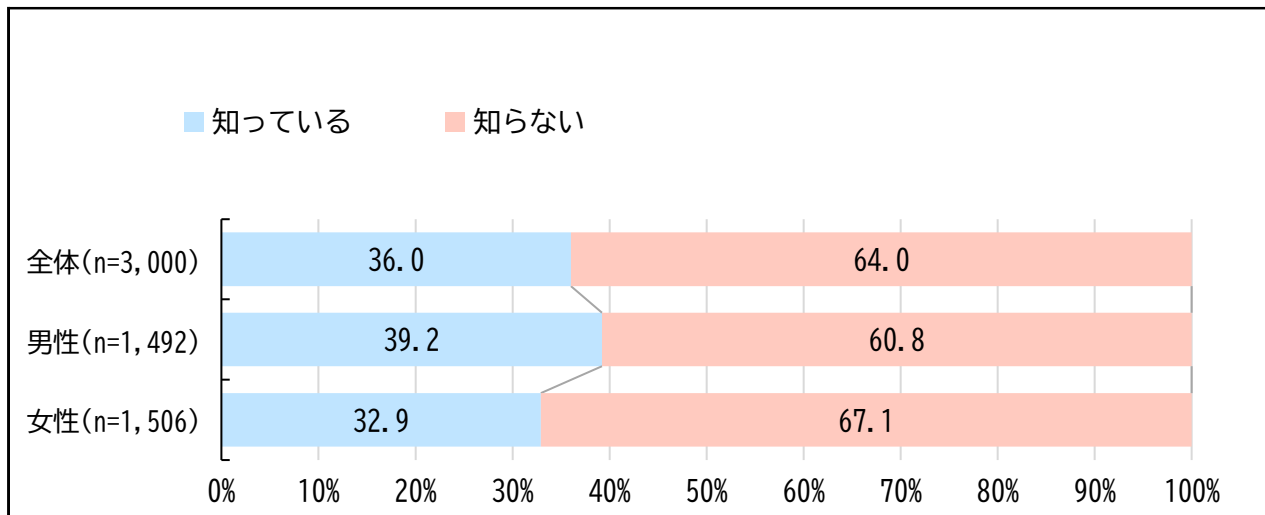
【女性年代別】

○「知っている」は70代で38.7%と最も高く、次いで、60代で37.4%、30代は35.2%、20代は33.3%、50代は28.8%、40代は27.2%と最も低くなっている。

【喫煙者と非喫煙者別】

○「知っている」は、喫煙者で57.8%で、喫煙者の30.1%と比べて20ポイント以上高くなっている。

Q16 法律・条例違反が指導・過料等の対象となることの認知度のグラフと集計表



	調査数 (n)	知っている (%)	知らない (%)
全体	3,000	36.0	64.0
男性	1,492	39.2	60.8
女性	1,506	32.9	67.1
回答なし	2	0.0	100.0
男性/20代	243	39.1	60.9
男性/30代	272	38.2	61.8
男性/40代	318	37.7	62.3
男性/50代	278	38.8	61.2
男性/60代	195	41.0	59.0
男性/70代	186	41.9	58.1
女性/20代	246	33.3	66.7
女性/30代	267	35.2	64.8
女性/40代	309	27.2	72.8
女性/50代	267	28.8	71.2
女性/60代	195	37.4	62.6
女性/70代	222	38.7	61.3
回答しない/全年代	2	0.0	100.0
喫煙者	644	57.8	42.2
非喫煙者	2,356	30.1	69.9
喫煙者×受動喫煙あり	398	67.3	32.7
喫煙者×受動喫煙なし	246	42.3	57.7
非喫煙者×受動喫煙あり	813	41.3	58.7
非喫煙者×受動喫煙なし	1,543	24.2	75.8

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q17 受動喫煙対策の認知度

Q17 あなたは、健康増進法や東京都受動喫煙防止条例等の受動喫煙を防止するための対策についてどの程度知っていましたか。(Q9からQ16までの設問)

【全体】

- 国の健康増進法や東京都受動喫煙防止条例等の受動喫煙対策について『知っている』（「内容までよく理解」4.6%、「だいたい理解している」24.9%、「名前だけは知っている」34.9%の合計。以下、同じ）は64.4%となっている。
- 国の健康増進法や東京都受動喫煙防止条例等の受動喫煙対策について『理解している』（「内容までよく理解」4.6%、「だいたい理解」24.9%の合計。以下、同じ）は29.5%となっている。

【性別】

- 『知っている』は男性が66.1%で、女性の62.5%で性別による大きな差はみられなかった。
- 『理解している』は男性が32.1%で、女性の26.8%と比べて5ポイント以上高くなっている。

【男性年代別】

- 『知っている』は年代が上がるにつれて高くなっており、20代は56.0%と最も低く、70代は82.2%と最も高くなっている。
- 『理解している』は年代により大きな差はみられなかった。

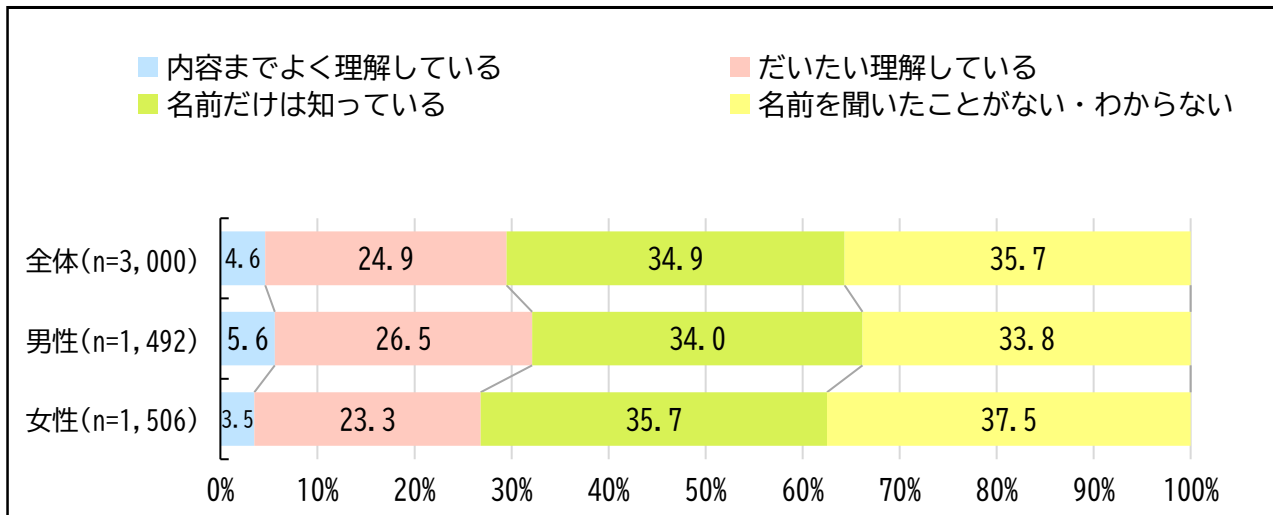
【女性年代別】

- 『知っている』は年代により大きな差はみられないものの70代は77.4%と最も高く、20代は53.7%と最も低くなっている。
- 『理解している』は年代により大きな差はみられなかった。

【喫煙者・非喫煙者別】

- 『知っている』は喫煙者が81.8%で、非喫煙者の59.5%と比べて20ポイント以上高くなっている。
- 『理解している』は喫煙者が51.1%で、非喫煙者の23.5%と比べて25ポイント以上高くなっている。
- 「名前を聞いたことがない・わからない」は喫煙者が18.2%で、非喫煙者の40.5%と比べて20ポイント以上低い。

Q17 受動喫煙対策の認知度のグラフと集計表



	調査数 (n)	内容までよく 理解して いる	だいたい理 解している	名前だけは 知っている	名前を聞いたことが ない・わから ない
全体	3,000	4.6	24.9	34.9	35.7
男性	1,492	5.6	26.5	34.0	33.8
女性	1,506	3.5	23.3	35.7	37.5
回答なし	2	0.0	0.0	50.0	50.0
男性/20代	243	10.3	25.5	20.2	44.0
男性/30代	272	6.6	24.6	29.0	39.7
男性/40代	318	5.7	23.6	34.9	35.8
男性/50代	278	4.3	26.6	36.7	32.4
男性/60代	195	2.6	30.8	39.5	27.2
男性/70代	186	3.2	30.6	48.4	17.7
女性/20代	246	4.5	24.0	25.2	46.3
女性/30代	267	6.0	28.1	28.5	37.5
女性/40代	309	3.6	19.4	39.2	37.9
女性/50代	267	2.6	18.7	34.8	43.8
女性/60代	195	3.1	22.1	40.5	34.4
女性/70代	222	0.9	28.8	47.7	22.5
回答しない/全年代	2	0.0	0.0	50.0	50.0
喫煙者	644	12.7	38.4	30.7	18.2
非喫煙者	2,356	2.3	21.2	36.0	40.5
喫煙者×受動喫煙あり	398	16.3	45.7	29.4	8.5
喫煙者×受動喫煙なし	246	6.9	26.4	32.9	33.7
非喫煙者×受動喫煙あり	813	3.4	30.6	41.8	24.1
非喫煙者×受動喫煙なし	1,543	1.7	16.2	32.9	49.1

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q18 都の受動喫煙防止条例周知広報の認知度

Q18 東京都受動喫煙防止条例を周知するため、都ではさまざまな広報を行ってきました。以下のうち、あなたが見たり、聞いたりしたことがあるものについてお答えください。

【全体】

- 受動喫煙防止条例の周知のために都が行っている広報の中で「見たり聞いたりしたことがあるもの」としては、「テレビ」を47.1%と最も高くなっている。
- 以下、次いで「東京都・区市町村の広報誌」23.4%、「インターネット・SNS」22.9%、「ポスター」が20.3%、「新聞、雑誌」が16.2%、「電車内ビジョン・屋外ビジョン」が11.1%で、以降は10%未満の順となっている。
- 一方、「見たことがない・聞いたことがない」が18.0%を占めた。

【性別】

- 男女ともに「テレビ」が最も高く、男性が46.5%、女性が47.7%となっている。
- 男性では、2位「インターネット・SNS」、3位「東京都・区市町村の広報誌」で、女性は2位「東京都・区市町村の広報誌」、3位「インターネット・SNS」となっている。

【男性年代別】

- 他の年代と比べて高くなっている項目は、20代で「家族・友人・知人などから聞いた（口コミ）」、30代で「インターネット・SNS」、「電車内ビジョン・屋外ビジョン」、70代で「東京都・区市町村の広報誌」、「新聞、雑誌」となっている。
- 他の年代と比べて低い項目は、70代で「インターネット・SNS」で11.8%となっている。

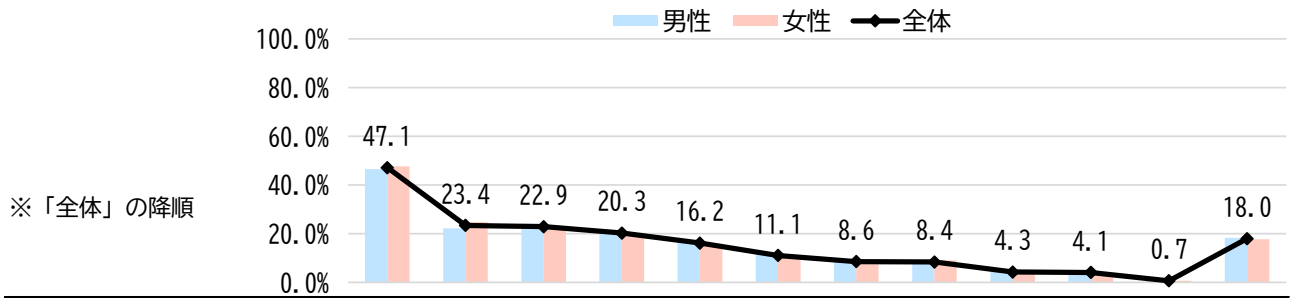
【女性年代別】

- 他の年代と比べて高くなっている項目は、30代「インターネット・SNS」、70代で「テレビ」、「東京都や区市町村の広報紙」、「新聞、雑誌」となっている。

【喫煙者・非喫煙者別】

- 喫煙者と非喫煙者で差が大きくなった項目は、「インターネット・SNS」で、喫煙者が34.5%で、非喫煙者の18.5%と比べて15ポイント以上高くなっている。

Q18 都の受動喫煙防止条例周知広報の認知度のグラフと集計表



	調査数 (n)	テレビ	東京都 や区市 町村の 広報紙	イン ター ネッ ト・S NS	ポス ター	新聞、 雑誌	電車内 ビジョ ン・屋 外ビジ ョン	チラシ	家族・ 友人 などか ら聞い た(口 コミ)	ラジオ	動画 (東京 都作成 の条例 解説動 画等)	その他	見たこ とがない・聞 いたこ とがない
全体	1,929	47.1	23.4	22.9	20.3	16.2	11.1	8.6	8.4	4.3	4.1	0.7	18.0
男性	987	46.5	22.2	24.1	20.2	16.8	12.0	9.5	7.7	4.7	4.6	0.6	18.3
女性	941	47.7	24.8	21.6	20.4	15.4	10.3	7.5	9.1	3.9	3.7	0.7	17.7
回答なし	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性/20代	136	47.1	19.9	30.1	21.3	12.5	19.9	14.7	19.1	8.1	11.8	0.0	16.2
男性/30代	164	44.5	20.1	38.4	23.2	11.0	23.2	12.8	6.1	8.5	9.8	0.0	15.9
男性/40代	204	46.6	16.2	27.9	21.6	13.7	11.8	8.3	7.4	3.4	2.0	0.0	19.6
男性/50代	188	47.3	18.6	20.7	18.6	14.9	5.9	8.0	5.3	4.8	2.1	0.0	20.2
男性/60代	142	45.8	21.1	14.1	16.9	19.7	6.3	5.6	4.2	0.7	0.7	1.4	21.8
男性/70代	153	47.7	39.9	11.8	19.0	30.7	5.9	8.5	5.9	2.6	2.6	2.6	15.7
女性/20代	132	34.8	18.9	24.2	18.9	11.4	12.9	8.3	8.3	3.0	3.8	0.0	19.7
女性/30代	167	47.3	20.4	34.7	24.6	13.8	16.8	12.6	10.2	8.4	12.6	1.2	18.6
女性/40代	192	43.2	19.3	21.4	21.4	6.8	9.9	6.3	8.3	2.1	1.6	0.5	22.9
女性/50代	150	42.0	24.7	19.3	18.7	10.0	6.7	8.0	8.7	2.0	1.3	1.3	20.0
女性/60代	128	56.3	26.6	17.2	17.2	19.5	7.0	5.5	11.7	1.6	1.6	1.6	14.1
女性/70代	172	61.6	38.4	12.2	20.3	31.4	8.1	4.7	8.1	5.8	1.2	0.0	10.5
回答しない/全年代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
喫煙者	527	50.3	23.7	34.5	22.4	17.8	15.9	9.9	9.7	8.3	9.1	0.2	12.9
非喫煙者	1,402	45.9	23.3	18.5	19.5	15.5	9.3	8.1	7.9	2.8	2.3	0.9	20.0
喫煙者×受動喫煙あり	364	53.8	28.6	38.7	26.4	19.5	19.2	12.6	10.2	11.5	11.3	0.3	8.2
喫煙者×受動喫煙なし	163	42.3	12.9	25.2	13.5	14.1	8.6	3.7	8.6	1.2	4.3	0.0	23.3
非喫煙者×受動喫煙あり	617	45.7	25.1	21.6	25.1	16.0	13.6	10.5	9.2	3.1	2.6	1.5	17.0
非喫煙者×受動喫煙なし	785	46.0	21.9	16.1	15.0	15.2	6.0	6.1	6.9	2.5	2.0	0.4	22.3

【表の凡例】
 比較の対象となる項目：n=30以上
 全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q19 都の受動喫煙防止条例に対する評価

Q19 東京都受動喫煙防止条例の取組について、あなたはどのように思いますか。お気持ちに近いものを1つお選びください。

※東京都受動喫煙防止条例は、国の健康増進法と整合を図って制定されており、基本となる制度の理念や施設類型、喫煙室の種類、技術的基準等は同じ。

※都の条例は、「人（従業員や20歳未満の者）を守る」という観点から、①従業員がいる飲食店は原則屋内禁煙②飲食店は禁煙の場合も店頭に標識を掲示③小中高校等は敷地内屋外の喫煙場所設置不可（努力義務）を、国の法律に加える形で規定している。都の条例違反の場合には、都の罰則が科せられる。

【全体】

○都の受動喫煙防止条例について『良い取組だと思う』（「良い取組」54.5%、「やや良い取組」30.1%の合計。以下、同じ。）が84.6%となっている。

【性別】

○『良い取組だと思う』は、男性が82.5%、女性が86.6%で性別による大きな差はみられなかった。

【男性年代別】

○『良い取組だと思う』は、60代で92.8%と最も高く、次いで、70代で91.9%、50代は83.1%、40代は82.4%、20代は78.2%、30代は72.5%と最も低くなっている。

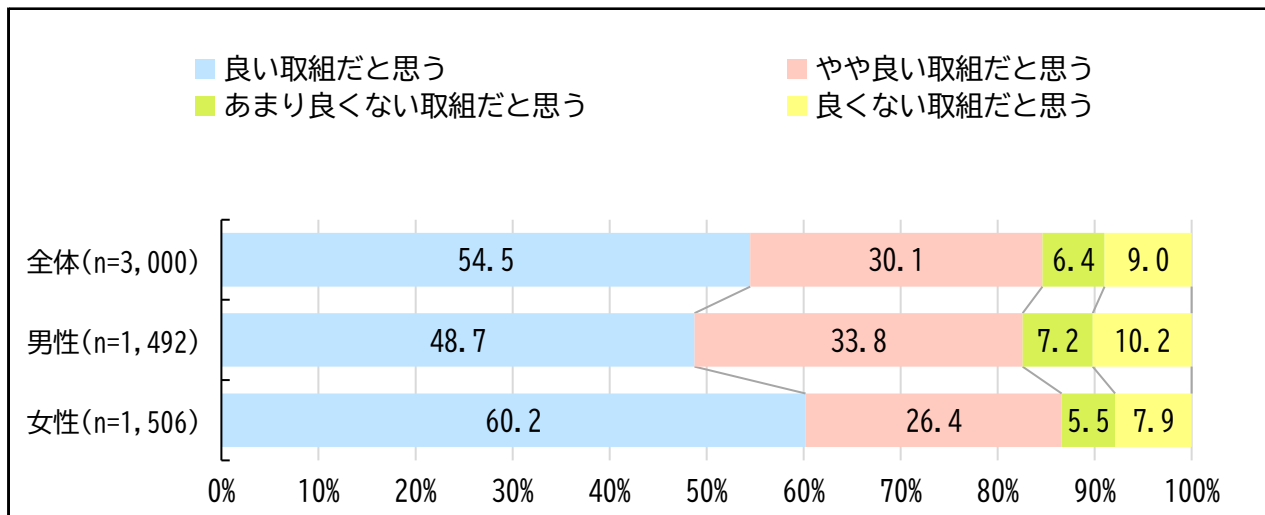
【女性年代別】

○『良い取組だと思う』は、70代で95.9%と最も高く、次いで、60代で92.3%、50代は87.3%、30代は86.9%、40代は85.8%、20代は73.6%と最も低くなっている。

【喫煙者・非喫煙者別】

○『良い取組だと思う』は、非喫煙者が86.1%で、喫煙者の78.9%と比べて約7ポイント高くなっているが、「良い取組だと思う」のみに絞ると、非喫煙者が59.6%で、喫煙者の35.9%と比べて約24ポイント高くなっている。

Q19 都の受動喫煙防止条例に対する評価のグラフと集計表



(%)

	調査数 (n)	良い取組だ と思う	やや良い取 組だと思 う	あまり良く ない取組だ と思う	良くない取 組だと思 う
全体	3,000	54.5	30.1	6.4	9.0
男性	1,492	48.7	33.8	7.2	10.2
女性	1,506	60.2	26.4	5.5	7.9
回答なし	2	100.0	0.0	0.0	0.0
男性/20代	243	42.0	36.2	8.2	13.6
男性/30代	272	35.7	36.8	10.3	17.3
男性/40代	318	44.3	38.1	7.5	10.1
男性/50代	278	54.0	29.1	6.5	10.4
男性/60代	195	57.4	35.4	4.1	3.1
男性/70代	186	67.2	24.7	5.4	2.7
女性/20代	246	43.1	30.5	9.8	16.7
女性/30代	267	56.2	30.7	4.1	9.0
女性/40代	309	56.0	29.8	7.4	6.8
女性/50代	267	63.3	24.0	4.5	8.2
女性/60代	195	70.8	21.5	4.6	3.1
女性/70代	222	77.0	18.9	1.8	2.3
回答しない/全年代	2	100.0	0.0	0.0	0.0
喫煙者	644	35.9	43.0	12.9	8.2
非喫煙者	2,356	59.6	26.5	4.6	9.3
喫煙者×受動喫煙あり	398	43.5	42.5	9.8	4.3
喫煙者×受動喫煙なし	246	23.6	43.9	17.9	14.6
非喫煙者×受動喫煙あり	813	69.6	26.7	2.2	1.5
非喫煙者×受動喫煙なし	1,543	54.4	26.4	5.8	13.4

【表の凡例】

比較の対象となる項目：n=30以上

全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q20 受動喫煙防止条例での規制前後と比較した受動喫煙の機会の変化

Q20 健康増進法や東京都受動喫煙防止条例により屋内での喫煙が規制がされる前の平成30年（2018年）以前と現在とを比べて、あなたの屋内での受動喫煙の機会はどのように変わりましたか。

【全体】

○屋内での喫煙規制前の平成30年（2018年）以前と現在とを比べて、屋内での受動喫煙の機会はどのように変わったかについて、「屋内での受動喫煙の機会は減った」が55.5%と5割半ばを超えている。

【性別】

○「屋内での受動喫煙の機会は減った」は男性が55.1%、女性が55.8%で性別による大きな差はみられなかった。

【男性年代別】

○「屋内での受動喫煙の機会は減った」は70代が79.6%と最も高く、20代は40.3%と最も低くなっている。年代が上がるにつれて上昇傾向にある。

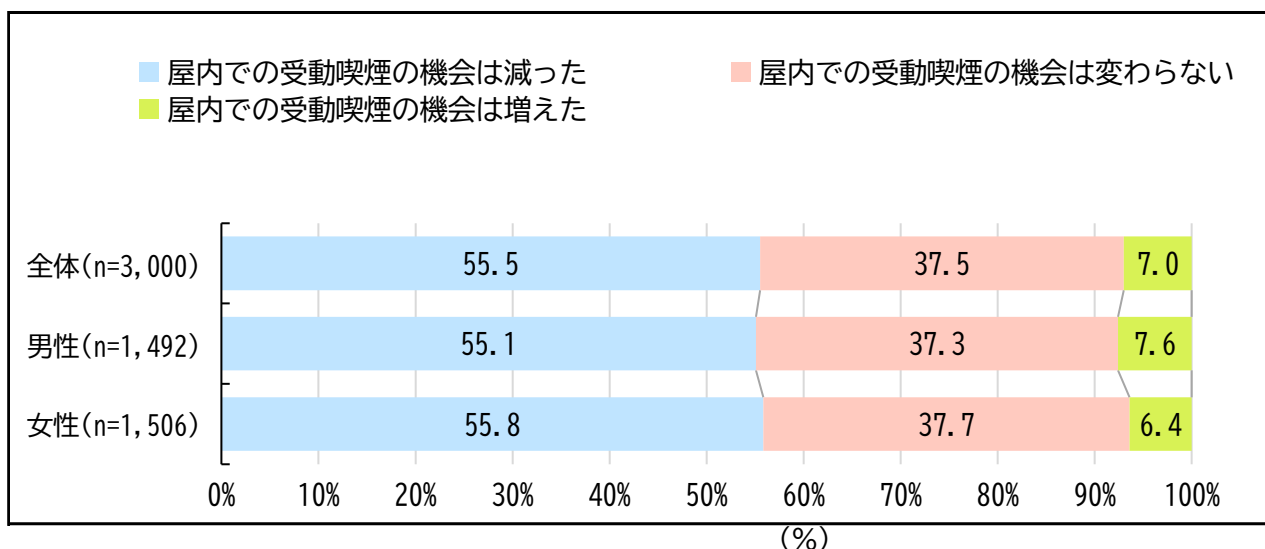
○「屋内での受動喫煙機会は変わらない」は30代が47.4%と最も高く、70代は19.9%と最も低くなっている。

【女性年代別】

○「屋内での受動喫煙の機会は減った」は70代が73.4%と最も高く、20代は33.7%と最も低くなっている。

○「屋内での受動喫煙機会は変わらない」は20代が50.4%と最も高く、70代は25.2%と最も低くなっている。

Q20 受動喫煙防止条例での規制前後と比較した受動喫煙の機会の変化のグラフと集計表



	調査数 (n)	屋内での受動喫煙の機会は減った (%)	屋内での受動喫煙の機会は変わらない (%)	屋内での受動喫煙の機会は増えた (%)
全体	3,000	55.5	37.5	7.0
男性	1,492	55.1	37.3	7.6
女性	1,506	55.8	37.7	6.4
回答なし	2	50.0	50.0	0.0
男性/20代	243	40.3	46.5	13.2
男性/30代	272	42.6	47.4	9.9
男性/40代	318	53.5	38.7	7.9
男性/50代	278	60.1	31.3	8.6
男性/60代	195	63.1	34.9	2.1
男性/70代	186	79.6	19.9	0.5
女性/20代	246	33.7	50.4	15.9
女性/30代	267	53.9	39.7	6.4
女性/40代	309	50.8	43.0	6.1
女性/50代	267	58.4	36.0	5.6
女性/60代	195	70.8	27.2	2.1
女性/70代	222	73.4	25.2	1.4
回答しない/全年代	2	50.0	50.0	0.0
喫煙者	644	58.9	37.4	3.7
非喫煙者	2,356	54.5	37.6	7.9
喫煙者×受動喫煙あり	398	69.8	28.4	1.8
喫煙者×受動喫煙なし	246	41.1	52.0	6.9
非喫煙者×受動喫煙あり	813	66.9	31.2	1.8
非喫煙者×受動喫煙なし	1,543	48.0	40.9	11.1

【表の凡例】 比較の対象となる項目：n=30以上
 全体+10ポイント以上 ■ 全体+5ポイント以上 ■
 全体-5ポイント以下 ■ 全体-10ポイント以下 ■

Q21 都の受動喫煙防止条例に対する意見・要望

Q21 『受動喫煙』を防止する施策をすすめるために、東京都へのご意見・ご要望をどんなことでもかまいませんので、ご記入ください。

○自由記述の内容を14の大分類に整理した上で、それぞれの自由記述の内容に沿って細分化して小分類へと整理をした。分類は下表のとおりとなった。

大分類	小分類				
取組について	煙草の健康被害に関する予防措置	喫煙者・非喫煙者双方への配慮	取組の検証	取組の強化	夜の取組の強化
	喫煙を遠慮してもらうための意思表示ツールの提供	補助金の支給	イベントでの取組	巡回の強化	喫煙者とも対話
	行政の意見聴取の窓口等の設置	都道府県単位で統一した取組の実施	換気・空気清浄機の義務化	ポイ捨ての対策	その他
禁止等について	罰則・罰金の実施・強化	販売しない・販売禁止	輸入禁止	全面禁止・製造禁止	規制強化
	路上喫煙・屋外での喫煙の禁止	公共の場での禁止	子どもの出入りする場所での禁止	禁煙場所の増加	喫煙所以外での禁煙
	自宅以外の禁止	集合住宅での禁止	住宅地での禁止	車中禁煙	屋内禁煙の徹底
	取締の強化	電子タバコへの取締強化	通報制度の創出	監視の強化	未成年者の喫煙の取締
	ボランティアの活用・制度化 その他	喫煙者の隔離	喫煙者の孤立化の促進	恥辱刑の創出	喫煙者の撲滅
ルールについて	分かりやすい内容				
啓発・周知・広報について	啓発・周知・広報の強化	煙草の健康被害についての啓発	客観的なデータの周知	受動喫煙についての啓発	加熱式たばこの健康被害についての啓発
	条例・取組の周知	喫煙場所の周知	禁止区域の周知	CMの活用	多様なメディアの活用
	禁煙のための助言	代替手段の提示	加熱式たばこの普及	喫煙者への啓発	子ども・若年層への教育・啓発
	高齢者への啓発 強い指導	非喫煙者への啓発	外国人への周知	個人の意識への働きかけ	飲食店への周知
		喫煙者の屈辱感の惹起			
禁煙支援について	医療的対応の重視	離脱へのケア			
障壁について	増税	価格を上げる	販売の抑制	購入可能な場所の削減	
喫煙所等について	喫煙可能な場所の増設	喫煙可能な場所の屋内型化・漏洩防止の推進	非喫煙者に配慮した設置	喫煙可能な場所の景観配慮	有料化
	喫煙可能な場所付近の取締強化	喫煙所等の削減	加熱式と紙たばこの分離	その他	
インセンティブについて	非喫煙者・禁煙者への報償等	非喫煙者・禁煙者への報償			
緩和について	規則の柔軟化	規則等の緩和	喫煙者への嫌悪感の緩和	喫煙者への配慮	分煙
	過度な罰則は逆効果	自由な選択の保証	規制は逆効果	たばこ税のとりやめ	対策不要
分煙について	分煙の徹底	分煙化の推進			
店舗について	分煙の徹底	全店禁煙	喫煙専門店の創出	喫煙可能なパチンコ店の創出	飲食店での喫煙禁止
	違反店舗の公表	アルコールを提供する店舗での注意喚起の義務化	喫煙表示の明確化	店舗への取締強化	その他
宿泊施設について	禁煙を原則とする取組				
表示について	喫煙可能・禁止区域の明示	禁止区域の明示	表示の徹底	喫煙可能な場所の明示	火災報知器等による警告
	禁煙表示の明示	喫煙所の明示			
現状維持について	現状維持				

■意見・要望のコメント内容が多く挙げられていた例を大分類で以下に示す。

1. 取組について

- ・受動喫煙を防止するためには、地道な対応が必要である。ただし喫煙者を排除する方法も好ましいとは思わない
- ・隣で吸い始められると嫌だが直接は言いにくいので何か意思を表示できるものが欲しいと思いました
- ・既に実施されておる対策を広めていく事しかないと思います

2. 禁止等について

- ・禁煙場所での喫煙は取り締まりを強化してほしい
- ・屋内だけでなく、屋外（特に歩きタバコ）も防止してほしい。喫煙者は配慮しているつもりでも、風向きが急に変わると、煙を吸うことがある
- ・守っていない施設なども多いので徹底することや子供がよく出入りする場所では完全禁煙にしてほしい

3. ルールについて

- ・分かり易いルール化をしてほしい

4. 啓発・周知・広報について

- ・もっと取り締まりの例を周知させ、条例がきちんと運営されていると告知したほうがよいとおもう
- ・屋外で、喫煙禁止エリアでも堂々と吸っている人が多いので、周知徹底してほしい
- ・受動喫煙の健康への悪影響の数値を示してもっと広めて欲しい
- ・自分の町ではかなり高齢者がいるが、高齢者で未だに外でくわえたり、手に持ったまま歩いてたりする人がいるので、特に周知してほしい
- ・喫煙者を減らす取り組みと児童生徒への啓蒙活動
- ・チラシ、ポスター、イベントなどでの呼びかけなど機会があるごとに啓蒙活動をするようにする。
- ・XやInstagramなどのSNSやYouTubeなどを活用したら若者にも届きやすいと思う

5. 禁煙支援について

- ・ヘビースモーカーは、どのような制限を持っても強く吸いたいという依存性があると聞きます。医療的対応を強化する何らかの方法をして頂きたい
- ・煙草を辞めさせるなら辞めさせるで相応に離脱に伴うケアとその周知は必要である

6. 障壁について

- ・タバコの値段を高くする
- ・煙草を購入できる場所を減らせば購入する人も減るかもしれません
- ・自販機減らす

7. インセンティブについて

- ・喫煙をしない人へのボーナス
- ・タバコをやめた人に多額の奨励金を出す

8. 緩和について

- ・ゼロか百かではなく、お互いにできる共存出来る範囲で見出せるような施策を考えるべきである。タバコ税を有効に使うために屋外の喫煙スポットをもっと増やして、喫煙者と禁煙者を分けるのも一つの方法である
- ・取り締まりすぎなければいいと思う

9. 喫煙所等について

- ・喫煙所がないため道端で喫煙する人がいるため。十分な喫煙所を設けて欲しい
- ・有料でも構わないので喫煙室を増やすべき
- ・喫煙所を減らしてほしい
- ・屋外で、囲われた喫煙場所を設定する場合、人通りの多い駅前や商業施設の近くは、やめてほしい
- ・野外喫煙所をボックス型にして欲しい。囲いだけだと囲いの近くで吸ってる人もいるし近くを通ると煙が来る
- ・禁煙スペースから煙が漏れ出さない仕組み、製品の奨励をして欲しい

10. 分煙について

- ・飲食店では、もっと厳密に、喫煙と非喫煙のエリアを分けるべき
- ・すべて禁止したり、喫煙環境を無くす必要はないので、分煙や区別する環境を作ってほしい

11. 店舗について

- ・入り口にこの店は喫煙可と書いてあるのを見かけるお店がありますが、それが親切なのか義務なのかはわからないので、義務化して、吸いたい人は逆に入りやすいように、煙が嫌な人は入らない判断が出来るようにして欲しいです
- ・繁華街の店舗では、まだまだ喫煙出来る事をアピールした呼び込みなどがあり、実際には禁煙が守られていない店舗が増えている。巡回などで実質を把握して欲しい
- ・飲食店を屋内禁煙にした事により、店先に灰皿を置く店が増えて路上がヤニ臭くなったので辞めて欲しい
- ・店内では全面禁煙にしても良いと思う

12. 宿泊施設について

- ・ホテルの部屋も禁煙室を促して欲しい。(中略) 東京都だけでも先駆けて禁煙部屋数が分かるように、ホテルの禁煙部屋の部屋数をホテルで明示するようにホテルのサイトやネットの旅行サイトなどで働きかけてもらえると選びやすくて助かります

13. 表示について

- ・屋内の施設をもっと整備してステッカーの設置を入口で分かるようにしてほしいと思います
- ・吸える場合と吸えない場所を分かりやすくしてほしい
- ・禁煙場所には火災探知機を置く

14. 現状維持について

- ・今のまま続けてほしい
- ・このまま進めて頂ければますます受動喫煙の機会が減ると思うので手を抜かず続けてほしい

<参考（調査票）>

最初に、喫煙についてお伺いします。

Q1

あなたは、「たばこ(加熱式たばこ※を除く。紙巻きたばこ、葉巻、水たばこ等)」を吸いますか。

※「加熱式たばこ」とは、たばこ葉やたばこ葉を用いた加工品を燃焼させず、専用機器を用いて電気で加熱することで蒸気を発生させるもの。加熱の方法や温度などは製品ごとに異なります。(電子タバコは含みません)

例:アイコス、グロー、プルーム等

- 1 毎日吸っている
- 2 ときどき吸う日がある
- 3 以前は吸っていたが、1か月以上吸っていない
- 4 吸わない

次へ

Q2

あなたは、「加熱式たばこ※」を吸いますか。

※「加熱式たばこ」とは、たばこ葉やたばこ葉を用いた加工品を燃焼させず、専用機器を用いて電気で加熱することで蒸気を発生させるもの。加熱の方法や温度などは製品ごとに異なります。(電子タバコは含みません)

例:アイコス、グロー、プルーム等

- 1 毎日吸っている
- 2 ときどき吸う日がある
- 3 以前は吸っていたが、1か月以上吸っていない
- 4 吸わない

次へ

Q1、Q2のいずれか、または両方で、「毎日吸っている」、「ときどき吸う日がある」または「以前は吸っていたが、1か月以上吸っていない」と回答した方にお尋ねします。

Q2_2

あなたが、たばこ(加熱式たばこ※を含む)を吸いはじめたきっかけは何でしたか。
あてはまるものを全てお選びください。(いくつでも)

※「加熱式たばこ」とは、たばこ葉やたばこ葉を用いた加工品を燃焼させず、専用機器を用いて電気で加熱することで蒸気を発生させるもの。加熱の方法や温度などは製品ごとに異なります。(電子タバコは含みません)

例:アイコス、グロー、プルーム等

- 1 家族がたばこを吸っていて、たばこが身近にあったから
- 2 友人や知人にすすめられたから
- 3 たばこの広告を見て、たばこに興味や関心を持っていたから
- 4 喫煙所でコミュニケーションをもちたいと思ったから
- 5 テレビドラマや映画で俳優が喫煙するシーンを見て格好良いと思ったから
- 6 漫画等の登場人物が喫煙するシーンを見て格好良いと思ったから
- 7 コンビニの陳列販売や自動販売機に並ぶたばこを見て興味や関心を持ったから
- 8 インターネットの情報を見て、たばこに興味や関心を持ったから
- 9 たばこを吸っている人を見て、真似をしたいと思ったから
- 10 20歳になって得られる権利を行使したいから
- 11 ダイエットに効果があると思ったから
- 12 流行っていたから
- 13 覚えていない・分からない
- 14 その他

次へ

Q1、Q2のいずれか、または両方で、「毎日吸っている」または「ときどき吸う日がある」と回答した方にお尋ねします。

Q3

あなたは、今後、禁煙するつもりはありますか。

- 1 禁煙する予定がある(時期も決まっている)
- 2 いつか禁煙するつもりがある(時期は決まっていない)
- 3 禁煙するつもりはない

次へ

Q3で「禁煙する予定がある(時期も決まっている)」または「いつか禁煙するつもりがある(時期は決まっていない)」もしくはQ1・Q2で以前は吸っていたが1か月以上たばこ(加熱式たばこを含む)を吸っていないと回答した方にお尋ねします。

Q3_1

禁煙しようと思う(禁煙した)理由は何ですか。

あてはまるものを全てお選びください。(いくつでも)

- 1 法律の改正・条例の制定により、屋内が原則禁煙となったため
- 2 自分の健康のため
- 3 家族・パートナーの健康のため
- 4 家族・パートナーにやめるように言われたため
- 5 妊娠した・子どもが産まれる(産まれた)ため
- 6 職場で禁煙を求められたため
- 7 喫煙できる場所が減ったため
- 8 たばこ代が高いため
- 9 においが気になるため
- 10 その他

次へ

Q3で「禁煙する予定がある(時期も決まっている)」または「いつか禁煙するつもりがある(時期は決まっていない)」もしくはQ1・Q2で以前は吸っていたが1か月以上たばこ(加熱式たばこを含む)を吸っていないと回答した方にお尋ねします。

Q3_2

禁煙しようとする(禁煙した)場合には、どのような方法で行います(行いました)か。

あてはまるものを全てお選びください。(いくつでも)

- 1 薬局で買える禁煙補助剤(ニコチンガム・パッチ等)
- 2 飲食物で紛らわせる(飴、ガム、缶コーヒー等)
- 3 禁煙グッズ(離煙パイプ、電子タバコ等)
- 4 禁煙外来の受診
- 5 禁煙アプリ
- 6 上記を活用せず、自分の意志のみで行う
- 7 その他

次へ

次に、COPDについてお伺いします。

Q4

あなたは、COPD(シーオーピーディー)【慢性閉塞性肺疾患(まんせいへいそくせいはいしっかん)】※という病気を知っていますか。

※「COPD(慢性閉塞性肺疾患)」とは、有害物質を長い間吸引したことで肺が壊れる進行性の病気です。「肺気腫」や「慢性気管支炎」と言われていた疾患も、COPDに含まれます。COPDの原因の約90%は、たばこの煙です。重症化すると、少し動くだけでも息切れしてしまい、酸素吸入が必要になるなど、生活に大きく影響してしまいます。思い当たる点があれば、医療機関を受診しましょう。

- 1 知っている
- 2 内容までは知らなかったが、言葉は聞いたことがある
- 3 知らない

次へ

Q4_1

あなたは、長期の喫煙習慣により、COPD(慢性閉塞性肺疾患)になるリスクが高くなることを知っていますか。

- 1 知っている
- 2 知らない

次へ

Q4_2

あなたは、日本で、毎年1万人を超える方がCOPD(慢性閉塞性肺疾患)で亡くなっていること※を知っていますか。

※男性に多い傾向があり、令和4年には日本の男性の約14,000人がCOPDで亡くなりました。(令和4年人口動態統計概況)なお、世界でも、1990年には死因の第6位だったCOPDが、2019年には第3位になっています。(WHO)

- 1 知っている
- 2 知らない

次へ

Q4で「知っている」「内容までは知らなかったが、言葉は聞いたことがある」と回答した方にお尋ねします。

Q4_3

COPD(慢性閉塞性肺疾患)について、あなたが見たり、聞いたりしたことがあるものについて教えてください。(いくつでも)

- 1 テレビ
- 2 新聞、雑誌
- 3 ホームページ
- 4 SNS(X等)
- 5 インターネット広告
- 6 ラジオ
- 7 競馬場の屋外ビジョン
- 8 東京都や区市町村の広報紙
- 9 チラシ・パンフレット
- 10 ポスター
- 11 動画(東京都作成の動画等)
- 12 家族・友人・知人などから聞いた(口コミ)
- 13 その他

次へ

これ以降については、受動喫煙についてお伺いします。

Q5

あなたは、室内又はこれに準ずる環境における受動喫煙※が健康に影響することを知っていますか。

※「受動喫煙」とは、人が他人の喫煙によりたばこから発生した煙にさらされることをいいます。たばこの煙は、喫煙者が吸い込む主流煙と、火がついている部分から立ちのぼる副流煙、喫煙者が吐き出す呼出煙に分けられ、副流煙と呼出煙を吸い込むことを受動喫煙といえます。中でも、副流煙にはニコチンや一酸化炭素などの有害物質や発がん性物質が主流煙の何倍も含まれています。

- 1 知っている
- 2 知らない

次へ

Q6

あなたは、おおよそ1年の間に受動喫煙を経験しましたか。

※「受動喫煙」とは、人が他人の喫煙によりたばこから発生した煙にさらされることをいいます。たばこの煙は、喫煙者が吸い込む主流煙と、火がついている部分から立ちのぼる副流煙、喫煙者が吐き出す呼出煙に分けられ、副流煙と呼出煙を吸い込むことを受動喫煙といいます。中でも、副流煙にはニコチンや一酸化炭素などの有害物質や発がん性物質が主流煙の何倍も含まれています。

- 1 経験した
- 2 経験しなかった

次へ

Q6で「経験した」と回答した方にお尋ねします。

Q6_1

受動喫煙を経験した場所は主に都内でしたか。

- 1 都内
- 2 都外

次へ

Q6で「経験した」と回答した方にお尋ねします。

Q6_2

どこで受動喫煙を経験しましたか。

屋内※で受動喫煙を経験した場所であてはまるものをお選びください。(いくつでも)

※「屋内」とは、屋根があり、かつ、側壁が概ね半分以上覆われているものの内部を指します。これに該当しない場所が「屋外」です。

- 1 日中に利用した飲食店(レストラン・喫茶店・居酒屋等)の屋内の場所
- 2 夜利用した飲食店(レストラン・喫茶店・居酒屋等)の屋内の場所
- 3 商業施設(百貨店・デパート・ショッピングモール・スーパー・小売店等)の屋内の場所
- 4 宿泊施設(ホテル・旅館等)の屋内の場所
- 5 娯楽施設(パチンコ店・ゲームセンター等)の屋内の場所
- 6 駅・空港等の屋内の場所
- 7 保育所・幼稚園・学校等の屋内の場所
- 8 官公庁・病院等の屋内の場所
- 9 職場の屋内の場所
- 10 その他 の屋内の場所
- 11 屋内では経験なし

次へ

Q6で「経験した」と回答した方にお尋ねします。

Q6_3

どこで受動喫煙を経験しましたか。

屋外※で受動喫煙を経験した場所であてはまるものをお選びください。(いくつでも)

※「屋内」とは、屋根があり、かつ、側壁が概ね半分以上覆われているものの内部を指します。これに該当しない場所が「屋外」です。

- 1 日中に利用した飲食店(レストラン・喫茶店・居酒屋等)の敷地内屋外
- 2 夜利用した飲食店(レストラン・喫茶店・居酒屋等)の敷地内屋外
- 3 商業施設(百貨店・デパート・ショッピングモール・スーパー・小売店等)の敷地内屋外
- 4 宿泊施設(ホテル・旅館等)の敷地内屋外
- 5 娯楽施設(パチンコ店・ゲームセンター等)の敷地内屋外
- 6 駅・空港等の敷地内屋外
- 7 保育所・幼稚園・学校等の敷地内屋外
- 8 官公庁・病院等の敷地内屋外
- 9 職場の敷地内屋外
- 10 路上
- 11 その他 屋外の場所
- 12 屋外では経験なし

次へ

Q6_2で飲食店(屋内)もしくは職場(屋内)を、またはQ6_3で路上を回答した方にお尋ねします。

Q6_4

飲食店の屋内、職場の屋内または路上で受動喫煙を経験されたとのことですが、その具体的な場面について教えてください。

(回答例)

- ・喫煙してもよい店と気づかずに飲食店に入った。
- ・歩道を歩いていたら歩道の脇でたばこを吸っている人がいた。等

飲食店の屋内

職場の屋内

路上

次へ

Q7

あなたは他人のたばこの煙をどう感じますか。

- 1 特に何とも思わない
- 2 できれば受けたくない
- 3 不快感を覚える
- 4 強い不快感を覚える
- 5 体調不良を生じるほど不快感を覚える
- 6 その他

次へ

Q8

あなたは、「加熱式たばこ※」の受動喫煙による健康影響のリスクはどの程度あると思いますか。

お気持ちに近いものを1つお選びください。

※「加熱式たばこ」とは、たばこ葉やたばこ葉を用いた加工品を燃焼させず、専用機器を用いて電気で加熱することで蒸気を発生させるもの。加熱の方法や温度などは製品ごとに異なります。(電子タバコは含みません)

例:アイコス、グロー、プルーム等

- 1 加熱式たばこは、紙巻きたばこと同レベルで
周囲の人に受動喫煙による健康影響のリスクを与える
- 2 加熱式たばこは、紙巻きたばこと比べて、
周囲の人への受動喫煙による健康影響のリスクが小さい
- 3 加熱式たばこは、紙巻きたばこと比べて、
周囲の人への受動喫煙による健康影響のリスクがかなり小さい
- 4 加熱式たばこは、周囲の人への受動喫煙による健康影響のリスクがほぼ無い

次へ

Q9

行政機関や病院などでは、屋内禁煙(喫煙室もない)となっていることを知っていますか。

- 1 知っている
- 2 知らない

次へ

Q10

保育所・幼稚園・学校などは、敷地内禁煙(屋内に加え、東京都受動喫煙防止条例で、敷地内の屋外も喫煙不可(努力義務))となっていることを知っていますか。

- 1 知っている
- 2 知らない

次へ

Q11

飲食店は、原則屋内禁煙(基準を満たした喫煙室※でのみ喫煙可)となっていることを知っていますか。

※ここでいう喫煙室とは、喫煙専用室、指定たばこ専用喫煙室、喫煙可能室(2020年4月1日時点で既に営業している、施設内の客席部分の床面積が100㎡以下、中小企業又は個人経営、従業員がいない、の4つの要件を全て満たした飲食店のみ設置可能)、喫煙目的室(喫煙場所を提供することを主目的とする等の要件を満たした施設のみ設置可能)のことを指します。

- 1 知っている
- 2 知らない

次へ

Q12

多数の人(2人以上)が利用する施設(事務所、ビル、ホテル、娯楽施設等)は、原則屋内禁煙(基準を満たした喫煙室※でのみ喫煙可)となっていることを知っていますか。

※ここでいう喫煙室とは、喫煙専用室、指定たばこ専用喫煙室を指します。

- 1 知っている
- 2 知らない

次へ

Q12_2

飲食店の屋外等、喫煙を禁止されていない場所において喫煙をする場合でも、受動喫煙を生じさせることがないように周囲の状況に配慮しなければならないことを知っていますか。

- 1 知っている
- 2 知らない

次へ

Q12_3

喫煙が禁止されている場所では、紙巻きたばこだけでなく加熱式たばこ※も喫煙できないことを知っていますか。

※「加熱式たばこ」とは、たばこ葉やたばこ葉を用いた加工品を燃焼させず、専用機器を用いて電気で加熱することで蒸気を発生させるもの。加熱の方法や温度などは製品ごとに異なります。(電子タバコは含みません)

例:アイコス、グロー、プルーム等

- 1 知っている
- 2 知らない

次へ

Q13

飲食店を含む多数の人(2人以上)が利用する施設(事務所、ビル、ホテル、娯楽施設等)で、喫煙室※を設けた場合、標識の掲示が義務化されていることを知っていますか。

※ここでいう喫煙室とは、喫煙専用室、指定たばこ専用喫煙室、喫煙可能室(2020年4月1日時点で既に営業している、施設内の客席部分の床面積が100㎡以下、中小企業又は個人経営、従業員がいない、の4つの要件を全て満たした飲食店のみ設置可能)、喫煙目的室(喫煙場所を提供することを主目的とする等の要件を満たした施設のみ設置可能)のことを指します。

- 1 知っている
- 2 知らない

次へ

Q13_2

飲食店では、東京都受動喫煙防止条例により、屋内全面禁煙の場合でも、禁煙標識の掲示義務があることを知っていますか。

- 1 知っている
- 2 知らない

次へ

Q14

あなたは、飲食店の店頭で、喫煙室があるか・禁煙か、などの表示を見たことがありますか。

- 1 見たことがある
- 2 見たことはない

次へ

Q15

飲食店の店頭に掲出されている、喫煙室があるか・禁煙か、などの表示を見て、あなたはその店を選ぶ際の参考にしますか。

- 1 必ず参考にする
- 2 どちらかといえば参考にする
- 3 どちらかといえば参考にしない
- 4 全く参考にしない

次へ

Q16

飲食店などが法律や条例に違反した場合、保健所等による指導や過料※等の対象になる場合があることを知っていますか。

※違反者に制裁として科せられるもの。金額は違反内容により異なります。

- 1 知っている
- 2 知らない

次へ

Q17

あなたは、健康増進法や東京都受動喫煙防止条例等の受動喫煙を防止するための対策についてどの程度知っていましたか。(Q9からQ16までの設問)

- 1 内容までよく理解している
- 2 だいたい理解している
- 3 名前だけは知っている
- 4 名前を聞いたことがない・わからない

次へ

Q18

東京都受動喫煙防止条例を周知するため、都ではさまざまな広報を行ってきました。以下のうち、あなたが見たり、聞いたりしたことがあるものについてお答えください。
(いくつでも)

- 1 テレビ
- 2 新聞、雑誌
- 3 インターネット・SNS
- 4 ラジオ
- 5 電車内ビジョン・屋外ビジョン
- 6 東京都や区市町村の広報紙
- 7 チラシ
- 8 ポスター
- 9 動画(東京都作成の条例解説動画等)
- 10 家族・友人・知人などから聞いた(口コミ)
- 11 その他
- 12 見たことがない・聞いたことがない

次へ

Q19

東京都受動喫煙防止条例の取組について、あなたはどのように思いますか。
お気持ちに近いものを1つお選びください。

※東京都受動喫煙防止条例は、国の健康増進法と整合を図って制定されており、基本となる制度の理念や施設類型、喫煙室の種類、技術的基準等は同じです。都の条例は、「人(従業員や20歳未満の者)を守る」という観点から、①従業員がいる飲食店は原則屋内禁煙②飲食店は禁煙の場合も店頭で標識を掲示③小中高校等は敷地内屋外の喫煙場所設置不可(努力義務)を、国の法律に加える形で規定しています。都の条例違反の場合には、都の罰則が科せられます。

- 1 良い取組だと思う
- 2 やや良い取組だと思う
- 3 あまり良くない取組だと思う
- 4 良くない取組だと思う

次へ

Q19_2

前問で「○○○(Q19回答テキスト再掲)」とお答えの理由をご記入ください。

次へ

Q20

健康増進法や東京都受動喫煙防止条例により屋内での喫煙が規制がされる前の平成30年(2018年)以前と現在とを比べて、あなたの屋内での受動喫煙の機会はどのように変わりましたか。

- 1 屋内での受動喫煙の機会は減った
- 2 屋内での受動喫煙の機会は変わらない
- 3 屋内での受動喫煙の機会は増えた

次へ

Q21

最後に、『受動喫煙』を防止するための施策をすすめるために、東京都へのご意見・ご要望をどんなことでもかまいませんので、ご記入ください。

送信